スタディサプリ中学講座

講座の紹介

「中1 理科」を受講するみなさんへ

講座の特徴

- 〈要点がコンパクトにまとまった動画〉+〈確認テスト〉なので，スキマ時間での学校の授業の復習や定期テスト対策をするのにオススメです。
- 教科書で学習する内容に対応しています。

講師からのメッセージ

- 何を学ぶ場合でも，好きになることが上達への最短距離だと思います。
  丸暗記ではなくて，「知りたい!」と思いながら理解したら，すべてが繋(つな)がっていく。
  中学の間は物理，化学，生物，地学の4分野がまんべんなく学習できる最高の3年間です。日常の疑問が，少しずつ解決できるようになる点で，理科は魅力のある教科です。

- 物理を学んでいくうえで「あきらめずに探求すること」，「わからない，できないことも楽しむこと」を大切にしながら授業をしています。また，それぞれの原理がどういうところに応用されて社会とつながっているのか，自分ごと化して覚えやすいような内容を交えながら解説することを心がけています。
  わからないなかでも自分なりの仮説をもって探求していく力や考え方がこれからとても大事になっていきますので，一緒に学習しながらその力を養っていきましょう。

- 生物は暗記が多いと思われがちだけど，実は理由のある一つのストーリーなので，そのストーリーに沿って見ているだけで簡単に覚えられる授業をします!
  地球上で，それぞれの生物が何かしらの役割を持って存在していることを感じてもらい，生物を楽しんでもらいたいです。そして，テストでもいい点を取ってもらって，将来のみんなの選択肢が広がればと思っています!

それでは，一緒にスタディサプリで学習していきましょう!

テキストの使い方

はじめに

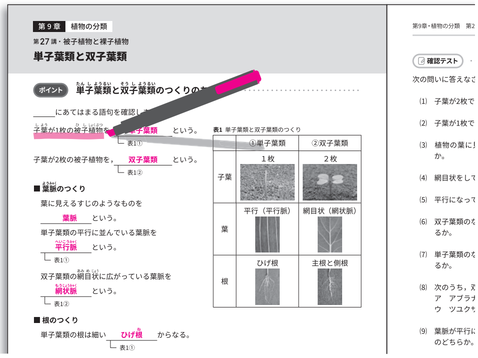
スタディサプリは, スマホやタブレット, PCを使って動画を見たり問題を解いたりすることができますが, テキストを使うと, より学びやすく, 理解しやすくなります。
テキストはさまざまな使い方ができるので, ぜひ自分に合った使い方をみつけて活用してください。

基本の使い方

ステップ 1　動画を見る

ステップ 2　確認テストを解く

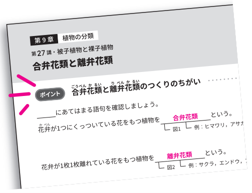
テキストはこう使う!



講師が話したことや大事だと思ったことをメモすると自分オリジナルのまとめノートを作ることができます。

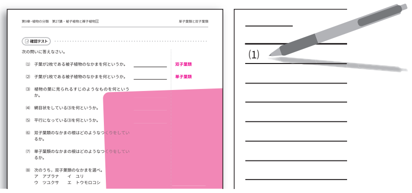
テスト前のオススメの使い方

まとめノートとして活用



要点がまとまっているので, 忙しいテスト前でも効率よく確認できます。

赤シートで隠して演習・書いて演習



時間がないときは赤シートを使って, テスト前は漢字ミスまでつぶすために書いて演習するのがオススメです。
※赤シートは付属しておりません。ご自身でご購入ください。
※ダウンロードしたテキストではお使いのプリンターによっては赤シートで隠れない場合があります。

各パートの説明

第９章　植物の分類

第27講・被子植物と裸子植物

単子葉類と双子葉類

講義名

教科書との対応は，巻末の「教科書対応表」で確認できます。

ポイント　**単子葉類と双子葉類のつくりのちがい**

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

子葉が1枚の被子植物を，**単子葉類**という。
└ 表1①

子葉が2枚の被子植物を，**双子葉類**という。
└ 表1②

■ **葉脈のつくり**

葉に見えるすじのようなものを**葉脈**という。

単子葉類の平行に並んでいる葉脈を**平行脈**という。
└ 表1①

双子葉類の網目状に広がっている葉脈を**網状脈**という。
└ 表1②

表1 単子葉類と双子葉類のつくり

	①単子葉類	②双子葉類
子葉	１枚	２枚
葉	平行（平行脈）	網目状（網状脈）
根	ひげ根	主根と側根

ポイント

動画の内容がまとまっています。赤字が特に重要な部分です。

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1)　子葉が2枚である被子植物のなかまを何というか。　**双子葉類**

(2)　子葉が1枚である被子植物のなかまを何というか。

(3)　植物の葉に見られるすじのようなものを何というか。

(4)　網目状をしている(3)を何というか。

(5)　平行になっている(3)を何というか。

確認テスト

動画で説明した内容を中心に問題が出題されています。詳しい解説はアプリやウェブで確認しましょう。

教科書との対応について

教科書とテキストの対応は，巻末の「教科書対応表」で確認できます。

目次

物理

第 1 章　光

第1講 光の進み方

光の進み方 …… 8 - 9

第2講 光の反射

光の反射 …… 10 - 11

鏡にうつる像の位置 …… 12 - 13

第3講 光の屈折

光の屈折 …… 14 - 15

第4講 凸レンズ

凸レンズのはたらき …… 16 - 17

凸レンズによる実像 …… 18 - 21

凸レンズによる虚像 …… 22 - 25

第5講 光と色

光と色 …… 26 - 27

第 2 章　音

第6講 音の伝わり方

音の伝わり方 …… 28 - 29

第7講 音の性質

音の性質 …… 30 - 31

弦の振動による音のちがい …… 32 - 33

音の伝わる速さ …… 34 - 35

第 3 章　力

第8講 力のはたらき

力のはたらき …… 36 - 37

第9講 いろいろな力

いろいろな力① …… 38 - 39

いろいろな力② …… 40 - 41

第10講 力の大きさとばねののび

力の大きさとばねののび …… 42 - 43

第11講 重力と質量

重力と質量 …… 44 - 45

力の表し方 …… 46 - 47

第12講 2つの力のつり合い

2つの力のつり合い …… 48 - 49

化学

第 4 章　身のまわりの物質

第13講 さまざまな物質の性質

物体と物質 50 - 51

金属と非金属 52 - 53

第14講 実験器具の使い方

電子てんびんと上皿てんびんの使い方 54 - 55

メスシリンダーの使い方 56 - 57

ガスバーナーの使い方 58 - 59

第15講 物質の密度

物質の密度 60 - 61

第16講 有機物と無機物

有機物と無機物 62 - 63

第 5 章　気体

第17講 気体の性質と集め方

気体の性質と集め方 64 - 65

第18講 気体の性質

二酸化炭素と酸素 66 - 67

水素と窒素 68 - 69

アンモニア 70 - 71

さまざまな気体 72 - 73

第 6 章　水溶液

第19講 水溶液の性質

水溶液 74 - 75

純物質と混合物 76 - 77

溶液の濃度 78 - 79

ろ過のしかた 80 - 81

第20講 溶解度と再結晶

溶解度と溶解度曲線 82 - 83

結晶と再結晶 84 - 85

第 7 章　物質の姿と状態変化

第21講 物質の状態変化

物質の状態変化 86 - 87

状態変化と体積・質量の変化 88 - 89

状態変化の粒子モデル 90 - 91

第22講 蒸留

沸点と融点 92 - 93

蒸留 94 - 97

生物

第 8 章　生物の観察と分類

第23講 自然の観察と方法

ルーペの使い方,スケッチのしかた… 98 - 99

第24講 顕微鏡の使い方

顕微鏡の使い方……… 100 - 101

双眼実体顕微鏡の使い方……… 102 - 103

第25講 生物の特徴と分類

生物の分類……… 104 - 105

第 9 章　植物の分類

第26講 花のつくり

花のつくり……… 106 - 107

第27講 被子植物と裸子植物

被子植物と裸子植物……… 108 - 111

単子葉類と双子葉類……… 112 - 113

合弁花類と離弁花類……… 114 - 115

第28講 種子をつくらない植物

種子をつくらない植物……… 116 - 117

第29講 さまざまな植物の分類

さまざまな植物の分類……… 118 - 119

第 10 章　動物の分類

第30講 動物の分類

肉食動物と草食動物……… 120 - 121

セキツイ動物と無セキツイ動物… 122 - 123

第31講 セキツイ動物

セキツイ動物の分類……… 124 - 127

恒温動物と変温動物……… 128 - 129

第32講 無セキツイ動物

無セキツイ動物……… 130 - 131

第33講 さまざまな動物の分類

さまざまな動物の分類……… 132 - 133

地学

第 11 章 火山

第34講 火山の噴火と形

火山の噴火 134 - 135

火山の形 136 - 137

第35講 火山噴出物

火山噴出物 138 - 139

鉱物 140 - 141

第36講 火成岩

火成岩 142 - 143

第37講 火山と人間の生活

火山と人間の生活 144 - 145

第 12 章 地震

第38講 地震のゆれ

地震 146 - 147

地震の波 148 - 151

震度とマグニチュード 152 - 153

第39講 地震のしくみ

プレートと地震 154 - 157

地震のしくみ 158 - 161

第40講 地震による災害

地震による災害 162 - 163

第 13 章 地層

第41講 流水のはたらきと地形

流水のはたらきと地形 164 - 165

第42講 堆積岩

堆積岩 166 - 167

第43講 大地の変化

隆起と沈降 168 - 169

地層の変化 170 - 171

第44講 化石

化石 172 - 175

第45講 地層のつながり

地層のつながり 176 - 177

光の進み方

ポイント1 光の直進（ちょくしん）

______にあてはまる語句を確認しましょう。

自ら光を出すものを__________という。
└ 図1

光がまっすぐ進むことを__________という。
└ 図2

図1 光源

図2 光の直進

ポイント2 光の反射（はんしゃ）

______にあてはまる語句を確認しましょう。

光が物体の表面ではね返ることを__________という。
└ 図3

図3 光の反射

確認テスト

次の問いに答えなさい。

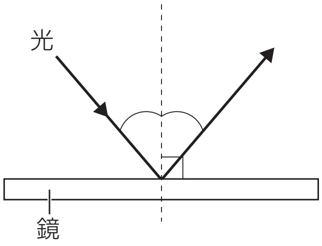
(1)　電球のように，自ら光を発するものを何というか。　＿＿＿＿＿＿

(2)　太陽は光源といってよいか。　＿＿＿＿＿＿

(3)　次のうち，光源ではないものはどれか。
ア　虹　　イ　太陽
ウ　ろうそくの光　　エ　懐中電灯　＿＿＿＿＿＿

(4)　光は空気中をどのように進むか。　＿＿＿＿＿＿

(5)　次の図のように，光が鏡などの面に当たってはね返る現象を何というか。　＿＿＿＿＿＿



光の反射

ポイント1　光の反射(はんしゃ)の法則

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

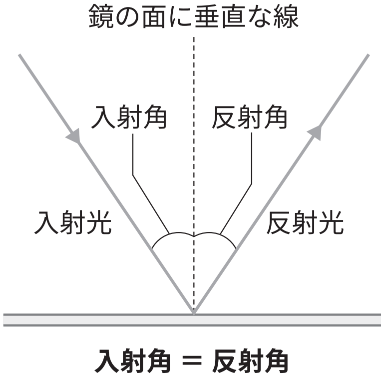
物質の面に垂直な線と入射した光（＿＿＿＿＿＿）がつくる角を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

物質の面に垂直な線と反射した光（＿＿＿＿＿＿）がつくる角を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

入射角と反射角が等しいことを＿＿＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

鏡にうつって見えるものを＿＿＿＿＿という。

図1 光の反射の法則

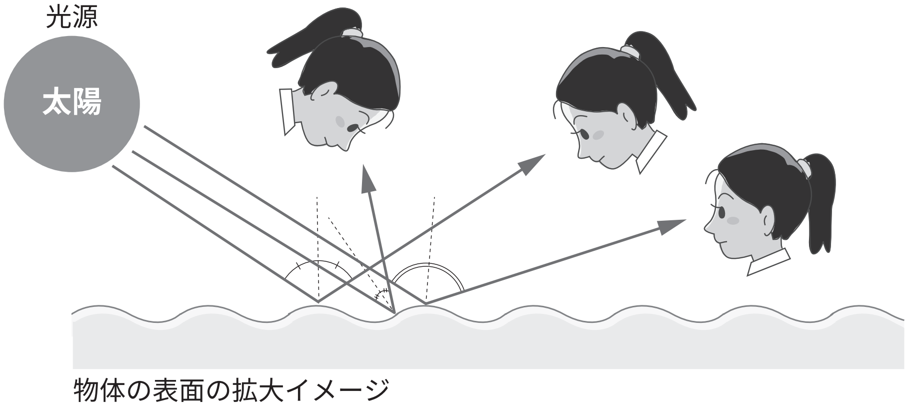


ポイント2　乱反射(らんはんしゃ)

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

物体のでこぼこした表面に光が当たり，さまざまな方向に反射することを＿＿＿＿＿＿という。
└ 図2

図2 乱反射

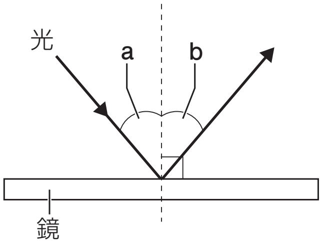


確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 図1で，鏡に当たる前の光を何というか。 ＿＿＿＿＿＿

図1



(2) 図1で，鏡に当たってはね返った光を何というか。 ＿＿＿＿＿＿

(3) 図1で，aの角度を何というか。 ＿＿＿＿＿＿

(4) 図1で，bの角度を何というか。 ＿＿＿＿＿＿

(5) 図1のaの角が55度のとき，bの角は何度か。 ＿＿＿＿＿＿

(6) 入射角と反射角が等しくなる法則を何というか ＿＿＿＿＿＿

(7) 光が物体のでこぼこした表面に当たっていろいろな方向にはね返ることを何というか。 ＿＿＿＿＿＿

第２講・光の反射

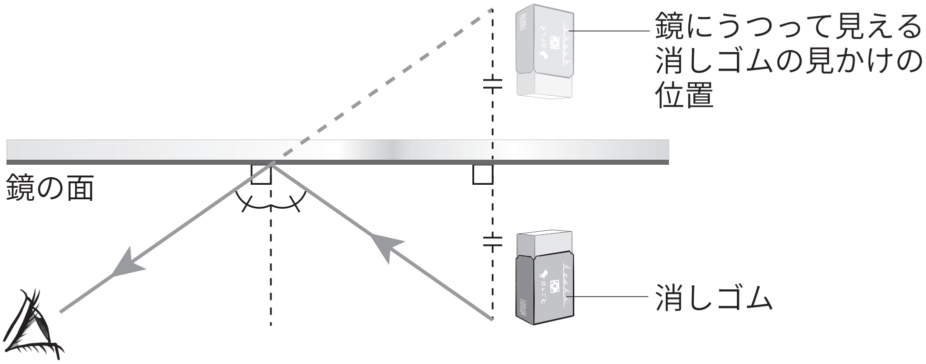
鏡にうつる像の位置

ポイント１　鏡によってうつる像(ぞう)の位置

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

鏡にうつる像の見かけの位置は，鏡の面に対して物体と＿＿＿＿＿＿な位置となる。
└ 図1

図1 像の位置

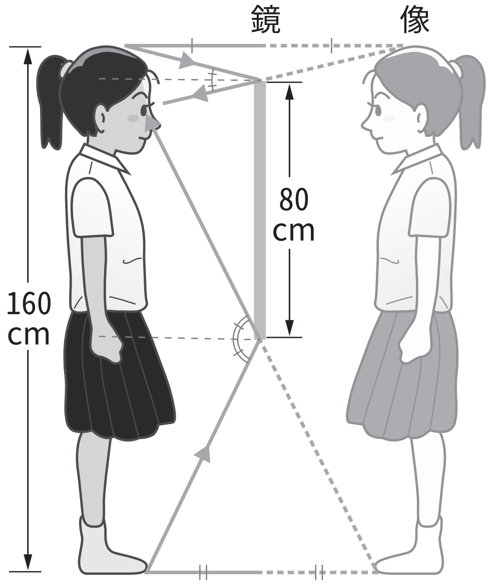


ポイント２　物体をうつす鏡の大きさ

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

全身をうつすのに必要な鏡の最小の大きさは，
身長の＿＿＿＿＿＿になる。
└ 図2

図2 鏡の大きさ



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 鏡に物体をうつしたとき，鏡によってできる像が見える位置について，次の（　　）に入る言葉を答えよ。

鏡の面に対して物体と（　　）の位置　＿＿＿＿＿＿

(2) 全身をうつすのに必要な鏡の最小の大きさは，身長に対してどのくらいの大きさか。　＿＿＿＿＿＿

(3) 高さ70cmの鏡の前に身長190cmのAさんが立っている。このとき，Aさんの全身は鏡にうつるか，うつらないか。　＿＿＿＿＿＿

(4) 身長180cmの人の全身をうつすのに必要な鏡の最小サイズは何cmか。　＿＿＿＿＿＿

(5) 鏡に全身をうつしている人が1m後ろに下がったら，鏡にうつる像の大きさはどうなるか。　＿＿＿＿＿＿

(6) 高さ80cmの鏡にAさんの全身がちょうどうつっている。このとき，Aさんの身長は何cmか。　＿＿＿＿＿＿

光の屈折

ポイント1　光の屈折

_____にあてはまる語句を確認しましょう。

光が物質の境界面で折れ曲がることを_____という。

境界面で屈折して進む光を_____という。

境界面に垂直な線と屈折光のつくる角を_____という。

光が空気中からガラス中に進むとき，入射角_____屈折角
└ 図1,3

光がガラス中から空気中に進むとき，入射角_____屈折角
└ 図2,3

図1 空気中からガラス中へ進む光

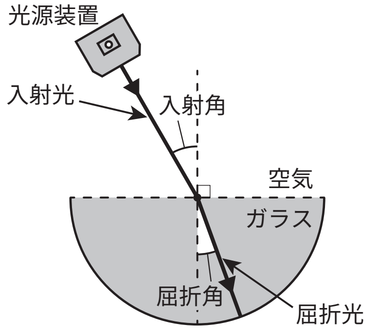


図2 ガラス中から空気中へ進む光

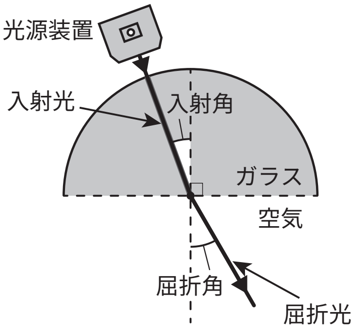
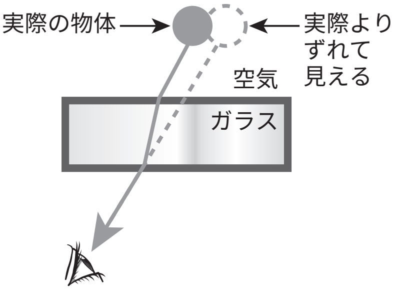


図3 ガラスを通したときの物体の見え方



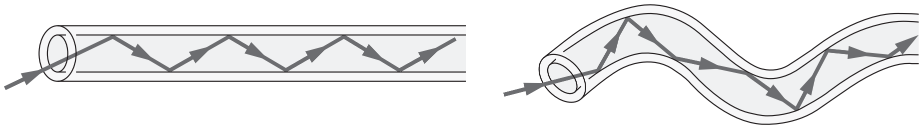
ポイント2　全反射

_____にあてはまる語句を確認しましょう。

光が水やガラス中から空気中に進まず，境界面で全て反射する現象を_____という。
└ 図4

光通信のケーブルなどに使われる_____は，全反射を利用している。
└ 図4

図4 全反射を利用した光ファイバー

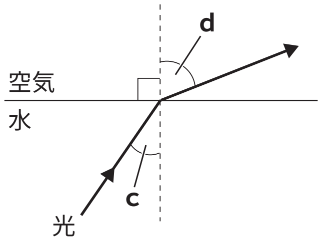


確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 図1で，cの角度を何というか。

図1



(2) 図1で，dの角度を何というか。

(3) 図1で，光が水中から空気中へ進むとき，cとdの角度の関係はどのようになるか。

(4) 光が空気中からガラスや水の中に進むとき，入射角と屈折角はどちらが大きいか。

(5) 図1で，cの角を一定以上大きくすると光は空気中へ出なくなった。この現象を何というか。

(6) 全反射を利用したものの例を一つ答えよ。

(7) 厚いガラスを通して物体を見たとき，像の見える位置は実際の物体の位置と比べてどのように見えるか。

凸レンズのはたらき

ポイント１　凸(とつ)レンズの焦点と焦点距離

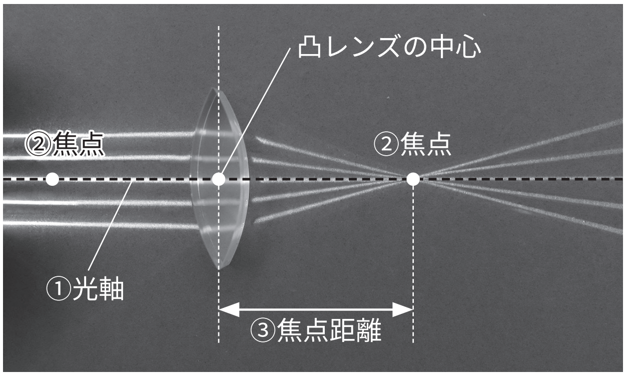
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

凸レンズの中心を通り，凸レンズの面に垂直な線を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1①

光軸に平行に進んだ光が凸レンズで屈折(くっせつ)して集まる点を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1②

凸レンズの中心から焦点までの距離を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1③

図1 凸レンズのはたらき



ポイント２　凸レンズを通る光の進み方

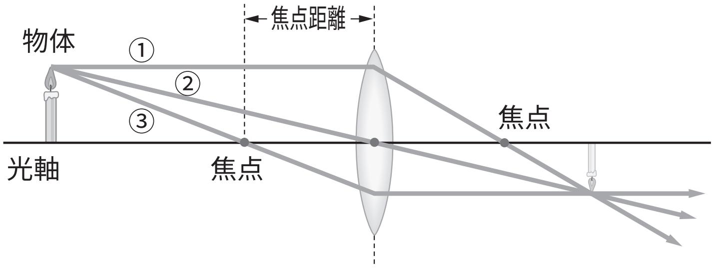
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①光軸に平行に凸レンズに入った光は，＿＿＿＿＿＿を通る。
└ 図2①

②凸レンズの中心を通った光は，そのまま＿＿＿＿＿＿する。
└ 図2②

③物体側の焦点を通って凸レンズに入った光は，＿＿＿＿＿＿に進む。
└ 図2③

図2 凸レンズを通る光の進み方



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1)　中央がふちよりも厚くなったレンズを何というか。　＿＿＿＿＿＿

(2)　凸レンズの中心を通り，凸レンズの面に垂直な線を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(3)　光軸に平行な光が凸レンズで屈折して1点に集まる点を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(4)　1つの凸レンズに焦点はいくつあるか。　＿＿＿＿＿＿

(5)　凸レンズの中心から焦点までの距離を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(6)　物体から出て凸レンズの中心を通った光は，その後どのように進むか。　＿＿＿＿＿＿

(7)　物体から出て光軸に平行に凸レンズを通った光は，その後どのように進むか。　＿＿＿＿＿＿

(8)　物体から出て凸レンズ側の焦点を通って凸レンズに入った光は，その後どのように進むか。　＿＿＿＿＿＿

凸レンズによる実像

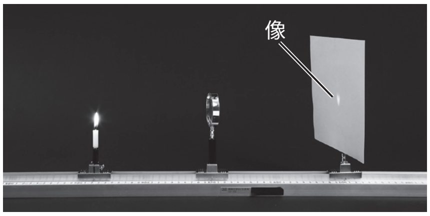
ポイント 1　凸(とつ)レンズによる実像

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

スクリーンにうつって見えるものや凸レンズを通して見えるものを＿＿＿＿＿という。
└ 図1

スクリーンにうつる像を＿＿＿＿＿という。
実像は物体と上下左右の向きが＿＿＿＿＿になる。

図1 凸レンズによってスクリーンにできる象



■ 物体の位置と像のでき方

物体の位置が焦点距離(しょうてんきょり)の２倍より大きいとき，物体より＿＿＿＿＿像ができる。
└ 図2

物体の位置が焦点距離の２倍のとき，物体と＿＿＿＿＿の像ができる。
└ 図3

物体の位置が焦点距離の２倍より小さいとき，物体より＿＿＿＿＿像ができる。
└ 図4

物体の位置が焦点上のとき，像は＿＿＿＿＿。
└ 図5

図2 物体の位置が焦点距離の２倍より大きいとき

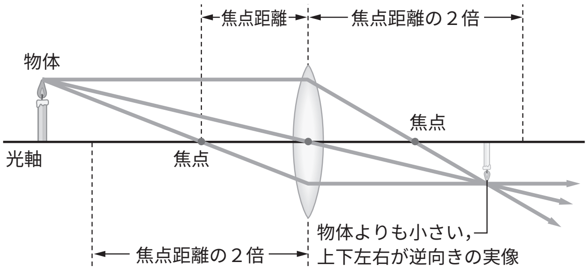


図3 物体の位置が焦点距離の２倍のとき

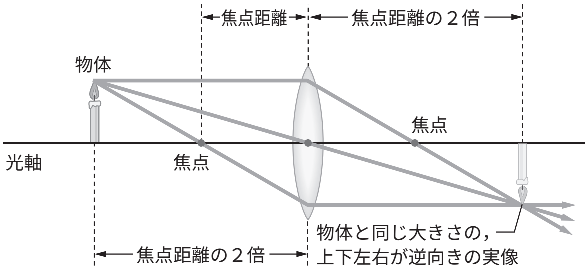


図4 物体の位置が焦点距離の２倍より小さいとき

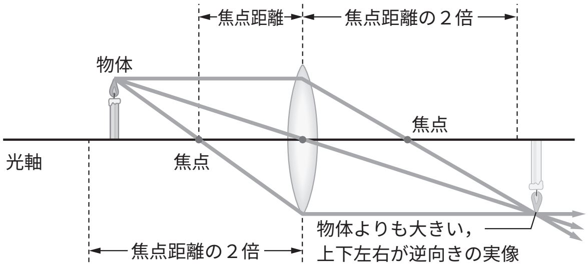
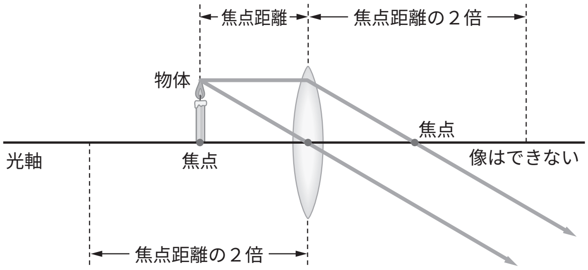


図5 物体の位置が焦点上のとき



ポイント2 実像の作図のしかた

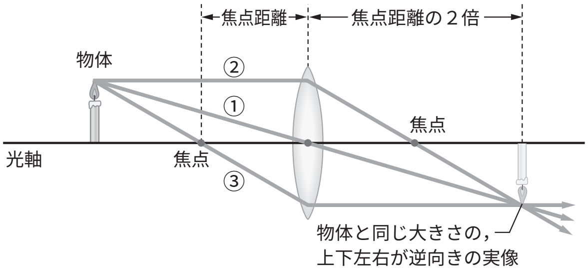
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①凸レンズの＿＿＿＿＿を通る線をかく。
└ 図6①

②光軸(こうじく)と平行に進み，凸レンズで屈折(くっせつ)して，＿＿＿＿＿を通る線をかく。
└ 図6②

③焦点を通り，凸レンズで屈折して，光軸と＿＿＿＿＿に進む線をかく。
└ 図6③

図6 実像の作図のしかた



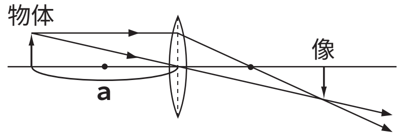
確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 凸レンズによってスクリーン上にうつる像を何というか。

(2) 図1で，物体と凸レンズの中心までの距離aが焦点距離の2倍のとき，できる像は実像か，虚像か。

図1



(3) 図1で，物体と凸レンズの中心までの距離aが焦点距離の2倍のとき，できる像の大きさは物体と比べてどうなっているか。

(4) 図1で，物体と凸レンズの中心までの距離aが焦点距離の2倍のとき，できる像の上下左右は物体と比べてどうなっているか。

(5) 図1のaの距離を焦点距離の2倍より大きくした。このとき，できる像の大きさはaの距離が焦点距離の2倍のときにできる像と比べてどうなるか。

(6) 図1のaの距離を焦点距離と同じにした。このとき，像はどうなるか。

凸レンズによる虚像

ポイント１　凸レンズによる虚像

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

物体の位置が焦点距離の内側のとき，物体より大きい＿＿＿＿＿が見える。
└ 図1

虚像は上下左右の向きが物体と＿＿＿＿＿。

■ 物体の位置と像のでき方

物体の位置が凸レンズから離れるほど虚像は＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図2

物体の位置が焦点上のとき，像は＿＿＿＿＿＿。
└ 図3

図1 凸レンズによる虚像（物体がレンズと近いとき）

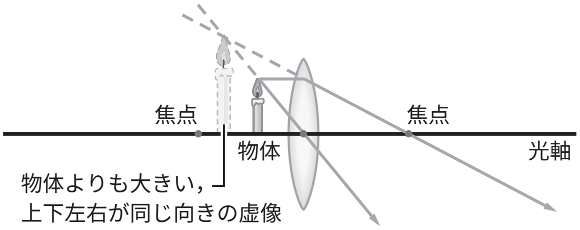


図2 凸レンズによる虚像（物体がレンズと遠いとき）

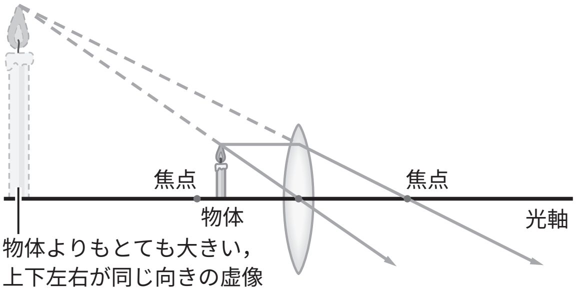
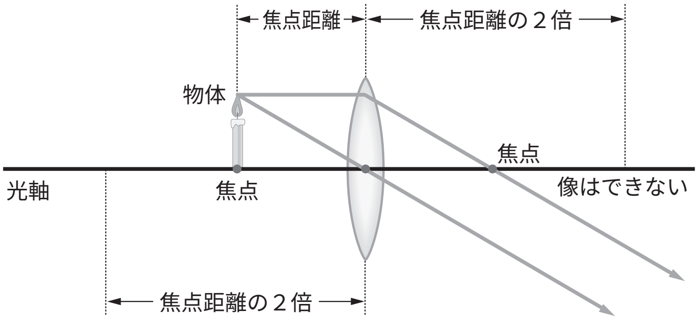


図3 物体の位置が焦点上のとき



ポイント2 虚像の作図のしかた

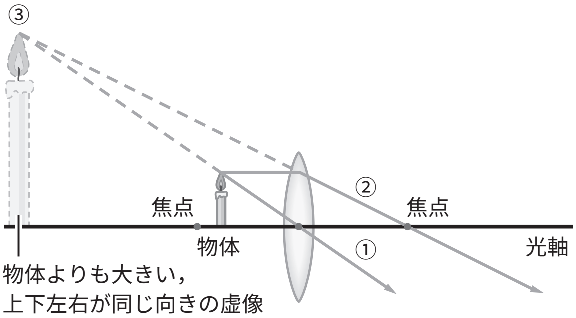
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①凸レンズの＿＿＿＿＿を通る線をかく。
└ 図4①

②光軸（こうじく）と平行に進み，凸レンズで屈折（くっせつ）して＿＿＿＿＿を通る線をかく。
└ 図4②

③①と②の線を＿＿＿＿＿して交わるところに虚像ができる。
└ 図4③

図4 虚像の作図のしかた

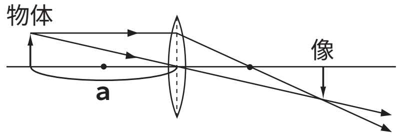


確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 図1の物体と凸レンズの中心までの距離aが焦点距離の半分のとき，見られる像は実像か，虚像か。

図1



(2) 図1の物体と凸レンズの中心までの距離aが焦点距離の半分のとき，見られる像の大きさは物体と比べてどうなるか。

(3) 図1で物体が凸レンズと焦点の間にあるとき，虚像の大きさは物体が焦点に近づくほど大きくなるか，小さくなるか。

(4) 図1で物体が凸レンズと焦点の間にあるとき，虚像の大きさは物体がレンズに近づくほど大きくなるか，小さくなるか。

(5) 物体を凸レンズの焦点上に置くと，像はどのようになるか。

(6) ルーペで小さい虫を見ているとき，見ているのは実像か虚像か。

光と色

ポイント　光と色の関係

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

目に見える光を＿＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

物体が特定の色に見えるとき，その物体は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿を反射している。
└ 図2

すべての光を反射する物体は＿＿＿＿＿に見える。
└ 図2，3

光を反射しない物体は＿＿＿＿＿に見える。

図1　可視光線

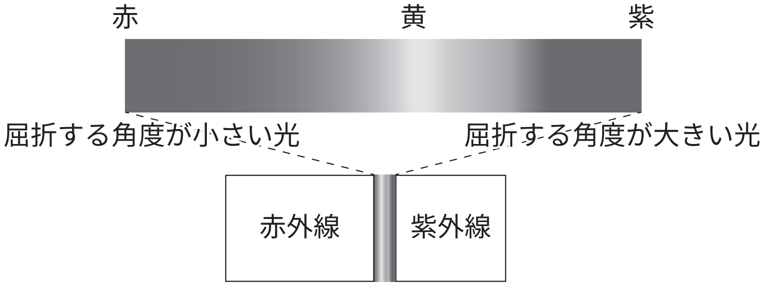


図2　光の反射と色

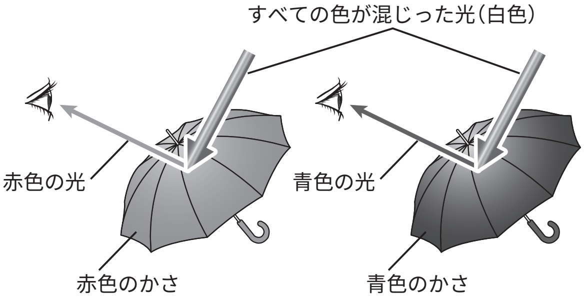
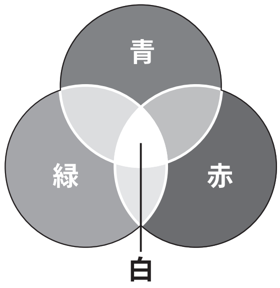


図3　光の三原色と混ざり合ったときの色



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 目に見える光のことを何というか。

(2) 物体が特定の色に見えるとき，その物体はその色に見える光を（　　）している。（　　）にあてはまる言葉は何か。

(3) すべての光を反射する物体は何色に見えるか。

(4) 黒く見える物体は光を反射するか。

(5) 次のうち，虹が見えるときの原理を利用しているものを選べ。
ア　ルーペ
イ　鏡
ウ　凸レンズ
エ　プリズム
オ　光源装置

(6) 目に見えるすべての色の光を混ぜ合わせると何色になるか。

音の伝わり方

ポイント１　音を出すもの

______にあてはまる語句を確認しましょう。

音を出すものを__________（__________）という。

音を出しているとき，音源は__________している。（図1）

振動が次々と伝わる現象を__________といい，

音は__________として伝わる。

図1 振動する音源

ポイント２　音を伝えるもの

______にあてはまる語句を確認しましょう。

音は__________中（空気など）を伝わる。

音は__________中（水など）を伝わる。

音は__________中（糸や壁など）を伝わる。

音は__________中を伝わらない。（図2）

空気をさえぎると音は__________。（図3）

図2 音が真空中を伝わらないことを確かめる実験

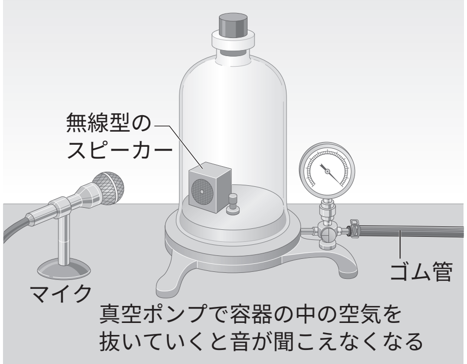
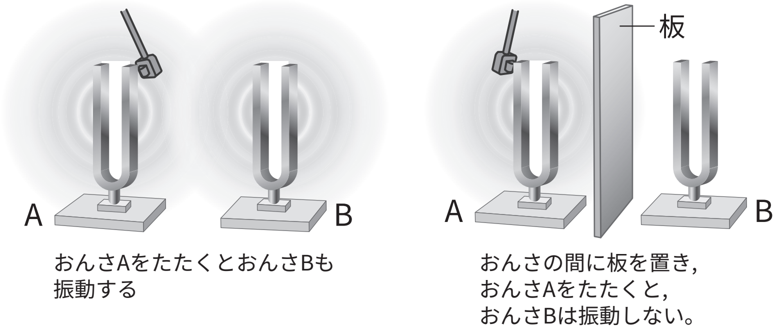


図3 空気が音を伝えることを確かめる実験



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 音は物体がどうすることによって発生するか。

(2) 音を発生している物体を何というか。

(3) 振動が次々と伝わる現象を何というか。

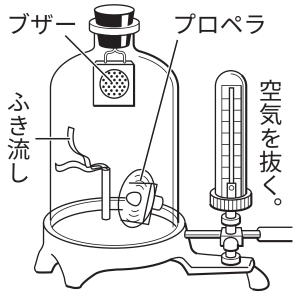
(4) 次のうち，音が伝わらないのはどれか。
ア　固体中
イ　気体中
ウ　液体中
エ　真空中

(5) 音を出しているおんさを手でおさえると，おんさの音はどうなるか。

(6) 金属は音を伝えるか，伝えないか。

(7) アーティスティックスイミングの選手は，水中で音が聞こえるか，聞こえないか。

(8) 次の図のように密閉された容器中でブザーが鳴っている。この容器中の空気を抜いていくとブザーの音はどうなっていくか。



音の性質

ポイント1 音の大きさ

______にあてはまる語句を確認しましょう。

音源の振動（しんどう）の振れはばを______という。
└ 図1

振幅が大きいほど音は______。
└ 図2

振幅が小さいほど音は______。
└ 図2

図2 オシロスコープの波形と音の大小

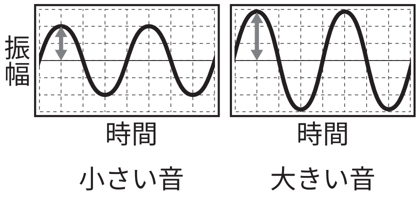


図1 音源のゆれと振幅

ポイント2 音の高さ

______にあてはまる語句を確認しましょう。

音が１秒間に振動する回数を______という。
└ 図3

振動数の単位は______（______）である。

振動数が多いほど音は______。
└ 図4

振動数が少ないほど音は______。
└ 図4

図4 オシロスコープの波形と音の高低

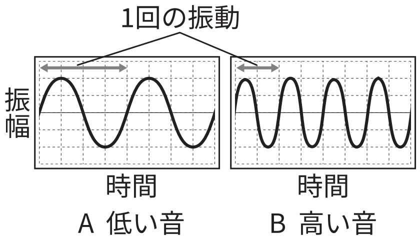


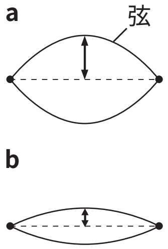
図3 音源のゆれと振動

確認テスト

次の問いに答えなさい。

⑴　音の大小は音源の振動の何によって決まるか。

⑵　モノコードの弦をはじき方を変えてはじくと次の図のように弦がふれた。大きい音が出ているのはa，bどちらか。



⑶　弦をはじいたとき，弦の中央が4cmの幅で振動した。振幅は何cmか。

⑷　振幅が大きいほど音はどうなるか。

⑸　モノコードの弦を強くはじいたときの振幅は，弱くはじいたときと比べてどうなるか。

⑹　同じ弦で振幅が2cmの場合と振幅が3cmの場合ではどちらの音が大きいか。

⑺　弦が1秒間に振動する回数のことを何というか。

⑻　⑺の単位を何というか。

⑼　⑺の単位を表す記号は何か。

⑽　音の高低は音源の何によって決まるか。

⑾　振動数が多いほど音の高さはどうなるか。

弦の振動による音のちがい

ポイント1 弦(げん)の長さと音の関係

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

弦を短くすると音は＿＿＿＿＿なる。
└ 図1

弦を長くすると音は＿＿＿＿＿なる。
└ 図2

図1 弦が短いとき

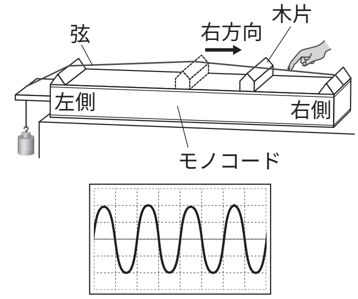
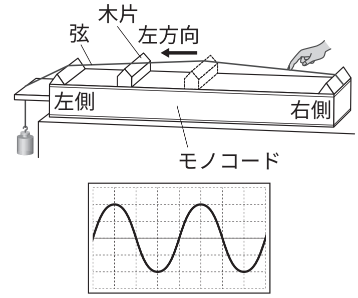


図2 弦が長いとき



ポイント2 弦の張り方と音の関係

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

弦を強く張ると音は＿＿＿＿＿なる。
└ 図3

弦を弱く張ると音は＿＿＿＿＿なる。
└ 図4

図3 弦の張りが強いとき

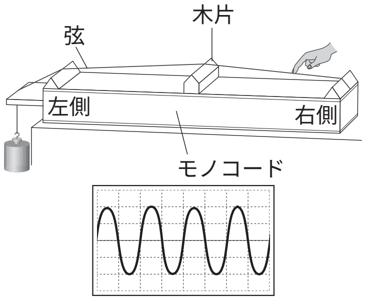
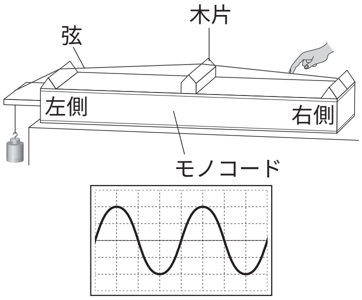


図4 弦の張りが弱いとき



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 弦を強く張ると，音はどうなるか。＿＿＿＿＿＿

(2) 弦を強く張ると，音の振動数はどうなるか。＿＿＿＿＿＿

(3) 弦の張りを弱くすると，音はどうなるか。＿＿＿＿＿＿

(4) 弦の張りを弱くすると，音の振動数はどうなるか。＿＿＿＿＿＿

(5) 弦の長さを長くすると，音はどうなるか。＿＿＿＿＿＿

(6) 弦の長さを長くすると，音の振動数はどうなるか。＿＿＿＿＿＿

(7) 弦の長さを短くすると，音はどうなるか。＿＿＿＿＿＿

(8) 弦の長さを短くすると，音の振動数はどうなるか。＿＿＿＿＿＿

(9) 弦の長さを短くして同じ強さで弦をはじくと，音の波形はどのように変わるか。＿＿＿＿＿＿

音の伝わる速さ

ポイント 音の伝わる速さと速さの計算

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

■速さの求め方

音の速さ〔m/s〕＝ ＿＿＿＿＿＿〔m〕／＿＿＿＿＿＿〔s〕

計算例

家から花火が開くのが見えてから，5.5秒後に花火の音が聞こえた。

花火が開いた場所から家までは何m離れているか計算せよ。

ただし，音の伝わる速さを340m/s（秒速340m）とする。

解答

340〔m/s〕×5.5〔s〕＝1870〔m〕

■音の伝わる速さ

光の速さ＿＿＿＿＿音の速さ

└ 秒速30万km　└ 気温約15°Cの空気中で秒速340m

固体中・液体中を伝わる音の速さ＿＿＿＿＿気体中を伝わる音の速さ

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 花火が光ってからしばらくして音が聞こえてくる理由について，次のa，bに入る言葉を答えよ。

（　a　）の伝わる速さが（　b　）の速さよりおそいから。

(2) いなずまが光ってから2秒後に音が聞こえた。音が伝わる速さが1秒間に340mであるとしたとき，いなずまでの距離はおよそ何mか。

(3) 山頂で「ヤッホー」とさけんだところ，4秒後に660m離れた山から山びこが返ってきた。このときの音の伝わる速さは何m/s か。

(4) 気体中を音が伝わる速さは，液体中を音が伝わる速さと比べてどうなっているか。

(5) 音が空気中を進む速さはどれくらいか。ただし，気温は約15度であるものとする。

(6) 光の進む速さはどれくらいか。

第８講・力のはたらき

力のはたらき

ポイント　力(ちから)の３つのはたらき

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①物体の＿＿＿＿＿を変える。
　└ 図1

②物体の＿＿＿＿＿を変える。
　└ 図2

③物体を＿＿＿＿＿。
　└ 図3

図1 物体の形を変える

図2 物体の動きを変える

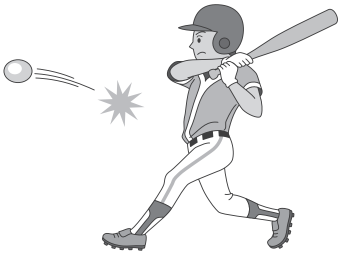


図3 物体を支える

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 物体を支える，物体の動きを変える，物体の（　　）を変える。この3つのうちどれかの状態があてはまれば，その物体は力を受けている。（　　）にあてはまる言葉は何か。

(2) 人が荷物を持って立っている。このとき，荷物には力がはたらいているといえるか。

(3) 物体の動きを変える力のはたらきをしているのは，次のうちどれか。
ア　ねんどをこねて形を変えた
イ　空き缶に光が当たって光って見える
ウ　ボールをラケットで打ち返した

(4) 物体の形を変える力のはたらきをしているのは，次のうちどれか。
ア　紙をクシャクシャに丸めた
イ　荷物を持ち上げた
ウ　砲丸を投げた

(5) 物体を支える力のはたらきをしているのは，次のうちどれか。
ア　パンをこねた
イ　飛んできたボールをキャッチした
ウ　ねん土に穴をあけた
エ　おぼんに料理をのせて持った

いろいろな力①

ポイント ふれ合ってはたらく力（ちから）

______にあてはまる語句を確認しましょう。

物体が，面をおす力に逆らっておし返す力を______という。
└ 図1

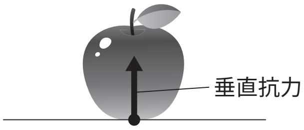
変形した物体が，もとにもどろうとする性質を______という。

変形した物体が，もとにもどろうとして生じる力を______（______）という。
└ 図2

ふれ合っている面で運動をさまたげる向きにはたらく力を______という。
└ 図3

図1 垂直抗力

りんご（＝物体）



机（＝面）

図2 弾性の力

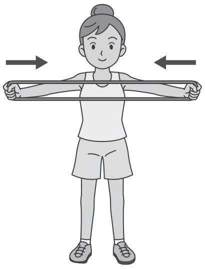
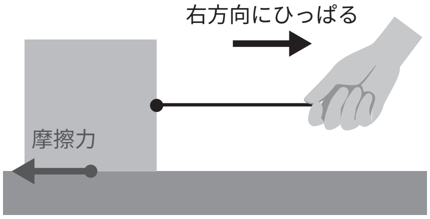


図3 摩擦力



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 机の上に置いた物体を水平に動かそうとすると，動かそうとする向きと反対向きの力がはたらく。この力を何というか。

(2) 変形した物体がもとにもどろうとする性質を何というか。

(3) 変形した物体が，もとにもどろうとして生じる力を何というか。

(4) 次のうち，弾性を利用した道具を選べ。
ア　台車
イ　上皿てんびん
ウ　エキスパンダー
エ　おんさ

(5) 机の上に置いた物体には，机から物体に力がはたらいている。この力を何というか。

(6) 斜面の上に箱を置いたら，箱はそこに停止したままであった。このとき,箱にはたらいている力のうち，ふれ合っている物体の間ではたらく力の組み合わせとして正しいものは，次のうちどれか。
ア　弾性力，摩擦力
イ　弾性力，垂直抗力
ウ　摩擦力，垂直抗力

いろいろな力②

ポイント　はなれていてもはたらく力（ちから）

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

地球が物体を地球の中心に向かって引く力を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

磁石（じしゃく）どうしの間にはたらく力を＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿）という。
└ 図2

紙などでこすった下じきをかみの毛に近づけたとき，
かみの毛と下じきの間にはたらく力を＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿）という。
└ 図3

図1 重力

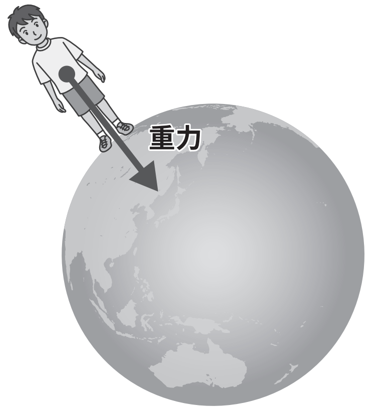


図2 磁石の力

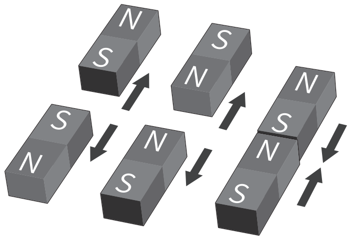


図3 電気の力

確認テスト

次の問いに答えなさい。

⑴　次のうち，はなれていてもはたらく力はどれか。
ア　弾性力
イ　摩擦力
ウ　重力
エ　垂直抗力

⑵　地球がその中心に向かって物体を引く力を何というか。

⑶　はなれているとはたらかない力は次のうちどれか。
ア　重力
イ　摩擦力
ウ　磁石の力
エ　電気の力

⑷　磁石のN極とN極を近づけたところ，しりぞけ合った。このとき磁石の間にはたらいている力を何というか。

⑸　金属のドアノブを触ったらバチッという衝撃を感じた。このとき，ドアノブと手の間にはたらいた力を何というか。

力の大きさとばねののび

ポイント1 ばねに加わる力の大きさとばねののび

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

力の大きさの単位には，＿＿＿＿＿＿＿＿（記号：＿＿＿＿）が使われる。

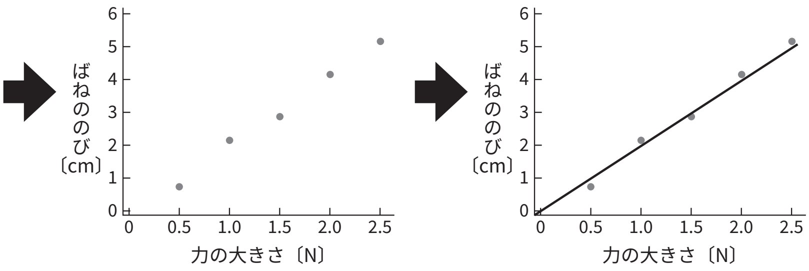
100gの物体にはたらく力の大きさは，およそ＿＿＿＿Nである。

グラフをかくときは，すべての点から最も近いところを通る＿＿＿＿＿をかく。
└ 図1

図1 グラフのかき方

①測定した値を表にする

力の大きさ〔N〕	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5
ばねののび〔cm〕	0.9	2.1	2.9	4.1	5.1



ポイント2 フックの法則

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

ばねののびが，ばねに加えた力の大きさに比例することを＿＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 図2

同じ大きさの力を加えたときののびが小さいほど，＿＿＿＿＿＿＿ばねである。
└ 図3

図2 ばねに加えた力とばねののびの関係

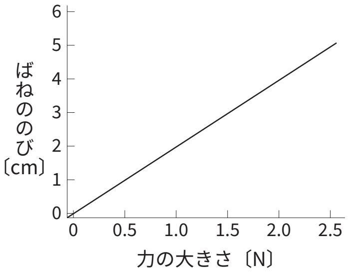
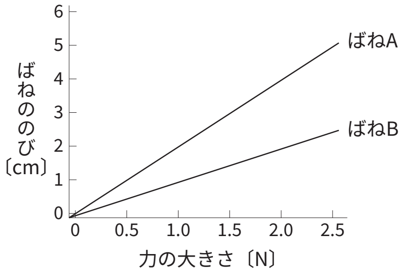


図3 異なるばねののび



確認テスト

次の問いに答えなさい。

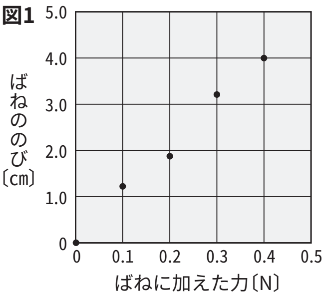
(1) 力の大きさを表す単位の記号はNである。読み方を書け。

(2) （　　）gの物体にはたらく力の大きさは，およそ1Nである。（　　）にあてはまる数字は何か。

(3) ばねに加わる力の大きさとばねののびの関係を調べ，グラフ用紙に点をうつと図1のようになった。グラフをどのようにかけばよいか次から選べ。

ア　すべての点を通る曲線をかく
イ　すべての隣り合う点を直線で結ぶ
ウ　すべての点から最も近いところを通る直線をかく

図1



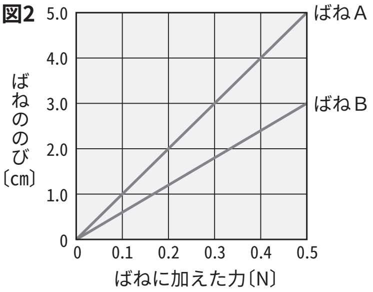
(4) 質量100gの物体にはたらく重力の大きさを1Nとすると，質量1kgの物体にはたらく重力の大きさは何Nか。

(5) ばねののびは，ばねを引く力の大きさに比例しているか，比例していないか。

(6) ばねののびは，ばねを引く力の大きさに比例していることを何の法則というか。

(7) 図2は2種類のばねについてばねに加えた力とばねののびの関係をグラフにしたものである。ばねAとばねBはどちらがのびにくいばねか答えよ。

図2



(8) 1N の力を加えると1.5cmのびるばねに，4N の力を加えると何cmのびるか。

(9) 1Nの力を加えると1.5cmのびるばねを12cmのばしたい。何Nの力を加えればよいか。

重力と質量

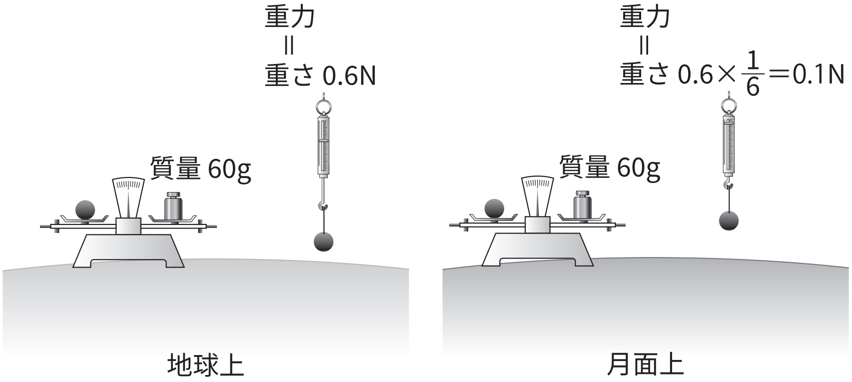
ポイント 重力(じゅうりょく)と質量(しつりょう)のちがい

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

場所によって変わらない，物体そのものの量を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

重力は場所が変わると＿＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図1

図1 重力と質量



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1)　重さの単位を表す記号は何か。

(2)　質量は場所が変わると変化するか。

(3)　重力は場所が変わると変化するか。

(4)　無重力の宇宙では重さはあるか，ないか。

(5)　重さを直接はかることができるのは，ばねばかりと上皿てんびんのどちらか。

(6)　上皿てんびんではかることができるのは，重力と質量のどちらか。

(7)　月の重力は地球の6分の1である。質量300gの物体を月で上皿てんびんにのせると，何gの分銅(ふんどう)とつり合うか。

第11講・重力と質量

力の表し方

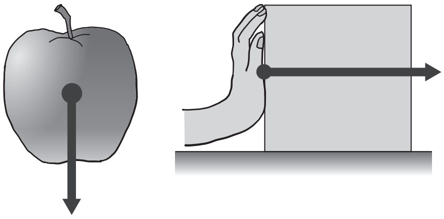
ポイント1　矢印による力(ちから)の表し方

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

力は物体全体にはたらいているが，

＿＿＿＿本の矢印で代表して表す。
└ 図1

図1 力の表し方



ポイント2　力の三要素

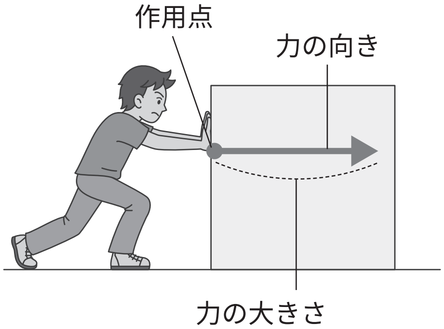
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①矢印の始点は＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）を表す。
└ 図2

②矢印の向きは＿＿＿＿＿＿を表す。
└ 図2

③矢印の長さは＿＿＿＿＿＿を表す。
└ 図2

図2 力の三要素



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 力の3要素で，物体に力がはたらく点を何というか。

(2) 力を矢印で表すとき，力の大きさは矢印の何で表すか。

(3) 荷物を手で右向きにおして動かした。このときの荷物に加えた力を矢印で表すとき，矢印はどちら向きか。

(4) 1Nの力を1cmの矢印で表すとき，5Nの力は何cmの矢印で表すか。

(5) 物体にはたらく重力を力の矢印で表すとき，矢印の始点は物体のどこにかくか。

(6) 物体にはたらく重力を力の矢印で表すとき，矢印はどちら向きか。

２つの力のつり合い

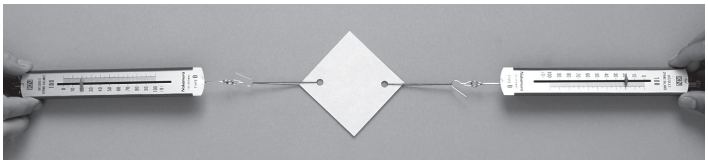
ポイント１　力のつり合いの実験

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

物体に2つの力がはたらいて，物体が動かないとき，

2つの力は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

図1　２つの力がつり合うようす



ポイント２　力のつり合う条件

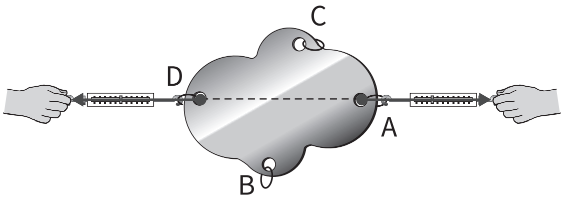
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①2力が＿＿＿＿＿＿＿＿にある。
└ 図2

②2力の大きさが＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図2

③2力の向きが＿＿＿＿＿＿＿である。
└ 図2

図2 力のつり合う条件



確認テスト

次の問いに答えなさい。

⑴　1つの物体に2つの力がはたらいて静止している。この2つの力はつり合っているか，いないか。

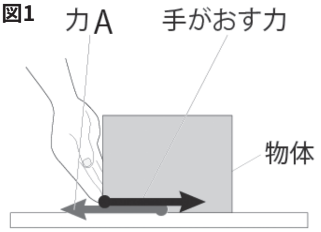
⑵　つり合っている2つの力は，一直線上にあるか。

⑶　つり合っている2つの力の向きはどうなっているか。

⑷　水平な床で物体が静止している。床から物体に垂直にはたらく力を何というか。

⑸　図1のように，机の上で，物体を手でおして動かそうとしているときにはたらく力A を何というか。

図1



⑹　図1の物体を，5Nの力でおしても，物体は動かなかった。このときの力A の大きさは何Nか。

物体と物質

ポイント1 物体（ぶったい）と物質（ぶっしつ）のちがい

______にあてはまる語句を確認しましょう。

物の外観に注目したときの呼び方を______という。
└ 図1

物をつくっている材料に注目したときの呼び方を______という。
└ 図1

図1 さまざまな物質でできた物体

ポイント2 物質の調べ方

______にあてはまる語句を確認しましょう。

①手ざわりや______を調べる。
└ 図2

②______を通すか，______につくか調べる。
└ 図3

図2 手ざわりやにおいを調べるようす

図3 電気を通すか，磁石につくか調べるようす

③てんびんやメスシリンダーを使って，______や______を調べる。
└ 図4

④______に入れたときのようすを調べる。

⑤______してようすを調べる。
└ 図5

⑥______を使って調べる。

図4 質量や体積を調べるようす

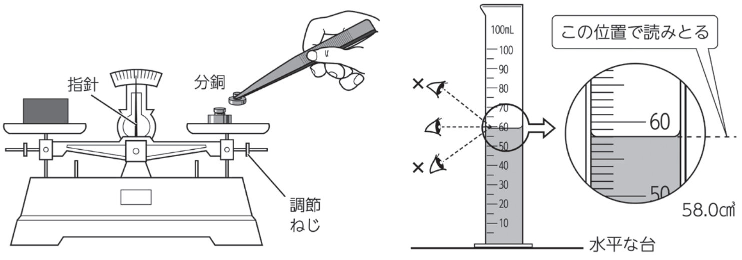
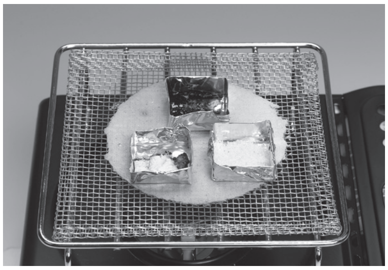


図5 加熱して調べるようす



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1)　コップは物質か，物体か。

(2)　ガラスは物質か，物体か。

(3)　フライパンは物質か，物体か。

(4)　銀は物質か，物体か。

(5)　次のうち，物質はどれか。
ア　紙　　イ　ノート　　ウ　下じき
エ　鉛筆　　オ　消しゴム

(6)　次のうち，物体はどれか。
ア　食塩　　イ　木　　ウ　鉄
エ　アルミニウム　　オ　ペットボトル

(7)　物質の性質を調べる方法として誤っているものは，次のうちどれか。
ア　味を調べる。
イ　手触りやにおいを調べる。
ウ　電気を通すか，磁石につくか調べる。
エ　質量と体積を調べる。
オ　加熱してようすを調べる。
カ　薬品を使って調べる。
キ　水に入れたときのようすを調べる。

金属と非金属

ポイント1　金属と非金属（ひきんぞく）のちがい

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

■金属の性質

みがくと＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿）。

＿＿＿＿＿をよく通す（電気伝導性）。

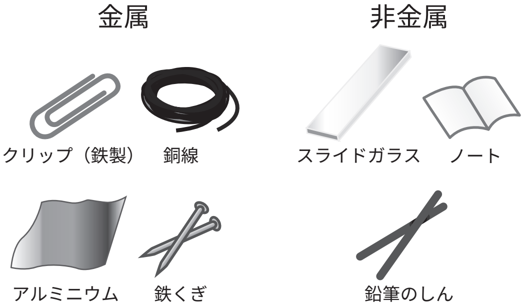
＿＿＿＿＿をよく伝える（熱伝導性）。

引っ張ると細く＿＿＿＿＿＿（延性（えんせい））。

たたくとうすく＿＿＿＿＿＿（展性（てんせい））。

＿＿＿＿＿につくのは金属に共通の性質ではない。

図1 金属と非金属



ポイント2　金属と非金属の利用

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

■電気の通しやすさ

導線（金属）は電気を＿＿＿＿＿＿。
└ 図2

被膜（非金属）は電気を＿＿＿＿＿＿。
└ 図2

■熱の伝わりやすさ

金属は熱を＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図3

非金属は熱を＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図4

図2 金属と非金属の利用（電気プラグ）

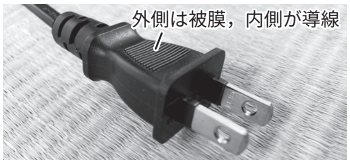


図4 非金属の利用（土鍋）

図3 金属の利用（フライパン）

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) アルミニウム，鉄，銅，亜鉛などの物質をまとめて何というか。

(2) 金属のもっている，たたいて広げることができる性質を何というか。

(3) 金属に共通の性質として誤っているものは，次のうちどれか。
ア　熱を伝えやすい
イ　電気を通しやすい
ウ　磁石につく
エ　引っ張ると細くのびる
オ　たたくとうすく広がる
カ　みがくと光る

(4) 金属以外の物質をまとめて何というか。

(5) 次のうち，金属はどれか。
ア　木
イ　ガラス
ウ　紙
エ　亜鉛
オ　食塩

(6) 次のうち，非金属はどれか。
ア　銀
イ　銅
ウ　鉄
エ　アルミニウム
オ　プラスチック

電子てんびんと上皿てんびんの使い方

ポイント1　電子てんびんの使い方

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①＿＿＿＿＿なところに置き，電源を入れる。
②何ものせていないときの表示を＿＿＿＿＿gや＿＿＿＿＿gに合わせる。
　粉末をはかるときは，薬包紙をのせてから，表示を0.0gや0.00gに合わせる。
③はかろうとする物をしずかにのせ，＿＿＿＿＿を読みとる。

ポイント2　上皿てんびんの使い方

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

■ 物質の質量をはかる場合

①水平なところに置き，針のふれが＿＿＿＿＿＿＿＿なる状態にする。
②はかろうとする物を一方の皿にのせ，他方の皿にそれより＿＿＿＿＿分銅（ふんどう）からのせる。
③分銅が重すぎたら，一つ小さい分銅ととりかえる。
　軽い場合は，のせた分銅より一つ小さい分銅を加える。
　これをくり返して＿＿＿＿＿＿＿＿。
　最後に分銅の質量を合計する。

■ 決まった質量の物質をはかりとる場合

①水平なところに置き，針のふれが＿＿＿＿＿＿＿＿なる状態にする。
②一方にはかりとりたい質量の分銅をのせ，他方の皿に薬品を＿＿＿＿＿＿のせる。
③左右の皿が＿＿＿＿＿＿＿＿薬品をのせていく。

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 電子てんびんを使って物体の質量をはかるときの操作として正しいものは，次のうちどれか。
ア　電源を入れたらすぐにはかるものをのせる。
イ　電源を入れたら目盛りを0.0に合わせてからはかるものをのせる。
ウ　電源を入れ，目盛りを0.0に合わせてから薬包紙をのせ，次にはかるものをのせる。

(2) 上皿てんびんはどのような場所に置いて使えばよいか。

(3) 上皿てんびんの指針がどのようになったとき，つり合ったと判断してよいか。

(4) 上皿てんびんを使って物体の質量をはかるとき，どのような操作をするか。　※利き手が右の場合
ア　左の皿にはかりたい物体をのせ，右の皿に物体よりも少し重いと考えられる分銅からのせていく。
イ　左の皿にはかりたい物体をのせ，右の皿に物体よりも少し軽いと考えられる分銅からのせていく。
ウ　右の皿にはかりたい物体よりも少し重いと考えられる分銅をのせてから，左の皿にはかりたい物体をのせる。

(5) 上皿てんびんを使って粉末の薬品をはかりとるとき，薬包紙はどのようにするか。
ア　両方の皿にのせる。
イ　薬品をのせる皿にだけのせる。
ウ　分銅をのせる皿にだけのせる。

(6) 上皿てんびんを使って決まった質量の物質をはかりとるとき，どのような操作をするか。
ア　水平なところに置き,針のふれが左右で等しくなる状態にし,一方の皿にはかりとりたい薬品をのせ,他方の皿につり合うまで分銅を少しずつのせる。
イ　水平なところに置き，針のふれが左右で等しくなる状態にし，一方の皿にはかりとりたい質量の分銅をのせ，他方の皿に薬品を目的の質量になるまで大まかにのせる。
ウ　水平なところに置き，針のふれが左右で等しくなる状態にし，一方の皿にはかりとりたい質量の分銅をのせ，他方の皿に薬品を目的の質量になるまで少しずつのせる。

メスシリンダーの使い方

ポイント　メスシリンダーの使い方

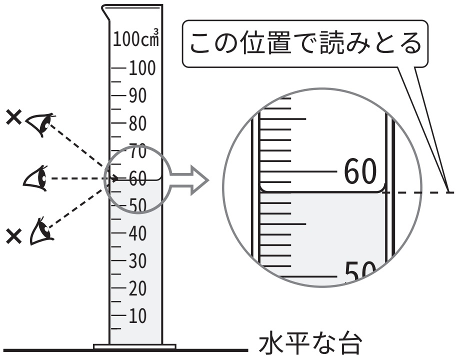
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

■ 液体の体積の調べ方

＿＿＿＿＿なところに置く。
└ 図1

＿＿＿＿＿から目盛りを見て，目分量で最小目盛りの
＿＿＿＿まで読みとる。
└ 図1

図1 液体の体積の読みとり方



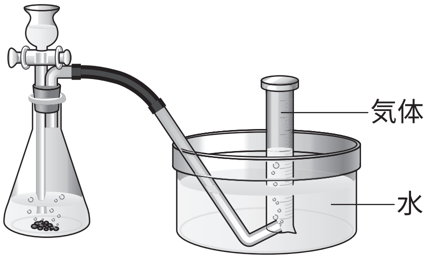
■ 固体の体積の調べ方

固体の体積 ＝ 固体を入れたあとの体積 －＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

■ 気体の体積の調べ方

気体の体積は，水上置換法（すいじょうちかんほう）で気体を入れていき，
入れ終わったらそのときの＿＿＿＿＿の目盛りを
読みとる。
└ 図2

図2 気体の体積のはかり方



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) メスシリンダーでは，物質の何をはかることができるか。

(2) メスシリンダーはどのようなところに置いて使えばよいか。

(3) メスシリンダーの目盛りを読みとるときは，どこを読みとるか。

(4) メスシリンダーの目盛りを読みとるときの目の位置はどこか。

(5) メスシリンダーの目盛りは最小目盛りのどこまで目分量で読みとるか。

(6) 50.0cm^3の水を入れたメスシリンダーにある物体を入れたところ，体積が78.5cm^3になった。この物体の体積は何cm^3か。

(7) メスシリンダーを使って気体の体積をはかるとき，気体を何という方法で集めるか。

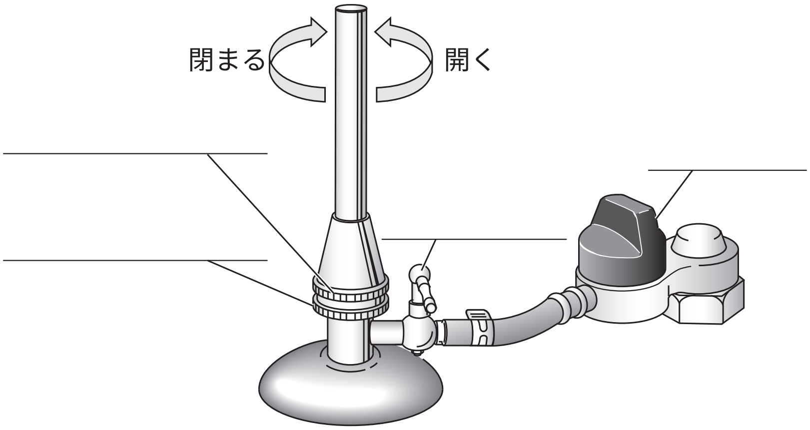
第14講・実験器具の使い方

ガスバーナーの使い方

ポイント1 ガスバーナーの各部の名称

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

図1 ガスバーナーの各部の名称



ポイント2 ガスバーナーの使い方

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

■ ガスバーナーに火をつけるとき

①上下2つのねじが＿＿＿＿＿＿＿＿確認する。

②ガスの＿＿＿＿＿，コックの順に開く。

③マッチに火をつけ，＿＿＿＿＿＿＿＿を少しずつ開いて点火する。

④ガス調節ねじをおさえて＿＿＿＿＿＿＿＿を開き，青色の炎にする。

■ ガスバーナーの火を消すとき

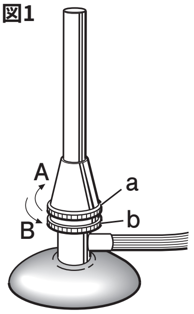
＿＿＿＿＿＿＿＿→＿＿＿＿＿＿＿＿→＿＿＿＿＿＿→＿＿＿＿＿の順に閉じる。

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 図1のaを何というか。

図1



(2) 図1のbを何というか。

(3) 図1のガスバーナーに火をつけるとき，a，bどちらのねじをA，Bどちらの向きに回せばよいか。

(4) ガスバーナーで，赤色の炎を適正な青色の炎にするには，a，bどちらのねじをA，Bどちらの向きに回せばよいか。

(5) ガスバーナーの火を消すとき，一番先に閉めるものは何か。

(6) 次のうち，ガスバーナーの火をつけるとき，一番最初に行う操作はどれか。
ア　コックを開ける。
イ　元栓を開ける。
ウ　ガス調節ねじと空気調節ねじが閉まっていることを確認する。
エ　マッチに火をつける。
オ　空気調節ねじをゆるめる。

(7) 次の操作を，ガスバーナーの火をつけるときの正しい操作の順に並べ替えよ。
1.ガス調節ねじをゆるめて火をつける。
2.空気調節ねじをゆるめて空気の量を調節する。
3.コックを開く。
4.元栓を開く。

物質の密度

ポイント1 密度(みつど)による物質の区別

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

てんびんではかることができる物質の量を＿＿＿＿＿という。

単位体積あたりの質量を＿＿＿＿＿という。

$$\underline{\quad〔\quad〕\quad} = \frac{\underline{\quad〔\ 〕}}{\underline{\quad〔\ 〕}}$$

計算例

ある物質の質量と体積をはかったところ，

質量が113 g，体積が12.6cm^{3}だった。この物質は何か。

解答

$$密度〔g/cm^3〕= \frac{質量〔g〕}{体積〔cm^3〕}$$

$\frac{113}{12.6}$＝8.968…　よって，銅
└ 表1

表1 物質の密度

金属	密度〔g/cm^3〕
金	19.32
銀	10.50
銅	8.96
鉄	7.87
アルミニウム	2.70

ポイント2 物質の浮きしずみ

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

密度の大きい物質を密度の小さい液体に入れると＿＿＿＿＿。
└ 図1

密度の小さい物質を密度の大きい液体に入れると＿＿＿＿＿。
└ 図2

図1 氷（密度大）をエタノール（密度小）に入れたようす

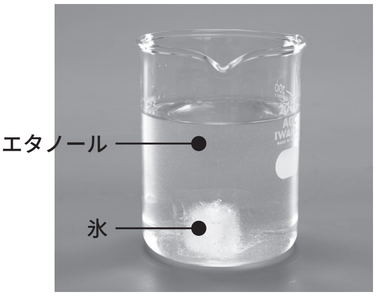
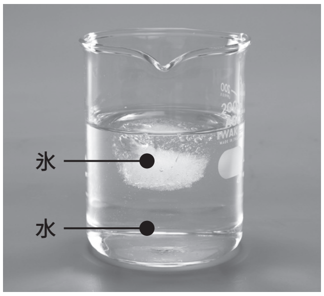


図2 氷（密度小）を水（密度大）に入れたようす



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) てんびんではかることができる物質の量を何というか。

(2) 密度の単位を表す記号は〔g/cm^3〕である。読み方を答えよ。

(3) 体積がわかっている物質の密度を求めるとき，物質の何をはかれば密度を求めることができるか。

(4) 体積20cm^3，質量54g の物質の密度はいくらか。

(5) 密度の小さい液体の中に密度の大きい固体を入れると，密度の大きい固体はどうなるか。

(6) 体積が30cm^{3}で質量が315gの物質は何でできているか。

●物質の密度〔g/cm^3〕
銀：10.50
鉄：7.87
銅：8.96
水：1.00
氷：0.92

有機物と無機物

ポイント1 白い粉の区別

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

＿＿＿＿＿＿を調べる。
└ 表1①

＿＿＿＿＿＿＿を調べる。
└ 表1②

＿＿＿＿＿に入れたときのようすを 調べる。
└ 表1③

＿＿＿＿＿＿してようすを調べる。
└ 表1④

表1 実験結果

	粉末A	粉末B	粉末C
①見た目	白い粉末	白く細かい粉末	白い粉末
②手ざわり	さらさらしている	キュッキュッとする	さらさらしている
③水に入れたときのようす	とけた	とけなかった	とけた
④加熱したときのようす	液体になってこげた	こげた	変化なし
正体	砂糖	片栗粉（デンプン）	食塩

ポイント2 有機物と無機物

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

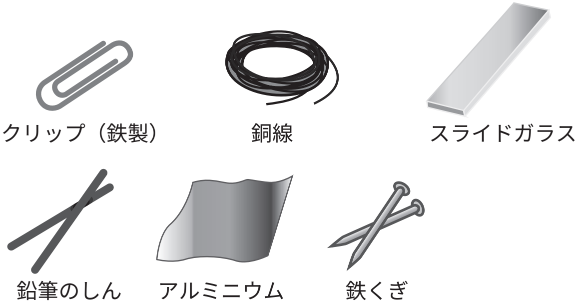
炭素をふくむ物質を＿＿＿＿＿＿という。

有機物は炎を出して燃え，＿＿＿＿＿＿と水ができる。（図1）

有機物以外の物質を＿＿＿＿＿＿という。（図2）

図1 有機物の燃焼

図2 無機物の例



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 炭素をふくむ物質を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(2) 有機物が燃えたときに発生する気体は何か。　＿＿＿＿＿＿

(3) 有機物以外の物質を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(4) 次のうち，有機物はどれか。
ア　食塩　　イ　ガラス　　ウ　炭素
エ　アルミニウム　　オ　デンプン　＿＿＿＿＿＿

(5) 次のうち，無機物はどれか。
ア　酸素　　イ　メタン　　ウ　プロパン
エ　ロウ　　オ　エタノール　＿＿＿＿＿＿

(6) 次のうち，水にとける有機物はどれか。
ア　二酸化炭素　　イ　デンプン（片栗粉）
ウ　食塩　　エ　砂糖　＿＿＿＿＿＿

気体の性質と集め方

ポイント１　気体の集め方

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

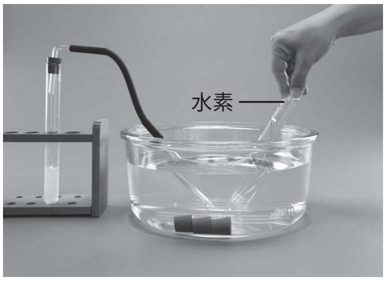
■ 水上置換法(すいじょうちかんほう)の注意点

はじめは試験管の中を＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

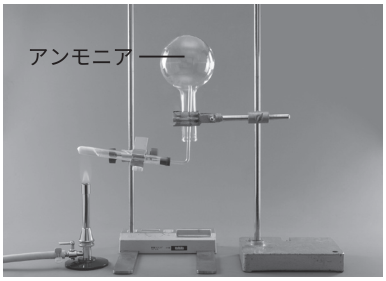
はじめに出てくる気体は＿＿＿＿＿＿＿。

図1 気体の集め方

＿＿＿＿＿＿＿＿



＿＿＿＿＿＿＿＿

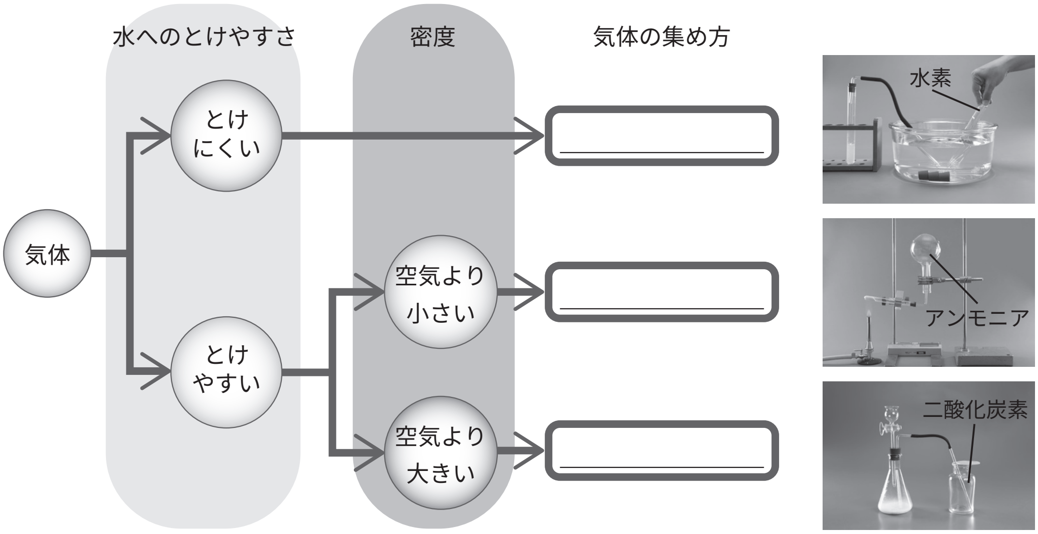


＿＿＿＿＿＿＿＿

ポイント２　気体の性質による集め方のちがい

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

図2 気体の性質による集め方のちがい

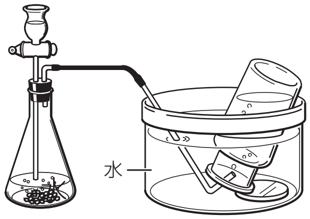


確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 図1のような気体の集め方を何というか。

図1



(2) 図1のような集め方で気体を集めるときの操作として誤っているものは，次のうちどれか。
ア　最初に出てくる気体は集めず捨てる。
イ　気体を集める容器をあらかじめ水で満たしておく。
ウ　気体を集める容器をあらかじめ空気で満たしておく。

(3) 図1のような集め方で集めることのできない気体は次のうちどれか。
ア　酸素　　イ　水素　　ウ　窒素
エ　二酸化炭素　　オ　アンモニア

(4) アンモニアが図1のような集め方に適さないのは，どのような性質があるためか。

(5) 水にとけやすく，空気よりも密度が小さい気体を集めることができる方法を何というか。

(6) 上方置換法で集めることができるのは，どのような性質の気体か。

(7) 水にとけにくく，空気よりも密度が大きい気体を集めるときは，どのような集め方ができるか。
ア　上方置換法のみ　　イ　水上置換法のみ
ウ　下方置換法のみ
エ　上方置換法と水上置換法
オ　下方置換法と水上置換法

二酸化炭素と酸素

ポイント1　二酸化炭素と酸素の発生方法

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

二酸化炭素の発生：＿＿＿＿＿＿＋＿＿＿＿＿＿
└ 図1　└ 大理石，卵の殻，貝殻などでも代用できる

酸素の発生：＿＿＿＿＿＿＋＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿）
└ 図2　└ じゃがいも，ダイコンおろし，牛レバーなどでも代用できる

二酸化炭素と酸素は，＿＿＿＿＿＿で集めることができる。

図1　二酸化炭素の発生

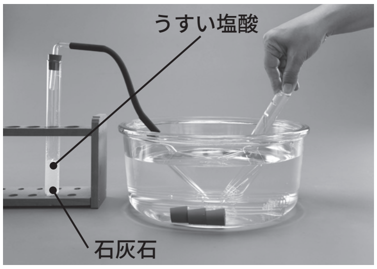
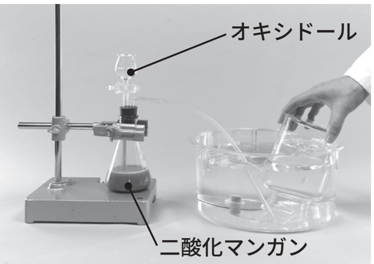


図2　酸素の発生



ポイント2　二酸化炭素と酸素の性質

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

気体が入った試験管に線香（せんこう）を入れると，

二酸化炭素は線香の火が＿＿＿＿＿＿，酸素は線香が＿＿＿＿＿＿。
└ 図1　└ 図2

気体に石灰水を入れると，二酸化炭素は石灰水が＿＿＿＿＿＿，酸素は変化しない。
└ 図3　└ 図4

図1　二酸化炭素に線香を入れたときのようす

図2　酸素に線香を入れたときのようす

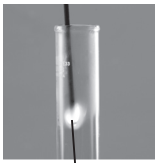


図3　二酸化炭素に石灰水を入れたときのようす

図4　酸素に石灰水を入れたときのようす

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 酸素と二酸化炭素では，空気中にふくまれている量はどちらが多いか。

(2) 二酸化マンガンをオキシドールに入れたとき，発生する気体は何か。

(3) 貝がらにうすい塩酸を加えたとき，発生する気体は何か。

(4) ダイコンおろしをオキシドールに入れたとき，発生する気体は何か。

(5) 酸素の性質として正しいものは次のうちどれか。
ア　ものを燃やすはたらきがある
イ　水にとけやすい
ウ　刺激臭がある
エ　火をつけると燃える
オ　水溶液が酸性を示す

(6) 二酸化炭素の性質として正しいものは次のうちどれか。
ア　水にとけやすい
イ　空気よりも軽い
ウ　石灰水を白くにごらせる
エ　燃える
オ　ものを燃やすはたらきがある

(7) 次のうち，オキシドールに入れたときに酸素が発生するものをすべて選べ。
ア　牛レバー　イ　じゃがいも
ウ　亜鉛　エ　ダイコンおろし

(8) 次のうち，うすい塩酸をかけたときに二酸化炭素が発生するものをすべて選べ。
ア　貝殻　イ　大理石
ウ　卵の殻　エ　マグネシウム

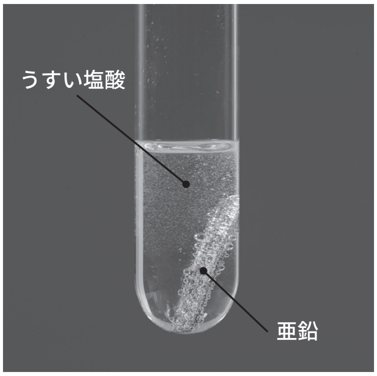
水素と窒素

ポイント 1　水素の発生方法

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

水素の発生：＿＿＿＿＿＿や＿＿＿＿＿＿＋＿＿＿＿＿＿＿＿

図1 水素の発生



ポイント 2　水素と窒素（ちっそ）の性質

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

空気中で水素に火をつけると，

音を出して＿＿＿＿＿＿＿水ができる。
　└ 図2

窒素は空気中に約＿＿＿＿＿%含まれている。
　└ 図3

図3 空気中の気体の構成割合

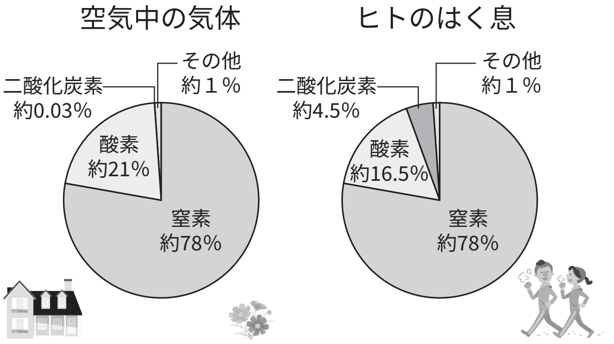


図2 空気中で燃える水素

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 水素を発生させるには亜鉛に何を加えればよいか。 ＿＿＿＿＿

(2) 気体の中で最も軽い気体は何か。 ＿＿＿＿＿

(3) 空気の体積の約78%を占める気体は何か。 ＿＿＿＿＿

(4) 水素の性質として正しいものは次のうちどれか。
ア　火のついた線香を入れると線香が激しく燃える。
イ　石灰水に通すと石灰水が白くにごる。
ウ　火をつけると燃えて水ができる。
エ　水によくとけて，その水溶液はアルカリ性を示す。 ＿＿＿＿＿

(5) 窒素の性質として正しいものは次のうちどれか。
ア　ものを燃やすはたらきがある。
イ　ヒトのはく息に最も多くふくまれている。
ウ　最も軽い気体である。
エ　刺激臭のある気体である。 ＿＿＿＿＿

第18講・気体の性質

アンモニア

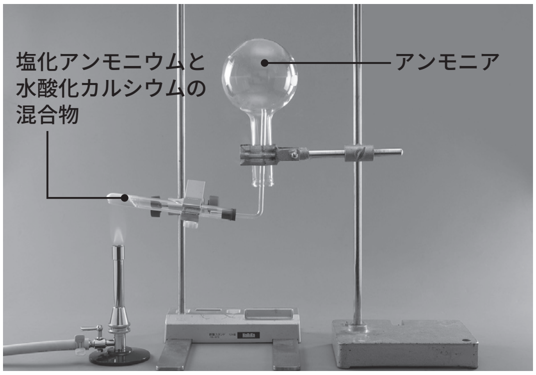
ポイント1　アンモニアの発生

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

＿＿＿＿＿＿＿＿の発生：塩化アンモニウムと水酸化カルシウムの混合物(こんごうぶつ)を加熱
└ 図1

アンモニアは＿＿＿＿＿＿＿＿で集める。
└ 図1

図1 アンモニアの発生



ポイント2　アンモニアの性質

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

アンモニアは＿＿＿＿＿＿がある。

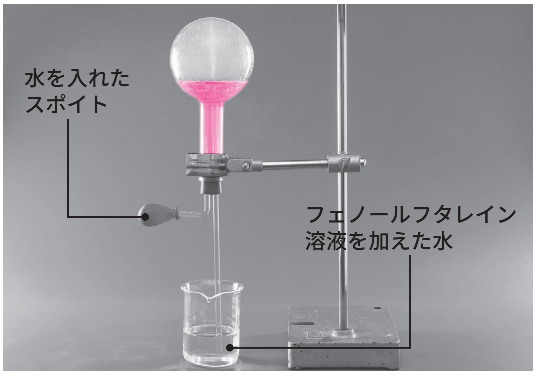
アンモニアは空気より＿＿＿＿＿＿。

アンモニアは水に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

アンモニア水溶液(すいようえき)は＿＿＿＿＿＿＿性。

（フェノールフタレイン溶液が＿＿＿＿＿色になる）
└ 図2

図2 アンモニアの噴水実験



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) アンモニアを発生させるには，塩化アンモニウムと何の混合物を加熱すればよいか。

(2) アンモニアは水にとけるとどのような性質を示すか。

(3) アンモニアの性質として正しいものは，次のうち何個あるか。
1.無色で刺激臭がある
2.空気よりも重い
3.水にとけやすい
4.アンモニアがとけた水溶液は酸性である

(4) アンモニアの集め方として正しいものは，次のうちどれか。
ア　上方置換法で集める
イ　下方置換法で集める
ウ　水上置換法で集める
エ　上方置換法でも水上置換法でも集めることができる
オ　下方置換法でも水上置換法でも集めることができる

(5) アンモニア水（アンモニア水溶液）の性質として正しいものは，次のうち何個あるか。
1.フェノールフタレイン溶液を加えると赤色になる
2.フェノールフタレイン溶液を加えても色が変化しない
3.赤色リトマス紙につけると，リトマス紙が青色になる
4.青色リトマス紙につけると，リトマス紙が赤色になる

第18講・気体の性質

さまざまな気体

ポイント さまざまな気体の性質

____にあてはまる語句を確認しましょう。

表1 さまざまな気体の性質

	二酸化炭素	酸素	水素	窒素（ちっそ）	アンモニア	塩素	塩化水素
色やにおい	無色・無臭	無色・無臭	無色・無臭	無色・無臭	無色・刺激臭（しげきしゅう）	黄緑色・刺激臭	無色・刺激臭
水へのとけ方	少しとける	とけにくい	とけにくい	とけにくい	非常にとけやすい	とけやすい	非常にとけやすい
空気と比べた重さ	空気より重い	空気より重い	最も軽い	空気よりわずかに軽い	軽い	重い	重い
集め方	水上置換法（すいじょうちかんほう） 下方置換法（かほうちかんほう）	水上置換法	水上置換法	水上置換法	上方置換法（じょうほうちかんほう）	下方置換法	下方置換法
特徴	____	____	____	スナック菓子の袋に詰められている	____	____	____
空気中の体積比	約0.04%	約____%	—	約____%	—	—	—

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) ベーキングパウダーに酢を入れたときに発生する気体を試験管に集め，石灰水を入れて振ると，石灰水はどのようになるか。

(2) 空気中で燃え，酸素との比率によっては爆発する危険がある気体は，次のうちどれか。
ア　酸素　　イ　水素　　ウ　窒素
エ　二酸化炭素　　オ　アンモニア

(3) 次の気体のうち，最も水にとけやすいものはどれか。
ア　酸素　　イ　水素　　ウ　窒素
エ　二酸化炭素　　オ　アンモニア

(4) 次の気体のうち，最も重い（密度が大きい）ものはどれか。
ア　酸素　　イ　水素　　ウ　窒素
エ　二酸化炭素　　オ　アンモニア

(5) 次の気体のうち，色のついている気体はどれか。
ア　水素　　イ　酸素　　ウ　二酸化炭素
エ　塩素　　オ　塩化水素

(6) 次の気体のうち，空気より重い（密度が大きい）気体はどれか。
ア　水素　　イ　アンモニア
ウ　窒素　　エ　塩化水素

(7) 次の〔　〕内の気体のうち，水上置換法で集めることができない気体は何個あるか。
〔酸素　水素　窒素　アンモニア　塩素　塩化水素〕

(8) 次の気体のうち，水溶液が酸性を示す気体はどれか。
ア　酸素　　イ　アンモニア　　ウ　水素
エ　塩化水素　　オ　窒素

(9) 次の気体のうち，人体にとって有毒な気体はどれか。
ア　二酸化炭素　　イ　塩素　　ウ　窒素　　エ　酸素

水溶液

ポイント１　水溶液(すいようえき)とは

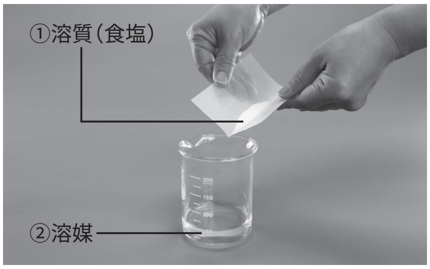
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

液体にとけている物質を＿＿＿＿＿という。
└ 図1①

溶質をとかしている液体を＿＿＿＿＿という。
└ 図1②

＿＿＿＿＿＝＿＿＿＿＿＋＿＿＿＿＿
溶媒が水であるものを＿＿＿＿＿という。

図1 溶質と溶媒



ポイント２　水溶液の性質

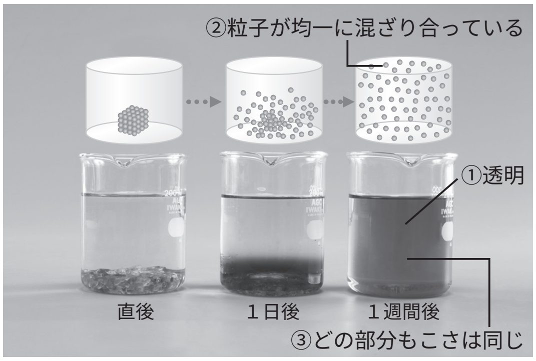
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①水溶液は液が＿＿＿＿＿である。
└ 図2①

②水溶液は粒子(りゅうし)が＿＿＿＿＿に混ざり合っている。
└ 図2②

③水溶液は時間がたってもどの部分も液の
こさは＿＿＿＿＿。
└ 図2③

図2 水溶液の粒子モデル



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 液体にとけている物質を何というか。

(2) 溶質をとかしている液体を何というか。

(3) 溶媒に溶質をとかした液体を何というか。

(4) 溶媒が水であるものを何というか。

(5) 食塩水の場合，溶質は何か。

(6) 物質が水にとけているとき，どのように見えるか。
ア　全体が透明に見える。
イ　全体がにごって見える。
ウ　上の方は透明で，下の方はにごって見える。
エ　液体の中心付近がにごって見えるが，周囲は透明に見える。
オ　下の方は透明で，上の方はにごって見える。

(7) 完全にとけた砂糖水の濃さはどの部分でも同じか，部分によって違うか。

(8) コーヒーシュガーをとかした茶色の水溶液を1週間置いておくと，水溶液の色はどうなるか。ただし，水は蒸発しないものとする。

純物質と混合物

ポイント1 純物質（じゅんぶっしつ）（純粋（じゅんすい）な物質）

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

1種類の物質でできている物を＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿）という。
└ 図1

図1 純物質の例

1円玉　水　酸素

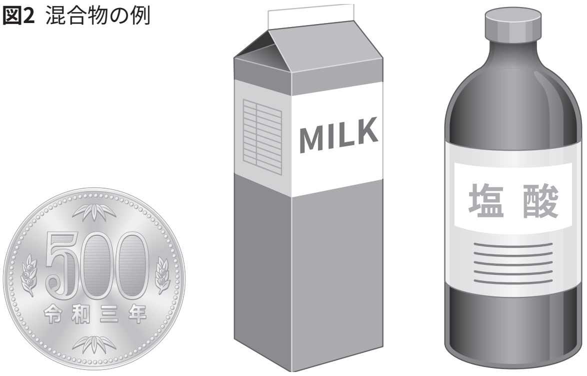
- 水
- 塩化ナトリウム
- 酸素，二酸化炭素，
  水素，塩化水素
- ブドウ糖
- アルミニウム，
  鉄，銅
  亜鉛，ニッケル

ポイント2 混合物（こんごうぶつ）

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

複数の物質が混ざっている物を＿＿＿＿＿という。
└ 図2

図2 混合物の例



500円玉　牛乳　塩酸

- 空気
- 食塩水
- 炭酸水
- 牛乳
- ジュース
- 塩酸
- 合金

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 1種類の物質でできている物を何というか。

(2) 複数の物質が混ざっている物を何というか。

(3) 水溶液は，純粋な物質か，それとも混合物か。

(4) 次のうち，混合物はどれか。
ア　水　イ　二酸化炭素　ウ　酸素
エ　空気　オ　食塩

(5) 次のうち，純物質はどれか。
ア　氷水　イ　レモンジュース
ウ　味噌汁　エ　牛乳　オ　麦茶

溶液の濃度

ポイント　質量(しつりょう)パーセント濃度(のうど)の求め方

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

$$\underline{\qquad\qquad\qquad}〔\%〕=\frac{\underline{\qquad\qquad}〔g〕}{\underline{\qquad\qquad}〔g〕}\times\underline{\qquad\qquad}$$

$$=\frac{\underline{\qquad\qquad}〔g〕}{\underline{\qquad\qquad}〔g〕+\underline{\qquad\qquad}〔g〕}\times\underline{\qquad\qquad}$$

※溶け残りは溶質の質量に含めてはいけない。

計算例1　水100gに砂糖25gをとかした水溶液の質量パーセント濃度は何%か。

解答　$\frac{25}{100+25}\times100=20$〔%〕

計算例2　質量パーセント濃度が20%の砂糖水溶液200gの中に，溶質は何gふくまれているか。また，溶媒は何gふくまれているか。

解答　溶質をxgとおくと，$\frac{x}{200}\times100=20$〔%〕

$x=20\times\frac{200}{100}=40$〔g〕

溶媒は，溶質をとかしている水のことなので，200－40＝<u>160〔g〕</u>

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 次の式は質量パーセント濃度を表す式である。
式のア，イにあてはまる語はそれぞれ何か。

$$質量パーセント濃度〔\%〕= \frac{（ア）の質量〔g〕}{（イ）の質量〔g〕} \times 100$$

(2) 水100gに砂糖10gをとかした。とかしたあとの水溶液の質量はいくらか。

(3) 溶液の質量が80g，溶質の質量が20gのときの質量パーセント濃度はいくらか。

(4) 水80gに砂糖20gをとかしたときの質量パーセント濃度はいくらか。

(5) 質量パーセント濃度が15%の食塩水が200gある。
この水溶液にふくまれている食塩は何gか。

(6) 20gの食塩を使い，質量パーセント濃度が10%の食塩水をつくりたい。水を何g加えればよいか。

ろ過のしかた

ポイント１　ろ過のしかた

______にあてはまる語句を確認しましょう。

固体と液体を分ける操作を______という。

■ ろ過の手順

①______を折りたたみ，水で湿らせ，
______に密着させる。
└ 図2

②ろうとのあしのとがった方を
______につける。
└ 図1

③______を伝わらせて静かに液体をそそぐ。
└ 図1

図1 ろ過のようす

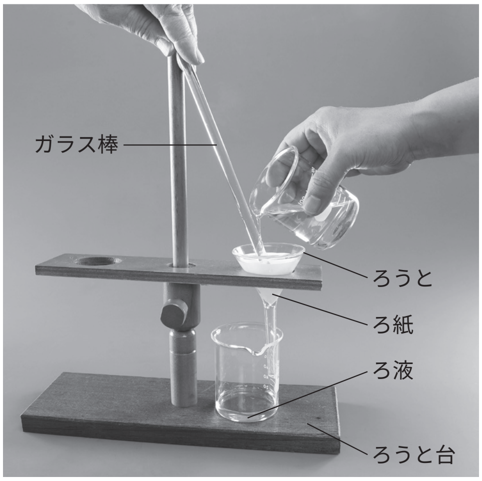
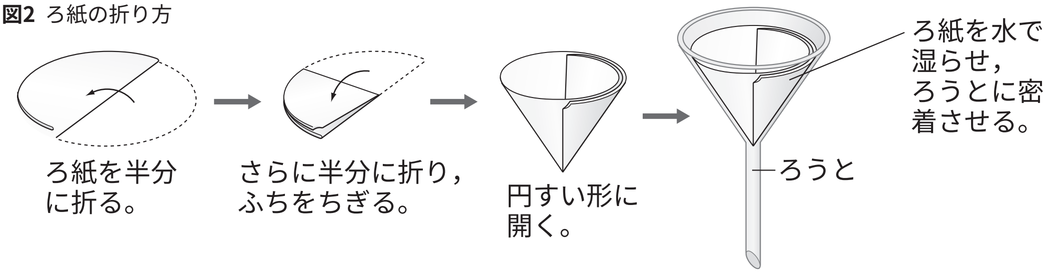


図2 ろ紙の折り方

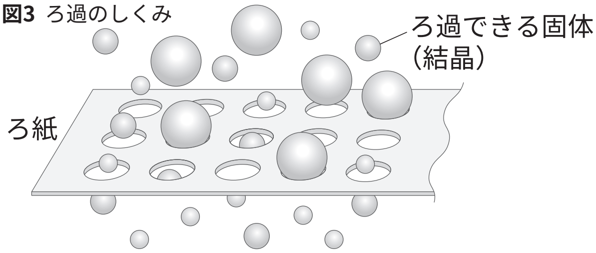


ポイント２　ろ過のしくみ

______にあてはまる語句を確認しましょう。

ろ紙のあなより______ものはろ紙を
通らないことにより，ろ過できる。
└ 図3

図3 ろ過のしくみ



______（______）　＞　ろ紙のあな　＞　液体（水の粒子(りゅうし)や溶質）

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) ろ紙などを使って，固体と液体を分ける操作を何というか。

(2) ろ過の操作の注意点として正しいものは，次のうちどれか。
ア　ろ紙をろうとに入れるときに湿らせない。
イ　ガラス棒を使い，ろ過する液体をガラス棒を伝わらせて少しずつ入れる。
ウ　ガラス棒を使わず，ろ過する液体を直接ろうとに注ぐ。
エ　ろうとのあしは，ビーカーのかべにつけない。

(3) 次のア〜ウをろ過の操作手順として正しい順番に並べかえよ。
ア　ろうとのあしのとがった方をビーカーのかべにつける。
イ　ろ紙を折りたたみ，水で湿らせ，ろうとに密着させる。
ウ　ガラス棒を伝わらせて，静かに液体をそそぐ。

(4) ろ過によって結晶と液体を分けられるとき，ろ紙の穴，結晶，液体の粒子の大きさは，どのような関係になっているか。大きい順に並べかえよ。

(5) ろ過をしたあとのろ液は純物質か，混合物か。

溶解度と溶解度曲線

ポイント1 溶解度と飽和水溶液

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

物質が100 gの水にとける限度の量を＿＿＿＿＿＿という。

物質が限度までとけている状態を＿＿＿＿＿していいるという。

物質がそれ以上とけない水溶液を＿＿＿＿＿＿＿という。

└ 図1

図1 飽和水溶液

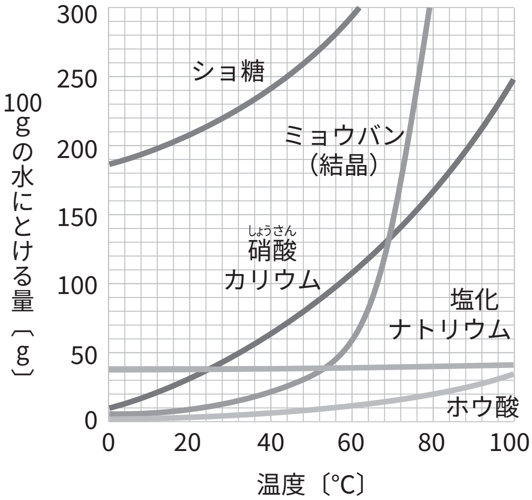
ポイント2 溶解度曲線

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

水の温度ごとに物質のとける限度の量をまとめたグラフを＿＿＿＿＿＿＿という。

└ 図2

図2 溶解度曲線



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 物質の溶解度は，ふつう水何gにとける物質の質量で表すか。

(2) 物質が限度までとけている状態を何というか。

(3) 物質がそれ以上とけない水溶液を何というか。

(4) 水の温度ごとに物質のとける限度の量をまとめたグラフを何というか。

(5) 20℃の水における溶解度が30gの物質は，20℃で200gの水には何gまでとけるか。

(6) 固体の溶解度は一般に温度が高くなると，どうなるか。

(7) 次のうち，温度が高くなったときの溶解度の変化が最も小さい物質はどれか。
ア　塩化ナトリウム　　イ　ショ糖（砂糖）
ウ　ミョウバン　　エ　ホウ酸
オ　硝酸カリウム

第20講・溶解度と再結晶

結晶と再結晶

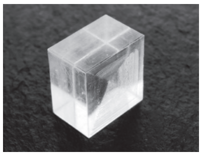
ポイント1 結晶(けっしょう)と再結晶(さいけっしょう)とは

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

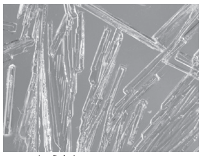
物質に固有の規則正しい形をした純粋(じゅんすい)な物質を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

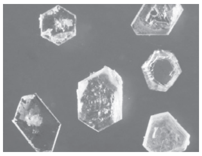
物質を一度水にとかしてから再び結晶としてとり出すことを＿＿＿＿＿＿という。

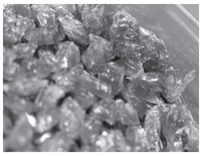
図1 さまざまな物質の結晶


塩化ナトリウム

ミョウバン


硝酸(しょうさん)カリウム


ホウ酸


硫酸銅

ポイント2 再結晶の手順

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

①物質を＿＿＿＿＿＿とかす。
└ 図2①

②水溶液の温度を＿＿＿＿＿＿。
└ 図2②

③＿＿＿＿＿＿をして物質をとり出す。
└ 図2③

※冷やしても結晶が出ない物質は溶媒を蒸発させる。
この方法も再結晶である。

図2 再結晶の手順

①物質を水にとかして水溶液をつくる

②温度を下げるととけきれなくなった物質が出てくる

③ろ過して物質と水を分離する

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 純粋な物質で固有の規則正しい形をした固体を何というか。

(2) 物質を一度水にとかしてから再び結晶としてとり出すことを何というか。

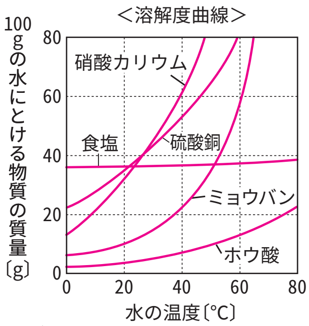
(3) 温度による溶解度の差が大きい物質を再結晶させるにはどうしたらよいか。

(4) 温度による溶解度の差が大きい物質を再結晶させるとき，水溶液の温度を下げた後，何という操作を行って物質をとり出すか。

(5) 40°Cの水100gに物質を20gずつ入れてかき混ぜた。このとき，とけ残りがあった物質は，次のうちどれか。図1を参照して答えよ。

ア　硫酸銅　　イ　食塩
ウ　ホウ酸　　エ　ミョウバン
オ　硝酸カリウム

図1



(6) ある質量のミョウバンを20°Cの水100gにとかしたところ，とけ残りがあった。そこで，水溶液の温度を40°Cまで上げたところ，とけ残りがなくなった。このとき，水100gにとかしたミョウバンの質量は何gか。図1を参照してもっとも近いものを答えよ。

ア　10g　　イ　15g　　ウ　20g　　エ　30g

(7) 食塩水から食塩の結晶をとり出すにはどのような操作をするとよいか。図1を参照して答えよ。

物質の状態変化

ポイント　状態変化（じょうたいへんか）

______にあてはまる語句を確認しましょう。

温度によって物質の姿（状態）が変わることを________________という。
└ 図1

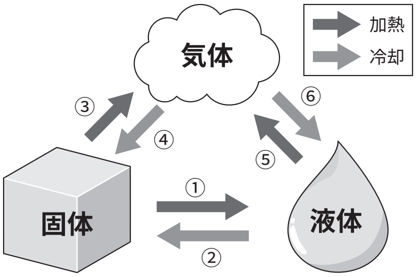
固体を加熱すると____________や気体になる。
└ 図1①　└ 図1③

液体を加熱すると____________になる。
└ 図1⑤

気体を冷却すると____________や固体になる。
└ 図1⑥　└ 図1④

液体を冷却すると____________になる。
└ 図1②

図1 状態変化



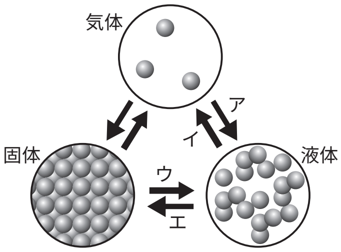
確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 物質が温度によって，固体↔液体↔気体と，そのすがたを変えることを何というか。

(2) 図1は，物質が固体⇆液体⇆気体と状態を変えるようすを表している。アにあてはまるのは加熱と冷却のどちらか。

図1



(3) 図1のイにあてはまるのは加熱と冷却のどちらか。

(4) 図1のウにあてはまるのは加熱と冷却のどちらか。

(5) 図1のエにあてはまるのは加熱と冷却のどちらか。

(6) 状態変化によって，物質は別の物質に変化するか，変化しないか。

状態変化と体積・質量の変化

ポイント1　固体⇔液体の変化における体積と質量

______にあてはまる語句を確認しましょう。

液体が固体になると体積はふつう______。
└ 図1

液体が固体になっても質量は______。

※液体が気体になると体積はふつう大きくなるが，質量は変化しない。

図1 ロウの液体⇔固体の変化

ポイント2　水の固体⇔液体の変化における体積と質量

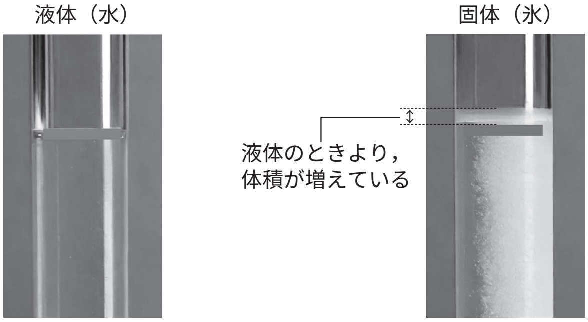
______にあてはまる語句を確認しましょう。

水が液体から固体になるとき，体積は______。
└ 図2

水が液体から固体になるとき，質量は______。

※水の場合も液体が気体になると体積は大きくなるが，質量は変化しない。

図2 水⇔氷の変化



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 状態変化によって，物質の質量は変化するか，変化しないか。 ＿＿＿＿＿＿

(2) 一般に，水以外の物質が固体→液体→気体と状態変化するにつれて，体積はどう変化するか。 ＿＿＿＿＿＿

(3) 液体から気体に状態変化した物質を液体にもどしたとき，体積はどうなるか。 ＿＿＿＿＿＿

(4) ろうが液体から固体に状態変化するとき，体積は増加するか，減少するか，変わらないか。 ＿＿＿＿＿＿

(5) 水が液体から固体に状態変化するとき，体積は増加するか，減少するか，変わらないか。 ＿＿＿＿＿＿

(6) 液体のエタノール50gがすべて気体になったとき，質量は何ｇになるか。 ＿＿＿＿＿＿

(7) 固体のロウを液体にすると，密度はどうなるか。 ＿＿＿＿＿＿

(8) 水に氷を入れると，氷が水に浮く。このことから，どのようなことがわかるか。 ＿＿＿＿＿＿

第21講・物質の状態変化

状態変化の粒子モデル

ポイント1　固体⇔液体の変化と粒子モデル

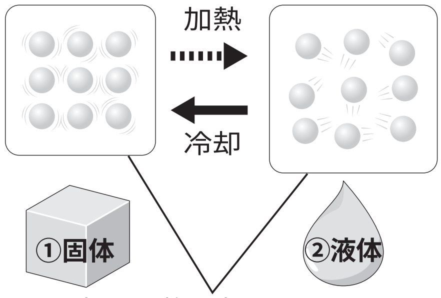
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

固体が液体になると粒子(りゅうし)の間隔が＿＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図1②

固体は粒子が決まった場所から＿＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図1①

液体は粒子が自由に＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図1②

図1 固体⇔液体の粒子モデル



ポイント2　液体⇔気体の変化と粒子モデル

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

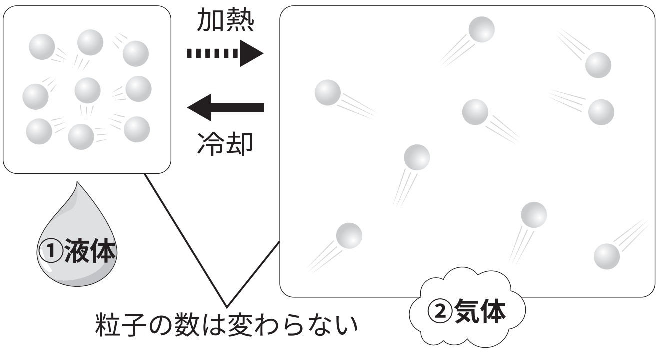
液体は粒子が自由に＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図2①

液体が気体になると粒子の運動が＿＿＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図2②

気体は粒子が自由に＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図2②

温度が上がると粒子の運動が＿＿＿＿＿＿＿なっていく。

図2 液体⇔気体の粒子モデル



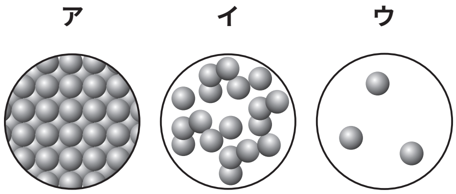
確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 液体のエタノールを袋に入れて密閉し，袋に熱湯を注ぐと，袋はどのようになるか。

(2) 図1のア～ウは，それぞれエタノールの固体，液体，気体のいずれかの粒子モデルを表している。液体の粒子モデルを表しているのはどれか。

図1



(3) エタノールの気体の粒子をモデル図で表しているのは，図1ア～ウのどれか。

(4) 物質をつくる粒子と粒子がしっかり結びついているのは，固体，液体，気体のどの状態のときか。

(5) 物質をつくる粒子の運動の状態が活発なのは，物質の温度が高いときか，低いときか。

(6) 状態変化では，物質をつくっている粒子の数は変化するか，変化しないか。

沸点と融点

ポイント１　沸点（ふってん）と融点（ゆうてん）

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

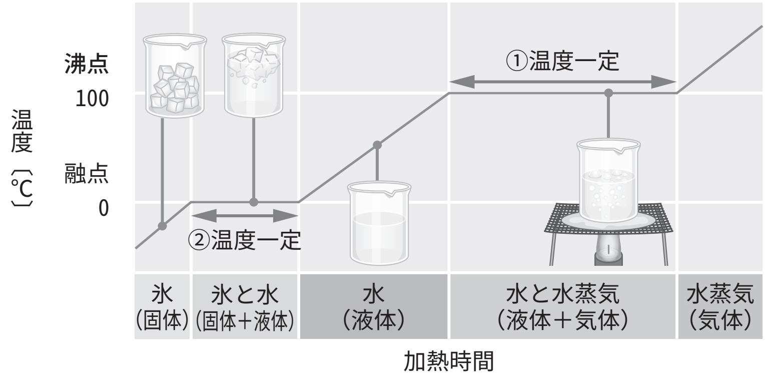
液体が沸騰し始める温度を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

液体がすべて気体になるまで温度は＿＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図1①

固体がとけて液体になるときの温度を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

固体がすべてとけて液体になるまで温度は＿＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図1②

図1 温度変化と状態変化



ポイント２　沸点と融点の特徴

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

純粋（じゅんすい）な物質では沸点や融点の温度は＿＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図2，表1

混合物では沸点や融点において温度は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図3

図2 エタノールの温度変化

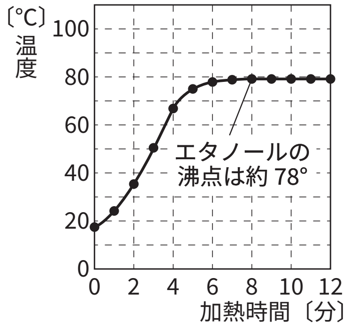
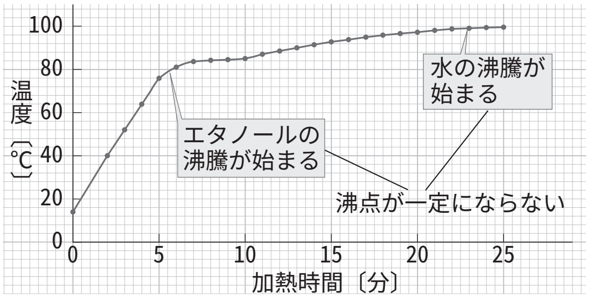


表1 いろいろな物質の融点と沸点

物質	融点〔℃〕	沸点〔℃〕
鉄	1538	2862
銅	1083	2567
金	1064	2807
塩化ナトリウム	801	1413
アルミニウム	660	2467
鉛	327	1749
パルミチン酸	63	360
水	0	100
水銀	−39	357
エタノール	−115	78
窒素(ちっそ)	−210	−196
酸素	−218	−183

図3 水とエタノールの混合物を加熱したときの温度変化



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 液体が沸騰し始める温度を何というか。

(2) 固体がとけて液体になるときの温度を何というか。

(3) 純粋な物質の沸点は物質の種類によって決まっているか。

(4) 混合物では，沸点や融点の温度は一定になるか。

(5) ある物質の温度が，融点と沸点の間であったとき，その物質の状態はどうなっているか。

(6) ある物質を加熱していったとき，その物質の沸点に達したあと，しばらく温度が変化しなかった。このとき，物質の状態はどうなっているか。

(7) 物質が固体から液体になるときの温度と，液体から固体になるときの温度はどうなっているか。

(8) 水の沸点と融点はそれぞれ何℃か。

(9) エタノールの沸点は約何℃か。

蒸留

ポイント1　蒸留（じょうりゅう）とは

______にあてはまる語句を確認しましょう。

液体を加熱して沸騰（ふっとう）させ，出てくる気体を冷やして

再び液体にしてとり出すことを______という。

蒸留は______のちがいを利用して液体を分けている。

ポイント2　水とエタノールの混合物の加熱

______にあてはまる語句を確認しましょう。

■実験手順

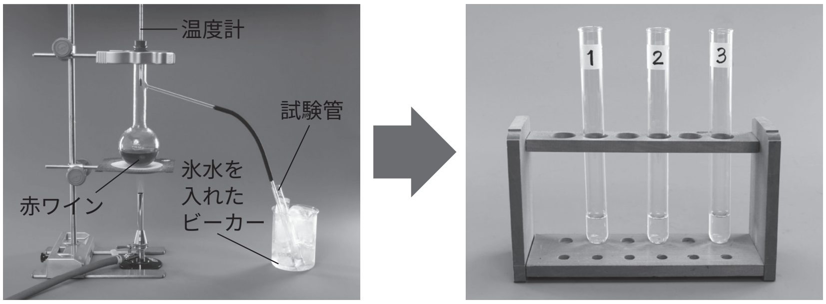
①フラスコに赤ワイン（水とエタノールの混合物）を入れて加熱する。
└ 図1①

※赤ワインやみりんは，エタノールと水をふくむ代表的な混合物である。

②出てきた気体を氷水で冷やして液体にし，順に3本の試験管に集める。
└ 図1②

図1 赤ワインの蒸留の実験

①赤ワインを加熱する　　②出てきた液体を順に3本の試験管に集める



■注意点

ガラス管の先を液体の中に______。

理由：試験管の中の液体が______するのを防ぐため。

試験管内の液体のにおいは，______かぐ。

■実験結果

混合物(こんごうぶつ)の沸点(ふってん)は一定に＿＿＿＿＿＿＿＿。
└ 図2

はじめにでてくる液体は＿＿＿＿＿＿＿＿が多く，あとで出てくる液体は＿＿＿＿＿＿が多い。
└ 表1①　└ 表1③

表1 実験結果

	①1本目	②2本目	③3本目
におい	アルコールのにおい	少しだけアルコールのにおい	無臭
火をつける	燃える └ 図3①	少しだけ燃える	燃えない └ 図3②
ふくまれている液体	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿＿

図2 フラスコ内の温度の変化

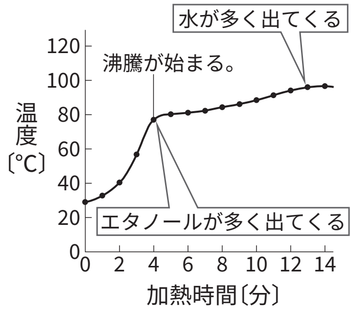


図3 試験管内の液体を燃やしたときのようす

①１本目　②3本目

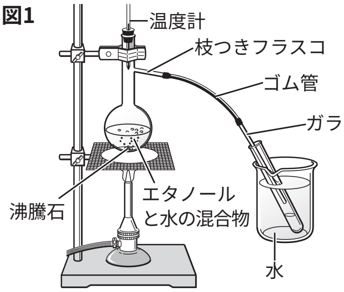
確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 液体を加熱して気体にし，その気体を冷やして再び液体にしてとり出すことを何というか。

(2) 図1のような蒸留の実験をおこなうとき，ガラス管の扱い方について，正しいものを選べ。
ア　ガラス管の先を試験管の液体の中に入れる。
イ　ガラス管の先を試験管の液体の中に入れない。

図1



(3) 図1の実験で，試験管に集めた液体のにおいのかぎ方について正しいものを選べ。
ア　手であおぐようにしてかぐ。
イ　試験管に直接鼻を近づけてかぐ。

(4) 次のうち，エタノールと水などの混合物をすべて選べ。
ア　砂糖水　　イ　みりん
ウ　赤ワイン　　エ　塩酸

(5) 赤ワイン（エタノールと水などの混合物）を蒸留すると，先に出てきた液体に多くふくまれている物質は何か。

(6) 蒸留では，物質の何のちがいを利用して，混合物をそれぞれの物質に分けているか。

(7) 赤ワインを蒸留し，出てきた液体を順に試験管A～Cに同量集めた。このとき，もっとも多くエタノールをふくむ試験管はA ～ Cのどれか。

第 8 章　生物の観察と分類

第23講・自然の観察と方法

ルーペの使い方，スケッチのしかた

ポイント 1　ルーペの使い方

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

■ 観察するものが動かせるとき

└ 図1

ルーペを＿＿＿＿＿に近づけて持ち，＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿を前後に動かして，よく見える位置をさがす。

■ 観察するものが動かせないとき

└ 図2

ルーペを目に近づけて持ち，＿＿＿＿＿を前後に動かして，よく見える位置をさがす。

ルーペで＿＿＿＿＿＿を直接見てはいけない。

＿＿＿＿＿を痛めるおそれがある。

図1 観察するものが動かせるとき

図2 観察するものが動かせないとき

ポイント 2　スケッチのしかた

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

＿＿＿＿＿＿＿と，＿＿＿＿＿＿＿＿ではっきりとかく。

└ 図3

＿＿＿＿＿＿＿＿や，＿＿＿＿＿＿＿＿＿をしない。

└ 図4

観察した＿＿＿＿＿＿，＿＿＿＿＿＿，＿＿＿＿＿＿や＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿などもかく。

└ 図3・4

図3 スケッチの良い例

図4 スケッチの悪い例

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) スケッチをするとき用いるものとして，適している筆記用具は，どちらか。
ア　太いペン　　イ　細くけずった鉛筆

(2) 次のア，イのうち，正しいスケッチのしかたを選べ。
ア　細い線と小さい点ではっきりかく。
イ　何度か重ねがきをして，影をつけてきれいにかく。

(3) 次のア，イのうち，スケッチをするときに注意すべきことを選べ。
ア　重ねがきやぬりつぶしをしないこと。
イ　細い線でかかないこと。

(4) スケッチをするとき，見えるものすべてをかくとよいか，目的とする部分だけをかくとよいか。

(5) ルーペで観察するときのルーペの位置について，次の（　　）に入る言葉を答えよ。

ルーペはできるだけ（　　）に近づけて持つ。

(6) 観察するものが動かせるときのルーペの使い方について，次の（　　）に入る言葉を答えよ。

ルーペはできるだけ目に近づけて持ち，（　　）を前後に動かす。

(7) 観察するものが動かせないときのルーペの使い方について，次の（　　）に入る言葉を答えよ。

ルーペはできるだけ 目に近づけて持ち，（　　）を前後に動かす。

(8) ルーペを使うとき，やってはいけないことは何か。

顕微鏡の使い方

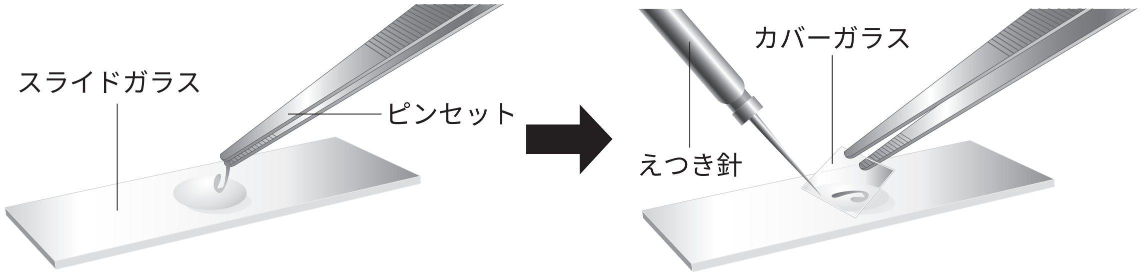
ポイント 1　プレパラートのつくり方

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① スライドガラスの上に，＿＿＿＿＿を1滴たらしてから観察物を置く。
　└ 図1①

② ＿＿＿＿＿＿（空気の泡）が入らないようにカバーガラスを静かにかぶせる。
　└ 図1②

図1 プレパラートのつくりかた



ポイント 2　顕微鏡（けんびきょう）の各部の名称と使い方

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

■ 顕微鏡の使い方

① ＿＿＿＿＿＿＿＿＿をとりつけてから＿＿＿＿＿＿＿＿＿
　└ 図2

をとりつける。

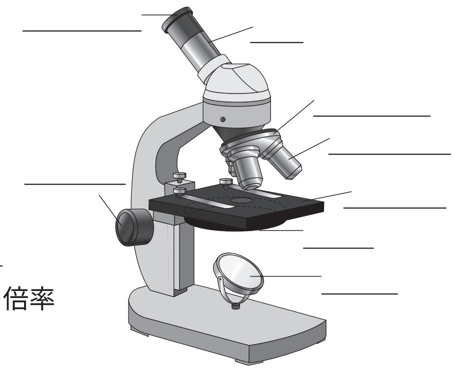
顕微鏡の倍率＝＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

×＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

計算例　接眼レンズが10倍，対物レンズが40倍のときの倍率

解答　10×40 ＝400倍

図2 ステージ上下式顕微鏡の各部の名称



② 対物レンズを最も＿＿＿＿＿＿＿のものにし，＿＿＿＿＿＿＿＿＿をのぞきながら，

＿＿＿＿＿＿と＿＿＿＿＿＿を調節して，視野全体が明るく見えるようにする。
　　　　└ 図2

③ プレパラートをステージに置き，横から見ながら＿＿＿＿＿＿にプレパラートを近づける。
　　　　└ 図2

④ ＿＿＿＿＿＿を回し，対物レンズとプレパラートを＿＿＿＿＿＿ながらピントを合わせる。
└ 図2

見たいものが小さい場合は対物レンズを＿＿＿＿＿＿にする。

確認テスト

次の問いに答えなさい。

⑴ 顕微鏡はどのようなところに置いて観察するか。
ア　直射日光の当たる明るいところ。
イ　直射日光の当たらない明るいところ。
ウ　直射日光の当たらない暗いところ。　＿＿＿＿＿＿

⑵ 顕微鏡のレンズの取り付ける順で，最初に取り付けるのは，何レンズか。　＿＿＿＿＿＿

⑶ 接眼レンズには「10×」，対物レンズには「40」とあった。このときの倍率を答えよ。　＿＿＿＿＿＿

⑷ 顕微鏡の倍率を高くすると，顕微鏡で見える範囲はどうなるか。　＿＿＿＿＿＿

⑸ 顕微鏡の倍率を高くすると，顕微鏡の視野の明るさはどうなるか。　＿＿＿＿＿＿

⑹ 顕微鏡で，プレパラートをのせる台を何というか。　＿＿＿＿＿＿

⑺ 顕微鏡でピントを合わせるとき，対物レンズとプレパラートを近づけるか，遠ざけるか。　＿＿＿＿＿＿

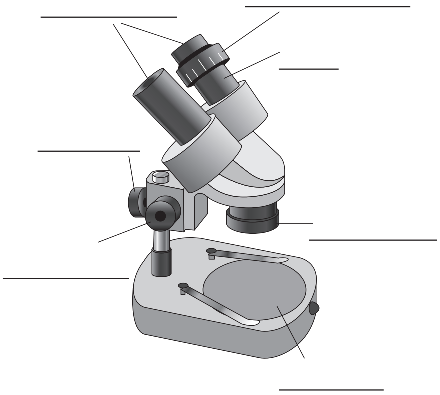
双眼実体顕微鏡の使い方

ポイント　双眼実体顕微鏡(そうがんじったいけんびきょう)の各部の名称と使い方

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

■ 双眼実体顕微鏡の使い方

図1 双眼実体顕微鏡の各部の名称



① ＿＿＿＿＿を動かして，接眼レンズの位置を両目の幅に合わせる。左右の視野が重なって見えるようにする。（図1）

② 両目で接眼レンズをのぞきながら，＿＿＿＿＿で鏡筒を上下させて，だいたいピントを合わせる。（図1）

③ 右目だけで接眼レンズをのぞきながら，＿＿＿＿＿を回してピントを合わせる。（図1）

④ 左目だけで接眼レンズをのぞきながら，左の鏡筒についている＿＿＿＿＿を回してピントを合わせる。（図1）

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 双眼実体顕微鏡で観察するとき，プレパラートは必要か，必要ないか。 ______

(2) 双眼実体顕微鏡で観察するとき，最初におよそのピントを合わせるときに回すねじの名前は何か。 ______

(3) 双眼実体顕微鏡で観察するとき，右目でのぞきながらピントを合わせるときは，何を回して調節するか。 ______

(4) 双眼実体顕微鏡で観察するとき，左目でのぞきながらピントを合わせるときは，何を回して調節するか。 ______

(5) 観察しているものが立体的に見えるのは，顕微鏡，双眼実体顕微鏡のどちらか。 ______

生物の分類

ポイント　生物の特徴(とくちょう)による分類(ぶんるい)のしかた

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

ものの特徴やちがいに注目してグループ分けすることを＿＿＿＿＿という。
└ 図1，2，3

例：ライオン，ダンゴムシ，メダカ，サクラを分類

図1 ＿＿＿＿＿＿という観点での分類

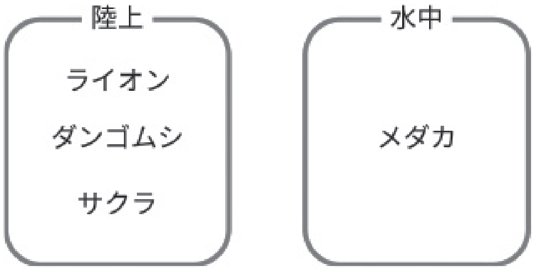


図2 ＿＿＿＿＿＿という観点での分類

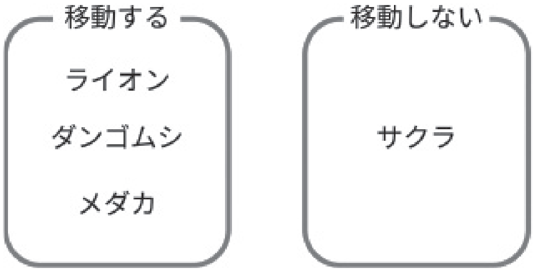
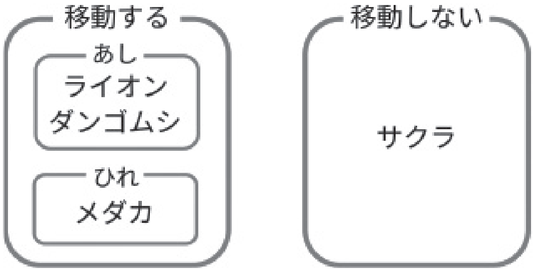


図3 ＿＿＿＿＿＿という観点での分類



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 物の特徴やちがいに注目してグループ分けすることを何というか。

(2) ネコ，キンギョ，カニ，ホウセンカをある観点で分類したところ，ホウセンカだけ別のグループになった。どのような観点で分類したか。

(3) ネコ，キンギョ，ニワトリ，ホウセンカをひれがあるか，ないかで分類したとき，１つだけ別のグループになる生物はどれか。

(4) ネコ，キンギョ，ニワトリ，ホウセンカをある観点で分類したところ，ニワトリだけ別のグループになった。どのような観点で分類したか。

(5) ネコ，キンギョ，ニワトリ，ホウセンカを水中でくらすか，陸上でくらすかで分類したとき，１つだけ別のグループになる生物はどれか。

花のつくり

ポイント1　花の各部分の名称

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

図1 花のつくり

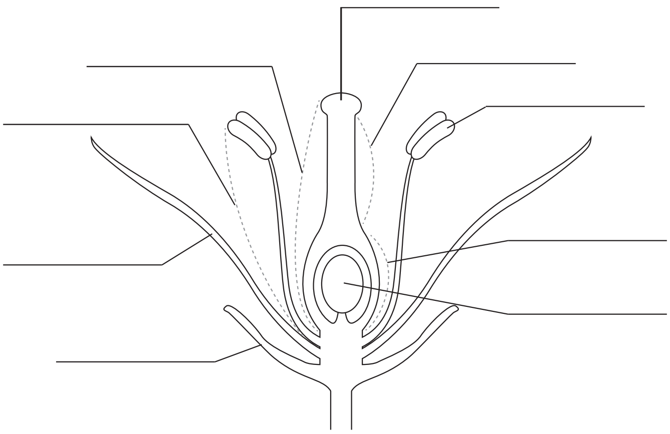
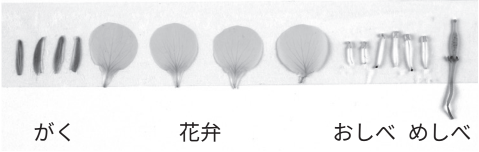


図2 ツツジ

図3 アブラナ



花弁が1つにくっついている花を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図2

花弁が1枚1枚離れている花を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図3

めしべは，ふつう，1つの花に＿＿＿＿＿ついている。
└ 図1

ポイント2　受粉(じゅふん)後の花の変化

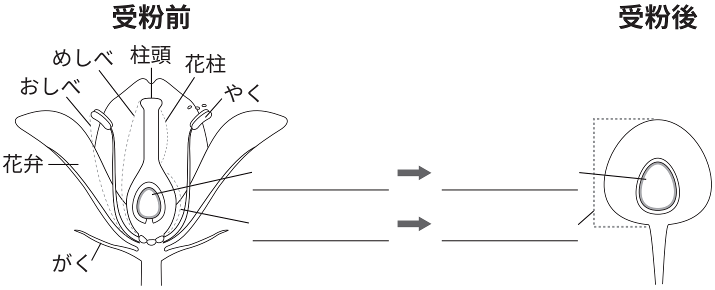
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

めしべの柱頭におしべの花粉がつくことを＿＿＿＿＿＿という。

種子をつくり，子孫をのこす植物を
└ 図4

＿＿＿＿＿＿という。

図4 受粉後の花の変化



確認テスト

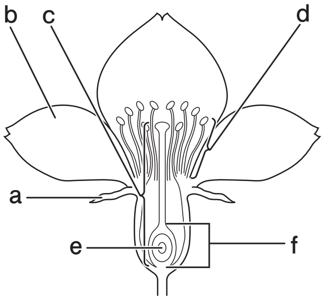
次の問いに答えなさい。

(1) 図1で，aの名称を何というか。

(2) 図1で，bの名称を何というか。

(3) 図1で，cの名称を何というか。

図1 サクラの花の模式図



(4) 図1で，fの名称を何というか。

(5) 図1で，eの名称を何というか。

(6) 図1で，cの先端の部分の名称を何というか。

(7) 図1で，dの名称を何というか。

(8) 図1で，dの先端のふくらんでいる部分の名称を何というか。

(9) 図1で，dの先端のふくらんでいる部分の中にできるものを何というか。

(10) アブラナの花では，図1のcは何本あるか。

(11) 花弁が1つにくっついている花を何というか。

(12) 花弁が1枚1枚離れている花を何というか。

(13) おしべの花粉がめしべの柱頭につくことを何というか。

(14) 受粉が行われたあと，子房は成長して何になるか。

(15) 受粉が行われたあと，子房の中の胚珠は成長して何になるか。

(16) 種子をつくる植物を何植物というか。

被子植物と裸子植物

ポイント1　被子植物と裸子植物のつくりのちがい

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

被子植物の胚珠は＿＿＿＿＿＿＿＿にある。
　└ 図1
└ 例：サクラ，アブラナ，タンポポ

裸子植物は＿＿＿＿＿＿がなく，＿＿＿＿＿＿がむき出しである。
└ 例：マツ，イチョウ，ソテツ，スギ　　└ 図2

図1 被子植物

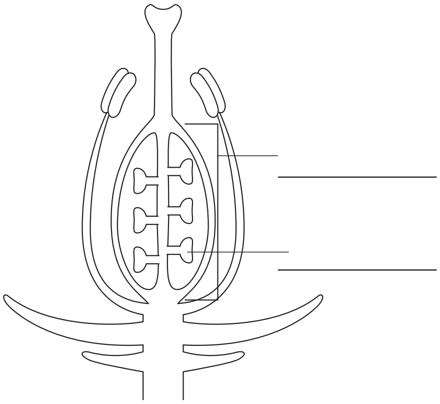
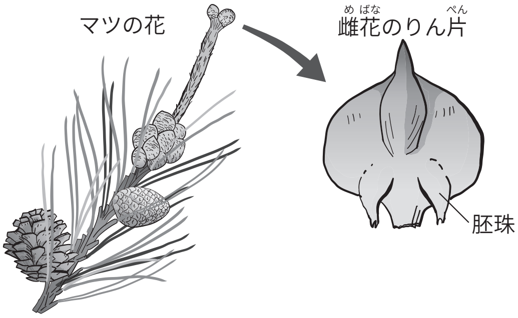


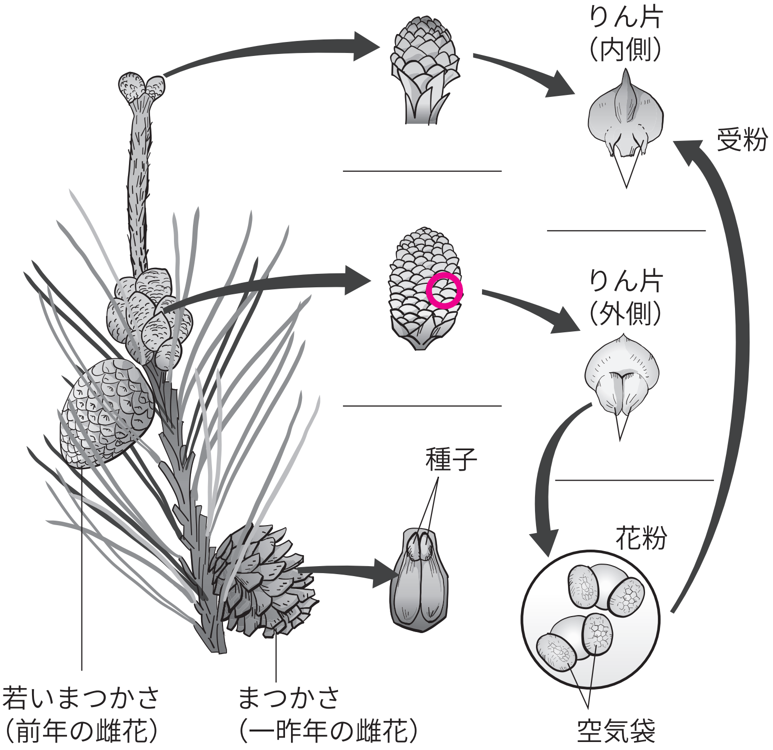
図2 裸子植物（例：マツの花）



ポイント 2　裸子植物（マツ）の花のつくり

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

図3 裸子植物の花のつくり（例：マツの花）



確認テスト

次の問いに答えなさい。

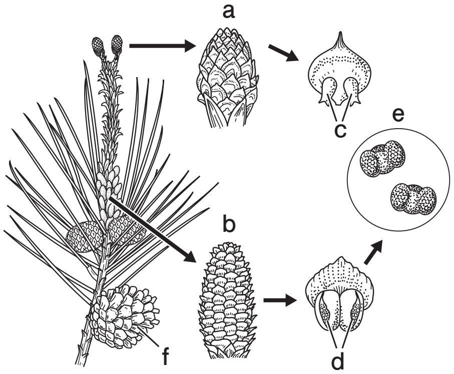
(1) 子房がなく胚珠がむき出しになっている植物を何というか。

(2) 胚珠が子房の中にある植物を何というか。

(3) 次のうち，裸子植物でないものを選べ。
ア　マツ
イ　イチョウ
ウ　ソテツ
エ　アブラナ

(4) 図1のaとbはマツの2つの花である。aを何というか。

図1 マツの花のつくり



(5) 図1のaとbはマツの2つの花である。bを何というか。

(6) 図1で，cの部分は何というか。

(7) 図1で，dの部分は何というか。

(8) 図1で，eは何というか。

(9) 図1で，fは何とよばれているか。

(10) マツには子房があるか，ないか。

(11) マツは，果実をつくるか，つくらないか。

単子葉類と双子葉類

ポイント 単子葉類（たんしようるい）と双子葉類（そうしようるい）のつくりのちがい

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

子葉（しよう）が1枚の被子植物（ひししょくぶつ）を，＿＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 表1①

子葉が2枚の被子植物を，＿＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 表1②

表1 単子葉類と双子葉類のつくり

	①単子葉類	②双子葉類
子葉	1枚	2枚
葉	平行（平行脈）	網目状（網状脈）
根	ひげ根	主根と側根

■ 葉脈（ようみゃく）のつくり

葉に見えるすじのようなものを

＿＿＿＿＿＿＿という。

単子葉類の平行に並んでいる葉脈を

＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 表1①

双子葉類の網目状（あみめじょう）に広がっている葉脈を

＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 表1②

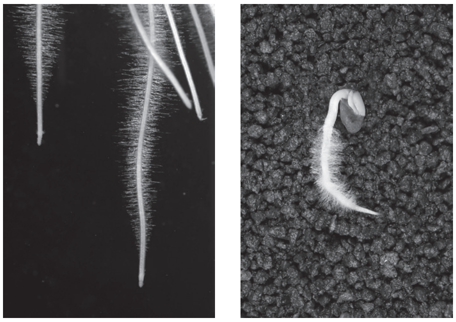
■ 根のつくり

単子葉類の根は細い＿＿＿＿＿＿＿からなる。
└ 表1①

双子葉類の根は＿＿＿＿＿＿と＿＿＿＿＿＿からなる。
└ 表1②

根の先端近くにたくさん生えている細かい毛のようなものを，＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

図1 根毛のようす



ホウセンカ　ハツカダイコン

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 子葉が2枚である被子植物のなかまを何というか。

(2) 子葉が1枚である被子植物のなかまを何というか。

(3) 植物の葉に見られるすじのようなものを何というか。

(4) 網目状をしている(3)を何というか。

(5) 平行になっている(3)を何というか。

(6) 双子葉類のなかまの根はどのようなつくりをしているか。

(7) 単子葉類のなかまの根はどのようなつくりをしているか。

(8) 次のうち，双子葉類のなかまを選べ。
ア　アブラナ　　イ　ユリ
ウ　ツユクサ　　エ　トウモロコシ

(9) 葉脈が平行になっているのは，単子葉類と双子葉類のどちらか。

(10) 葉脈が網目状になっているのは，単子葉類と双子葉類のどちらか。

(11) 根が，太い主根と主根からのびた細い側根でできているのは，単子葉類と双子葉類のどちらか。

(12) 根に主根がなく，細いひげのようなつくりになっているのは，単子葉類と双子葉類のどちらか。

(13) 根の先端にたくさん生えている細かいの毛のようなものを，何というか。

合弁花類と離弁花類

ポイント　合弁花類と離弁花類のつくりのちがい

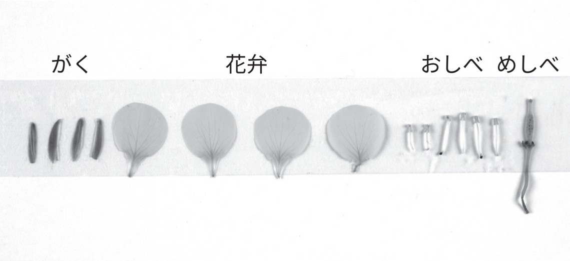
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

花弁が1つにくっついている花をもつ植物を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1　└ 例：ヒマワリ，アサガオ，ツツジ，タンポポなど

花弁が1枚1枚離れている花をもつ植物を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図2　└ 例：サクラ，エンドウ，アブラナなど

図1 ツツジ

図2 アブラナ



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 合弁花類，離弁花類というのは，何に注目した分類か。

(2) 双子葉類のうち，花弁が1枚ずつ離れている花をもつなかまを何というか。

(3) 双子葉類のうち，花弁が1つにくっついている花をもつなかまを何というか。

(4) 次のうち，合弁花類のなかまを選べ。
ア　アブラナ　　イ　アサガオ
ウ　エンドウ　　エ　サクラ

(5) 次のうち，離弁花類のなかまを選べ。
ア　アサガオ　　イ　タンポポ
ウ　ツツジ　　エ　サクラ

種子をつくらない植物

ポイント１　シダ植物のつくりとふえ方

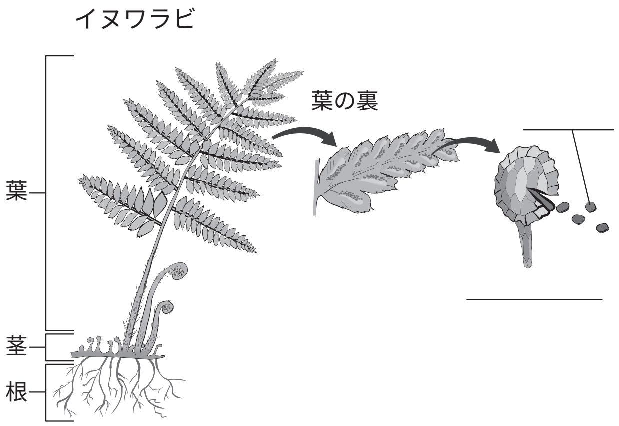
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

葉の裏の＿＿＿＿＿＿＿にできた

＿＿＿＿＿＿を飛ばしてふえる。
└ 図1

シダ植物は根，茎（くき），葉の区別が＿＿＿＿＿＿。
└ 図1

図1 シダ植物



ポイント２　コケ植物のつくりとふえ方

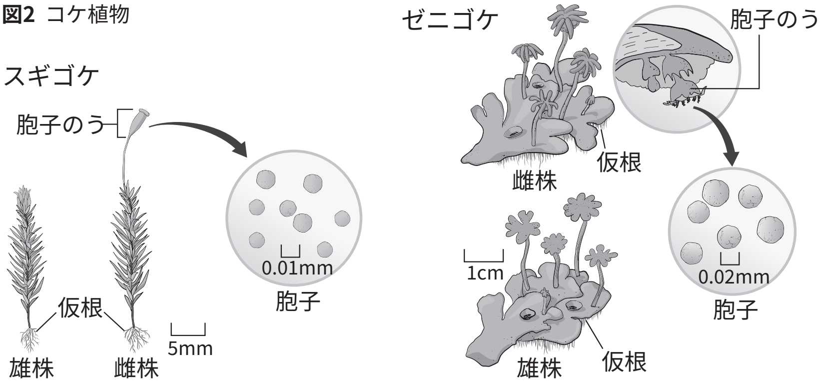
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

雄株（おかぶ）と雌株（めかぶ）があり，雌株の＿＿＿＿＿＿＿に＿＿＿＿＿＿ができる。
└ 図2

コケ植物は根，茎，葉の区別が＿＿＿＿＿＿。

＿＿＿＿＿＿でからだを地面などに固定している。
└ 図2

図2 コケ植物

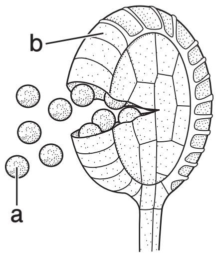


確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) イヌワラビは種子をつくらず，図1のaをつくってなかまをふやしている。aを何というか。

図1



(2) 図1のbは何とよばれているか。

(3) イヌワラビやスギナなどを，何植物というか。

(4) イヌワラビのからだは，根，茎，葉の区別があるか，ないか。

(5) ゼニゴケやスギゴケを，何植物というか。

(6) ゼニゴケやスギゴケは種子をつくるか，つくらないか。

(7) ゼニゴケやスギゴケは雄株，雌株のどちらに胞子のうをつけるか。

(8) ゼニゴケやスギゴケは，根，茎，葉の区別があるか，ないか。

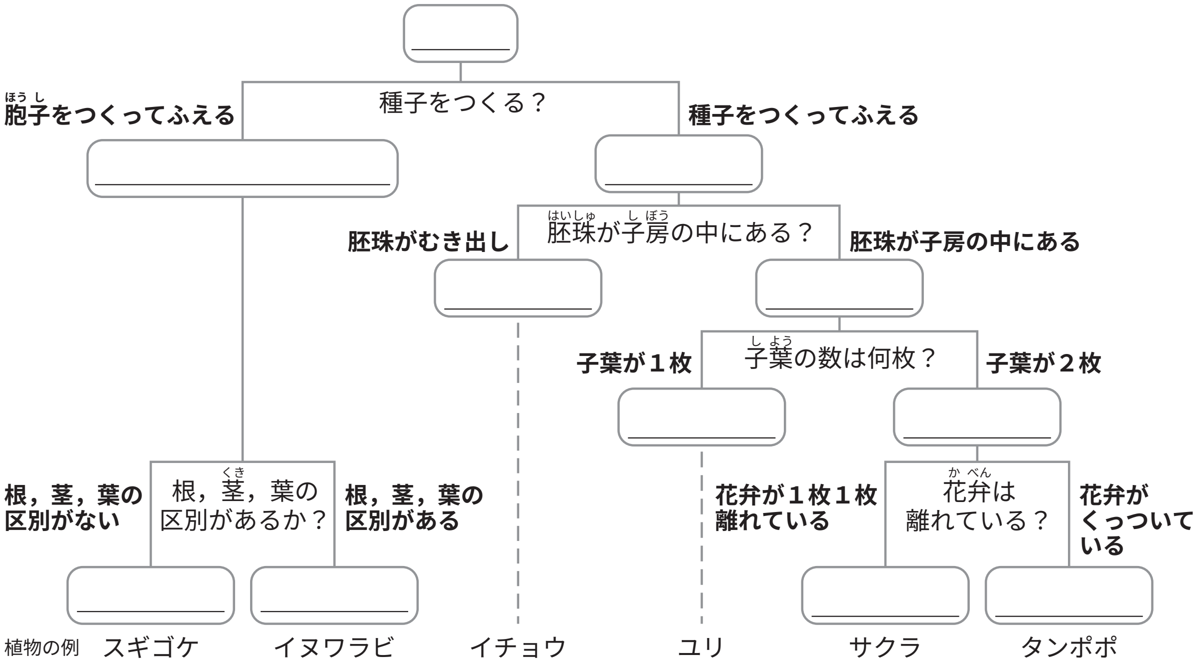
(9) ゼニゴケやスギゴケの根のようなものは，何とよばれているか。

さまざまな植物の分類

ポイント　植物の特徴（とくちょう）による分類

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

図1 植物の分類



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 植物は種子をつくってふえる植物と何をつくってふえる植物とに分けられるか。

(2) コケ植物とシダ植物は，何かの区別があるかないかで分けられる。何の区別か。

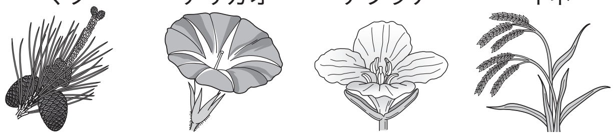
(3) 種子植物は被子植物と何植物に分けられるか。

(4) 種子植物は，胚珠があるものに包まれているか，包まれていないかで被子植物と裸子植物に分けられる。このあるものとは何か答えよ。

(5) 発芽のとき，子葉が1枚出る被子植物を何類というか。

(6) 図1の植物の中で，単子葉類はどれか。

図1



(7) 発芽のとき，子葉が2枚出る被子植物を何類というか。

(8) 図1の植物の中で，双子葉類はどれか。2つ選べ。

(9) 双子葉類のうち，花弁が1枚1枚離れているなかまを，何類というか。

(10) 双子葉類のうち，花弁のもとの部分が1つにくっついているなかまを，何類というか。

(11) 図1の植物の中で，合弁花類はどれか。

肉食動物と草食動物

ポイント　肉食動物(にくしょくどうぶつ)と草食動物(そうしょくどうぶつ)のちがい

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

ライオンのようにほかの動物を食べる動物を＿＿＿＿＿＿＿＿という。

例：ライオン，ネコ，ヒョウ

シマウマのように植物を食べる動物を＿＿＿＿＿＿＿＿という。

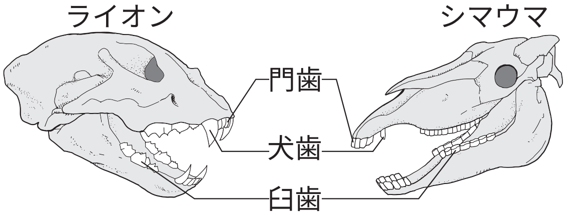
例：シマウマ，ウサギ，キリン

■ 歯の特徴

肉食動物の歯は，獲物をとらえる＿＿＿＿＿＿や肉をひきさく＿＿＿＿＿＿が発達している。（図1）

草食動物の歯は，草をかみ切る＿＿＿＿＿＿やすりつぶす＿＿＿＿＿＿が発達している。（図1）

図1 肉食動物と草食動物の歯

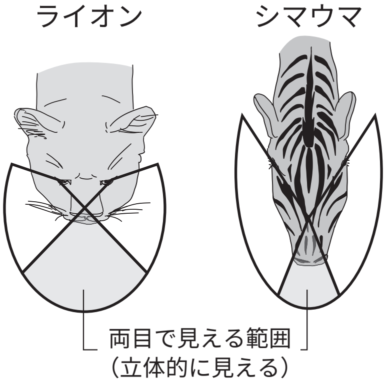


■ 目のつき方の特徴

肉食動物の目は，顔の＿＿＿＿＿＿についていて，物を立体的にとらえやすい。（図2）

草食動物の目は，顔の＿＿＿＿＿についていて，広範囲(こうはんい)が見えやすい。（図2）

図2 肉食動物と草食動物の目のつき方



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) ライオンのようにほかの動物を食べる動物を何というか。

(2) シマウマのように植物を食べる動物を何というか。

(3) 目が顔の横についているのは，ライオンとシマウマのどちらか。

(4) 草食動物の目が顔の横についているのは，どのような点でつごうがよいか。

(5) 視野はせまいが，立体的に見える範囲が広いのは，ライオンとシマウマのどちらか。

(6) 犬歯がより発達しているのは，ライオンとシマウマのどちらか。

(7) 門歯がより発達しているのは，ライオンとシマウマのどちらか。

セキツイ動物と無セキツイ動物

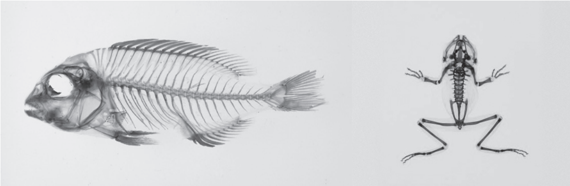
ポイント　セキツイ動物と無セキツイ動物のちがい

______にあてはまる語句を確認しましょう。

背骨のある動物を______（______）という。
└ 図1

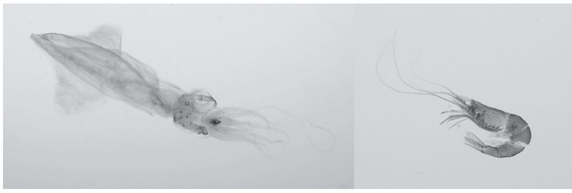
背骨のない動物を______（______）という。
└ 図2

図1 背骨のある動物



マダイ　　アマガエル

図2 背骨のない動物



ホタルイカ　　サクラエビ

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 背骨のある動物を何というか。 ______

(2) 背骨などの，からだを支えるつくりを何というか。 ______

(3) 背骨のない動物を何というか。 ______

(4) ヒトはセキツイ動物か，無セキツイ動物か。 ______

(5) イカはセキツイ動物か，無セキツイ動物か。 ______

セキツイ動物の分類

ポイント セキツイ動物の種類と特徴(とくちょう)

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

セキツイ動物は，＿＿＿＿＿＿，＿＿＿＿＿＿，＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿），
└ 表1　└ 図1　└ 図2,3,4　└ 図5

＿＿＿＿＿，＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿）の５つに分類できる。
└ 図6　└ 図7

親が卵をうみ，卵から子がかえる子のうまれ方を＿＿＿＿＿＿という。

母親の子宮内で，ある程度育ってからうまれる子のうまれ方を＿＿＿＿＿＿という。

表1 セキツイ動物の分類

例	セキツイ動物の種類	子のうまれ方	生活場所	呼吸のしかた	からだのようす
メダカ	＿＿＿＿		一生 水中で過ごす	えら	うろこ
カエル	＿＿＿＿	＿＿＿＿	親（成体）：陸上 子（幼生）：水中	親（成体）：肺と皮膚(ひふ) 子（幼生）：えらと皮膚	しめった うすい皮膚
ヘビ	＿＿＿＿		一生 陸上で過ごす	肺	うろこ
ニワトリ	＿＿＿＿				羽毛
ヒト	＿＿＿＿	＿＿＿＿			毛

図1 魚類の例

メダカ

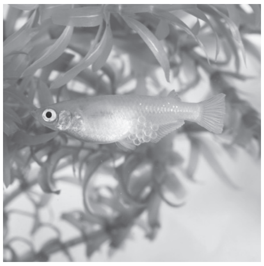


図2 両生類の例1

カエルの幼生

カエルの成体

図3 両生類の例2

サンショウウオの幼生

サンショウウオの成体

図4 両生類の例3

イモリの幼生

イモリの成体

図5 ハチュウ類の例

ヘビ

ヤモリ

図6 鳥類の例

ペンギン

図7 ホニュウ類の例

クジラ

イルカ

確認テスト

次の問いに答えなさい。

⑴　イモリは何類に分類されるか。

⑵　ヤモリは何類に分類されるか。

⑶　クジラは何類に分類されるか。

⑷　ペンギンは何類に分類されるか。

⑸　親が卵をうみ，子が卵からかえるうまれ方を何というか。

⑹　母体内で子がある程度育ってからうまれるうまれ方を何というか。

⑺　胎生のセキツイ動物のなかまを何というか。

恒温動物と変温動物

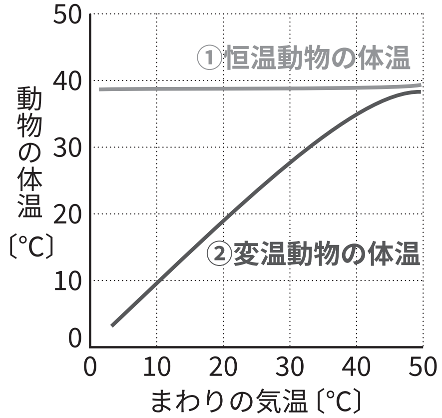
ポイント 恒温動物(こうおんどうぶつ)と変温動物(へんおんどうぶつ)のちがい

______にあてはまる語句を確認しましょう。

まわりの温度が変化しても，体温がほとんど変わらない動物を______________という。
└ 図1①　└ 例：ホニュウ類，鳥類

まわりの気温の変化にともなって体温が変化する動物を______________という。
└ 図1②　└ 両生類，ハチュウ類，魚類

図1 恒温動物と変温動物の体温の変化



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) まわりの温度の変化にともなって，体温が変化する動物を何動物というか。 ＿＿＿＿＿＿

(2) 両生類，鳥類，ホニュウ類のなかで，まわりの温度の変化にともなって,体温が変化する動物は何類か。 ＿＿＿＿＿＿

(3) まわりの温度の変化にともなって，体温が変化する動物とは逆に，まわりの温度が変化しても，体温を一定に保つ動物を何動物というか。 ＿＿＿＿＿＿

(4) カエルは冬になって気温が下がると体温が低下するので冬眠する。カエルは変温動物か，恒温動物か。 ＿＿＿＿＿＿

(5) ワシは,羽毛があるので雪の日でも体温が下がらず,活発に活動する。ワシは変温動物か，恒温動物か。 ＿＿＿＿＿＿

無セキツイ動物

ポイント1 節足動物

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

からだやあしに＿＿＿＿＿があり，からだが＿＿＿＿＿＿におおわれている
無セキツイ動物のなかまを＿＿＿＿＿＿＿という。
節足動物のうち，エビやカニなどを＿＿＿＿＿＿，バッタなどを＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1 └ 例：エビ，カニ，ザリガニ　└ 図2 └ 例：バッタ，トンボ，アリ

甲殻類のからだは頭部，胸部，腹部の3部，もしくは頭胸部，腹部の2部からなる。
多くは水中で生活し，＿＿＿＿＿＿で呼吸する。
昆虫類のからだは頭部，胸部，腹部の3部からなり，胸部に3対（6本）のあしがある。
胸部，腹部にある＿＿＿＿＿＿で呼吸している。
└ 図2

昆虫類，甲殻類以外の節足動物のなかまには，＿＿＿＿＿，＿＿＿＿＿＿などがいる。

図1 甲殻類（例：ザリガニ）

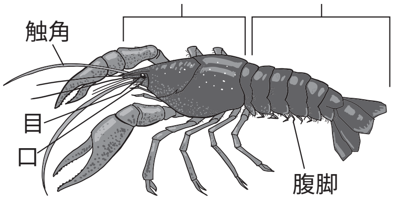
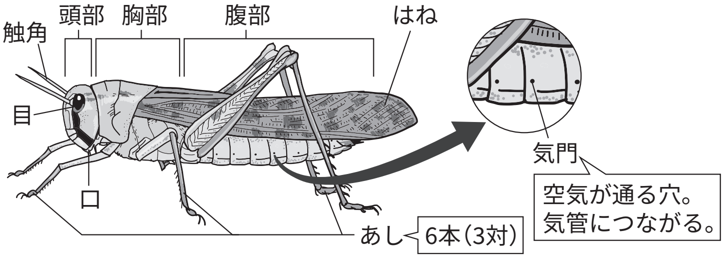


図2 昆虫類（例：バッタ）



ポイント2 軟体動物とその他の無セキツイ動物

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

あしは＿＿＿＿＿＿でできていて，内臓が＿＿＿＿＿＿＿でおおわれている
無セキツイ動物のなかまを＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 図3 └ 例：イカ，タコ，アサリ，マイマイ（カタツムリ）

その他の無セキツイ動物には，＿＿＿＿＿＿，＿＿＿＿＿＿＿＿＿，＿＿＿＿＿＿などがいる。
└ 図4

図3 軟体動物（例：イカとアサリ）

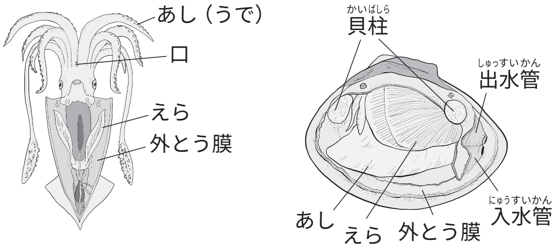


図4 その他の無セキツイ動物（例：クラゲ）

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 背骨のない動物のなかまのうち，からだとあしに節がある動物を何というか。

(2) バッタやザリガニは，からだ全体がかたい殻でおおわれている。このようなつくりを何というか。

(3) からだとあしに節がある動物のなかまのうち，バッタやトンボなどのなかまを何類というか。

(4) バッタやトンボなどのなかまはどこで呼吸をしているか。

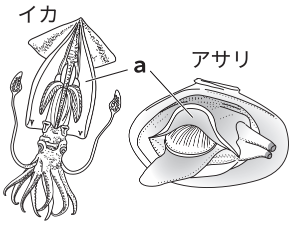
(5) 次のうち，昆虫類のなかまはどれか。
ア　クモ　　イ　アリ　　ウ　ムカデ

(6) からだとあしに節がある動物のなかまのうち，カニやザリガニなどのなかまを何類というか。

(7) カニやザリガニなどのなかまの多くはどこで呼吸をしているか。

(8) 背骨のない動物のなかまのうち，イカやアサリなどのなかまを何動物というか。

(9) イカやアサリなどのなかまは，次の図のaのつくりによって内臓が包まれている。このaのつくりを何というか。



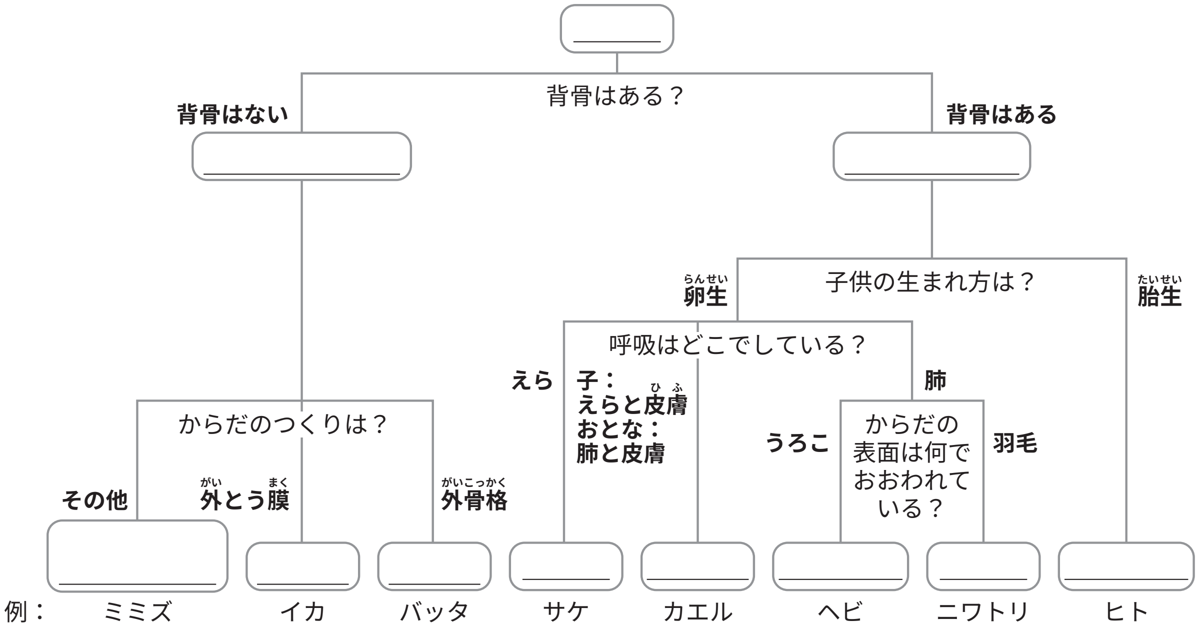
(10) 次の無セキツイ動物のうち，節足動物でも軟体動物でもないものをすべて選べ。
ア　イソギンチャク　　イ　クラゲ　　ウ　ミミズ
エ　マイマイ　　オ　バッタ

さまざまな動物の分類

ポイント　動物の分類表のつくり方

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

図1 動物の分類



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 背骨のある動物のなかまを何というか。

(2) 背骨のない動物のなかまを何というか。

(3) 無セキツイ動物のうち，体の表面が外骨格でおおわれている動物のなかまを何というか。

(4) 無セキツイ動物のうち，内臓が外とう膜で包まれている動物のなかまを何というか。

(5) 次のうち，(3)や(4)にあてはまらないその他の無セキツイ動物に分類されるものを選べ。
ア　バッタ
イ　ミミズ
ウ　ムカデ
エ　イモリ

(6) セキツイ動物のなかで，胎生の動物は何類か。

(7) 一生えらで呼吸するセキツイ動物は何類か。

(8) 子（幼生）のときはえらと皮膚で，おとな（成体）になったら肺と皮膚で呼吸する動物は何類か。

(9) セキツイ動物のなかで，体表が羽毛でおおわれている動物は何類か。

(10) セキツイ動物の中で，肺で呼吸し，体の表面がうろこでおおわれているのは何類か。

火山の噴火

ポイント マグマと火山(かざん)の噴火(ふんか)

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

高温な地下で岩石がどろどろにとけたものを＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

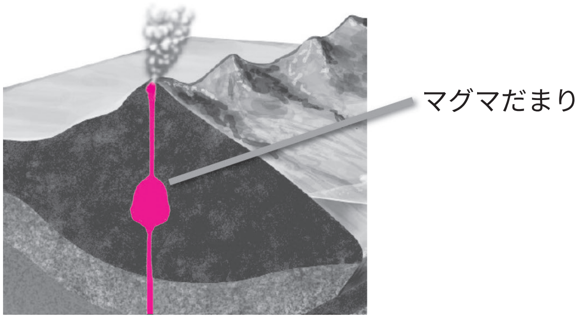
マグマが一時的にたくわえられる場所を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

地下のマグマなどが地表に出ることを＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

噴火にともなって出されたものでできた地形を＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

過去1万年以内に噴火した火山や，現在活動している火山を＿＿＿＿＿＿という。

図1 火山の噴火とマグマ



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 地球の内部にあり，岩石がどろどろにとけた高温の物質を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(2) 火山の地下で，マグマが一時的にたくわえられる場所を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(3) マグマなどが地表に出ることを何というか。　＿＿＿＿＿＿

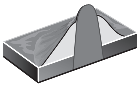
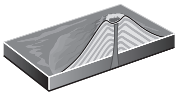
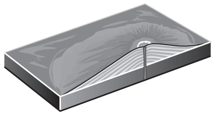
(4) 噴火にともなって出されたものでできた地形を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(5) 過去1万年以内に噴火した火山や，現在活動している火山を何というか。　＿＿＿＿＿＿

火山の形

ポイント　マグマのねばりけと火山の形

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

マグマのねばりけ	(　　　) ＿＿＿	⟵⟶	(　　　) ＿＿＿
火山の形	ドーム状 	円すい状 	傾斜のゆるやかな形 
火山の例	昭和新山	浅間山	マウナロア
岩石の色	＿＿＿	⟵⟶	＿＿＿
噴火のようす	＿＿＿	⟵⟶	＿＿＿

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) マグマのねばりけが強いと，火山の形はどのようになるか。 ＿＿＿＿＿＿

(2) マグマのねばりけが弱いと，火山の形はどのようになるか。 ＿＿＿＿＿＿

(3) ねばりけの強いマグマからできた火山の噴火のようすはどのようになるか。 ＿＿＿＿＿＿

(4) ねばりけの弱いマグマからできた火山の噴火のようすはどのようになるか。 ＿＿＿＿＿＿

(5) ドーム状の火山をつくるマグマが冷えるとどのような色の岩石ができるか。 ＿＿＿＿＿＿

(6) 傾斜のゆるやかな形の火山をつくるマグマが冷えるとどのような色の岩石ができるか。 ＿＿＿＿＿＿

(7) 激しい噴火が起こる火山をつくるマグマのねばりけは強いか，弱いか。 ＿＿＿＿＿＿

(8) おだやかな噴火が起こる火山をつくるマグマのねばりけは強いか，弱いか。 ＿＿＿＿＿＿

火山噴出物

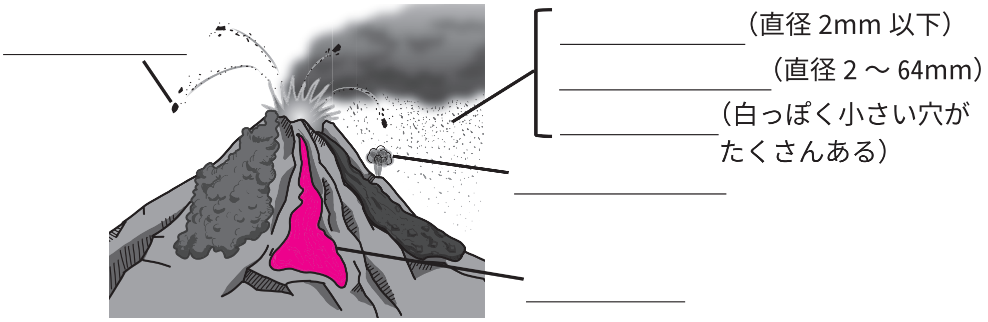
ポイント 火山噴出物（かざんふんしゅつぶつ）

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

火口から出るものをまとめて＿＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

マグマが地表に出たものを＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1

図1 火山噴出物



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 火山が噴火したときに出されるものをまとめて何というか。

(2) 火山が噴火したときに出されるもののうち，直径2mm以下の細かい粒状のものを何というか。

(3) 火山が噴火したときに出されるもののうち，直径2～64mm以下のものを何というか。

(4) 火山が噴火したときに出されるもののうち，白っぽく小さな穴がたくさんあるものを何というか。

(5) 次の火山噴出物のうち，見た目や形で名前がきまるものはどれか。
ア　火山れき　　イ　火山弾
ウ　火山灰　　エ　軽石

(6) 火山から出されるガスを何というか。

(7) マグマが地表に出たものを何というか。

(8) 次のうち，火山噴出物はどれか。
ア　チャート　　イ　砂岩
ウ　火山弾　　エ　石灰岩

鉱物

ポイント 1　火山灰の観察

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

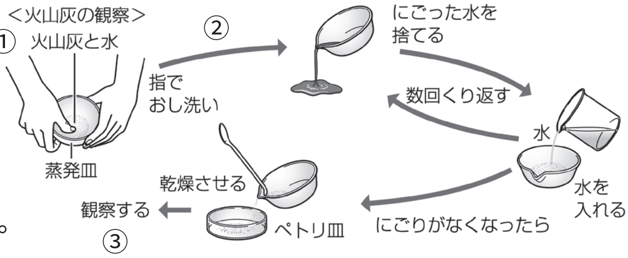
■実験手順

①蒸発皿に少量の火山灰を入れる。

②水を加えて軽く指で＿＿＿＿＿＿＿し，
　にごった水を捨てる。これを数回くり返す。

③ルーペや＿＿＿＿＿＿＿＿＿で観察する。

→いろいろな小さな結晶（鉱物）が観察できる。

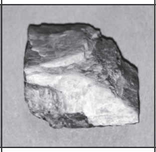
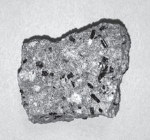
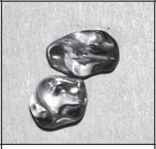
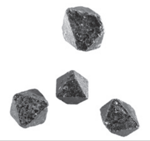


ポイント 2　鉱物の種類と特徴

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

マグマが冷えてできた固体のうち，結晶になったものを＿＿＿＿＿＿という。
└ 表1

表1 火山灰や岩石に含まれる主な鉱物

	無色鉱物		有色鉱物				
	＿＿＿ (＿＿＿＿)	＿＿＿ (＿＿＿＿)	＿＿＿ (＿＿＿＿)	＿＿＿ (＿＿＿＿)	＿＿＿ (＿＿＿)	＿＿＿＿	＿＿＿＿
火山灰中の鉱物のようす							
特徴	ほぼ無色透明で，不規則に割れる	白色～半透明で，決まった方向に割れる	黒色で，決まった方向にうすくはがれる	暗褐色～緑黒色で，長い柱状	暗緑色で，短い柱状	緑褐色～褐色で，不規則な形	黒色で金属っぽい光沢があり，磁石につく

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 火山灰を蒸発皿に入れ，水を加えて指でおしながら数回洗った。残った小さな粒のうち，マグマが冷えて結晶になったものを何というか。

(2) 無色鉱物のうち，ほぼ無色透明で不規則に割れる鉱物は何か。

(3) 無色鉱物のうち，白色～半透明で決まった方向に割れる鉱物は何か。

(4) 有色鉱物のうち，決まった方向にうすくはがれる鉱物は何か。

(5) 有色鉱物のうち，黒色で磁石につく鉱物は何か。

(6) 有色鉱物のうち，暗褐色～緑黒色で長い柱状の鉱物は何か。

(7) 有色鉱物のうち，暗緑色で短い柱状の鉱物は何か。

(8) 有色鉱物のうち，緑褐色～褐色で不規則な形の鉱物は何か。

(9) 火山噴出物にふくまれる鉱物は，色によって2つに分けると，何鉱物と何鉱物というか。

火成岩

ポイント 1 マグマの冷え方と火成岩(かせいがん)の種類

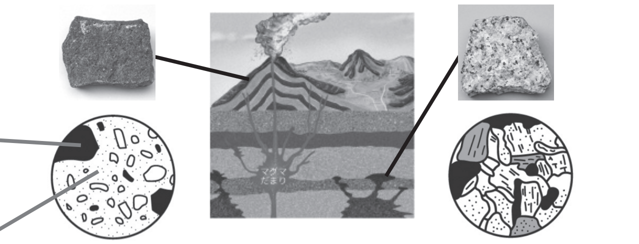
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

マグマが冷え固まってできた岩石を＿＿＿＿＿＿という。

マグマが地表や地表付近で急に冷え固まると＿＿＿＿＿＿になる。
└ 図1

マグマが地下深くでゆっくり冷え固まると＿＿＿＿＿＿になる。
└ 図2

図1 火山岩　　図2 深成岩



＿＿＿＿＿＿（比較的(ひかくてき)大きな結晶）

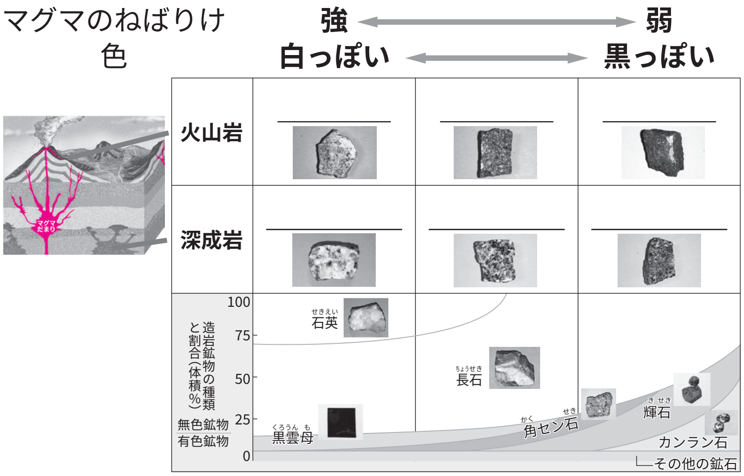
＿＿＿＿＿＿（細かい粒(つぶ)できた部分）

＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿

ポイント 2 いろいろな火成岩

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

表1 いろいろな火成岩と含まれる鉱物(こうぶつ)の割合



確認テスト

次の問いに答えなさい。

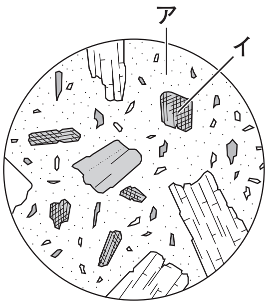
(1) マグマが冷えて固まってできた岩石を，何というか。

(2) マグマが地表または地表に近いところで，急に冷えて固まってできた岩石を何というか。

(3) マグマが地下の深いところで長い時間をかけて，ゆっくりと冷えて固まってできた岩石を何というか。

(4) 図1のような火成岩のつくりを何組織というか。

図1



(5) 図1のア，イのつくりをそれぞれ何というか。　ア　イ

(6) 深成岩のつくりを何組織というか。

(7) 流紋岩は，火山岩か，深成岩か。

(8) 安山岩は，火山岩か，深成岩か。

(9) 玄武岩は，火山岩か，深成岩か。

(10) 流紋岩，安山岩，玄武岩のうち，もっとも白っぽいものはどれか。

(11) 花こう岩，せん緑岩，はんれい岩のうち，もっとも黒っぽいものはどれか。

ア

イ

第11章 火山

第37講・火山と人間の生活

火山と人間の生活

ポイント1 火山(かざん)のめぐみ

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

過去1万年以内に噴火(ふんか)した火山や，現在活動している火山を＿＿＿＿＿＿という。

火山のめぐみには，地下水が火山の熱によってあたためられた＿＿＿＿＿＿（└ 図1）や独特の景観などの＿＿＿＿＿＿（└ 図2）がある。

地熱（地球内部の熱）を利用した＿＿＿＿＿＿（└ 図3）なども火山のめぐみである。

図1 温泉

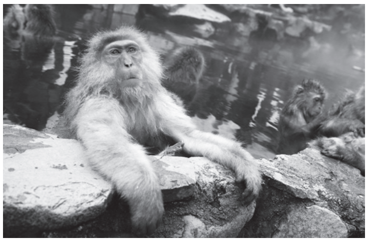


図2 恐山（青森県）

図3 地熱発電
八丁原(はっちょうばる)発電所（大分県）

ポイント2 火山(かざん)による災害

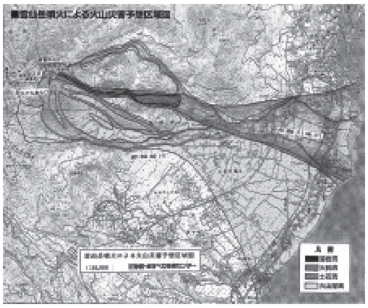
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

火山は，めぐみとともに＿＿＿＿＿＿（└ 図4）をもたらす。
　例：火砕流(かさいりゅう)，溶岩流

予想される被害の範囲や避難経路・設備などをまとめた地図を＿＿＿＿＿＿（└ 図5）という。

図4 雲仙普賢岳(うんぜんふげんだけ)の火砕流あと

図5 雲仙普賢岳火山ハザードマップ



出典：（一財）砂防・地すべり技術センター

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 過去1万年以内に噴火した火山や，現在活動している火山を何というか。

(2) 火山のもたらすめぐみとしてあてはまらないものはどれか。
ア　独特の景観などの観光資源
イ　温泉
ウ　きれいな空気

(3) 火山のめぐみを利用した発電方法としてもっとも適当なものはどれか。
ア　地熱発電
イ　太陽光発電
ウ　風力発電
エ　火力発電

(4) 予想される被害の範囲や避難経路・設備などをまとめた地図を何というか。

(5) 次のうち，火山による災害としてあてはまるものをすべて選べ。
ア　洪水　　イ　火砕流　　ウ　溶岩流
エ　雪崩（なだれ）

地震

ポイント　地震に関する用語

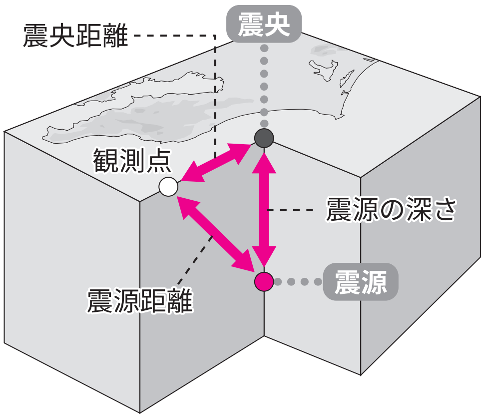
______にあてはまる語句を確認しましょう。

地下の岩盤がずれて発生した波が，伝わったものを__________という。

地震が発生した地点を__________という。
└ 図1

震源の真上の地上の地点を__________という。
└ 図1

図1 震源と震央



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 地下の岩盤がずれて発生した波が伝わったものを何というか。　＿＿＿＿＿＿

(2) 地震が発生した地点を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(3) 震源の真上の地表の地点を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(4) 観測点から震源までの距離を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(5) 観測点から震央までの距離を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(6) 震央から震源までの距離を何というか。　＿＿＿＿＿＿

第38講・地震のゆれ

地震の波

ポイント 1　地震の波

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

地震の波は＿＿＿＿＿と＿＿＿＿＿の２種類の波からなる。
└ 表1

P波による，初めの小刻みなゆれを＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1①

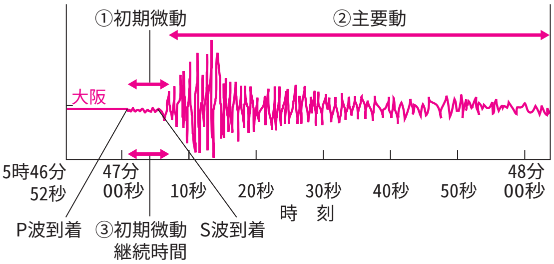
S波による，初期微動の後の大きなゆれを＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1②

初期微動が始まってから主要動が始まるまでの時間を＿＿＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1③

表1 P波とS波の性質

	波の速さ	到達時の ゆれの強さ	波の種類
P波	速い	弱い	縦波
S波	遅い	強い	横波

図1 地震計の記録



初期微動継続時間は，震源からの距離が大きいほど＿＿＿＿＿なる。
└ 図2

地震計（地震のゆれを記録する装置）では，おもりとペンは＿＿＿＿＿＿。
└ 図3

図2 震源からの距離と初期微動継続時間の関係

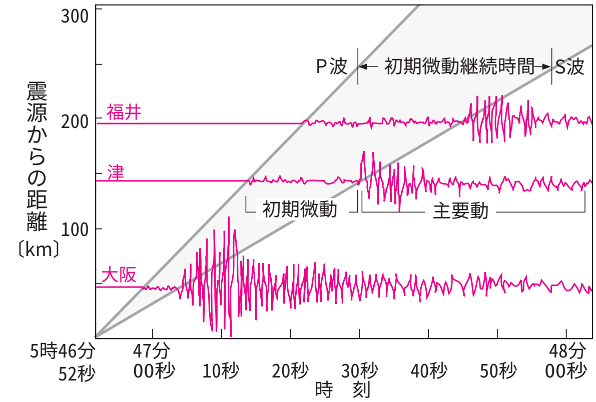
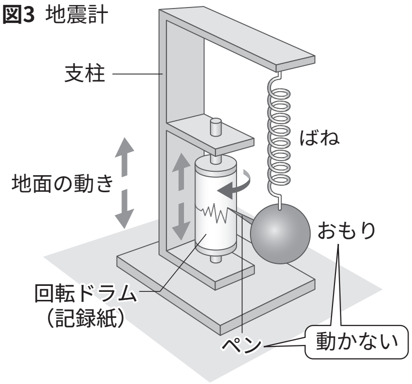


図3 地震計

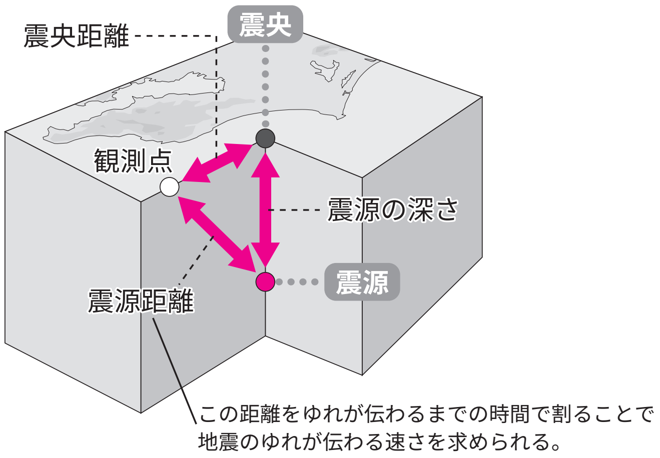


ポイント2 地震のゆれが伝わる速さ

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

ゆれが伝わる速さ〔km/s〕＝ ＿＿＿＿＿〔km〕 / ＿＿＿＿＿〔s〕

図4 震源からの距離



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 地震のゆれで，初めに起こる小さなゆれを何というか。 ＿＿＿＿＿

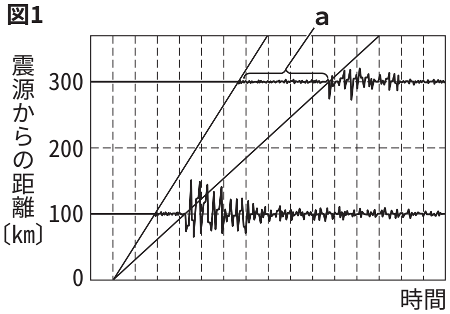
(2) 地震のゆれで，初めに起こる小さなゆれに続いて起こる大きなゆれを何というか。 ＿＿＿＿＿

(3) 地震の波で，初期微動を伝える波を何というか。 ＿＿＿＿＿

(4) 地震の波で，主要動を伝える波を何というか。 ＿＿＿＿＿

⑸　図1のaはP波とS波の到着時刻の差を表している。これを何というか。

図1



⑹　初期微動継続時間は，震源からの距離が大きいほど長くなるか，短くなるか。

⑺　地震計で動かないものはどれか。以下からすべて選べ。
〔ばね　おもり　回転ドラム　支柱　ペン〕

⑻　次の式は，地震のゆれが伝わる速さを表す式である。式中の（　a　）と（　b　）に入る言葉は何か。

ゆれが伝わる速さ[km/s]

$$= \frac{\text{震源からの（ a ）[km]}}{\text{地震が発生してからゆれが伝わるまでの（ b ）[s]}}$$

震度とマグニチュード

ポイント 1　震度（しんど）

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

地震（じしん）によるゆれの大きさは0～7の10段階の＿＿＿＿＿＿で表す。
└ 図1

震度はふつう，震央（しんおう）から＿＿＿＿＿＿に小さくなる。
└ 図2

図2 震央からの距離（きょり）と震度の大きさ

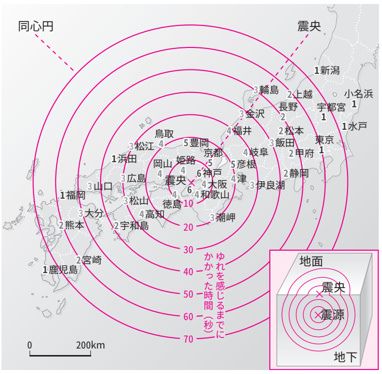


図1 震度とゆれの激しさ

0：人はゆれを感じない。

1：屋内にいる人の一部がわずかなゆれを感じる。

2：屋内にいる人の多くがゆれを感じる。

3：屋内にいる人のほとんどがゆれを感じる。

4：電灯が大きくゆれ，すわりの悪い置物がたおれる。

5弱：大半の人が恐怖（きょうふ）を覚え，たなにある食器類や本が落ちる。

5強：ものにつかまらないと歩けない。固定していない家具がたおれる。

6弱：立っていることが困難。壁のタイルや窓ガラスが破損することがある。

6強：耐震性の低い木造建物は，傾いたりたおれることがある。

7：耐震性の高い建物でも，まれに傾くことがある。

ポイント 2　マグニチュード

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

地震の規模の大きさは＿＿＿＿＿＿（記号＿＿＿＿）で表す。
└ 表1

マグニチュードが1増えると地震（じしん）のエネルギーは約＿＿＿＿倍，2増えると＿＿＿＿＿倍になる。
└ 表1

表1 マグニチュードと地震の概略

名称	M	地震の概略（浅い地震の場合）	発生頻度
大地震（巨大地震）	9	数100～1000kmの範囲に大きな地殻変動を生じ，地域に大災害・大津波。	数百年に1回程度
	8	内陸に起これば広域にわたり大災害，海底に起これば大津波が発生する。	10年に1回程度
	7	内陸の地震では大災害となる。海底の地震は津波を伴う。	1年に1～2回程度
中地震	6	震央付近で小被害が出る。Mが7に近いと，条件によって大被害となる。	1年あたり10～15回程度
	5	被害が出ることは少ない。条件によっては震央付近で被害が出る。	1月に10回程度
小地震	4	震央付近で有感となる。震源がごく浅いと震央付近で軽い被害が出る。	1日に数回程度
	3	震央付近で有感となることがある。	1日に数十回程度
極小地震	2	震源がごく浅い場合に，震央付近でまれに有感となることがある。	1時間に10回程度
	1	人間に感じることはない。	1分に1～2回程度
極微小地震	0	人間に感じることはない。	無数に発生している。
	-1	人間に感じることはない。	
		人間に感じることはない。	

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 観測点での地震のゆれの大きさを表す指標を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(2) 地震のゆれは震央を中心としてどのように伝わっていくか。　＿＿＿＿＿＿

(3) 震度は，ふつう震源から遠ざかるほどどうなるか。　＿＿＿＿＿＿

(4) 地震の規模の大きさを表す指標を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(5) マグニチュードを記号で表せ。　＿＿＿＿＿＿

(6) マグニチュードが1増えると地震のエネルギーは約何倍になるか。　＿＿＿＿＿＿

(7) マグニチュードが2増えると地震のエネルギーは何倍になるか。　＿＿＿＿＿＿

プレートと地震

ポイント 1　プレート

______にあてはまる語句を確認しましょう。

地球の表面は__________という岩盤(がんばん)におおわれている。
└ 図1

日本列島付近では______つのプレートが接している。
└ 図1

4つのプレートの名前を，________________，
________________，______________，__________________という。
└ 図2

ユーラシアプレートと北アメリカプレートは____________，
太平洋プレートとフィリピン海プレートは____________である。

図1 世界のプレート分布

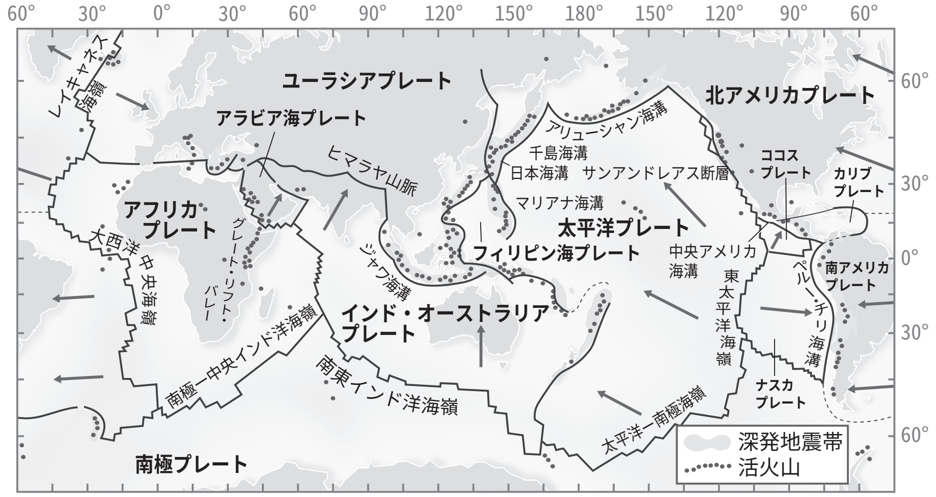
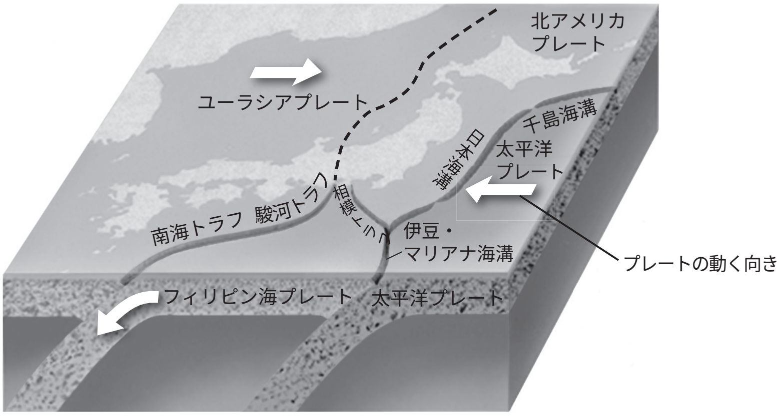


図2 日本列島付近のプレート断面



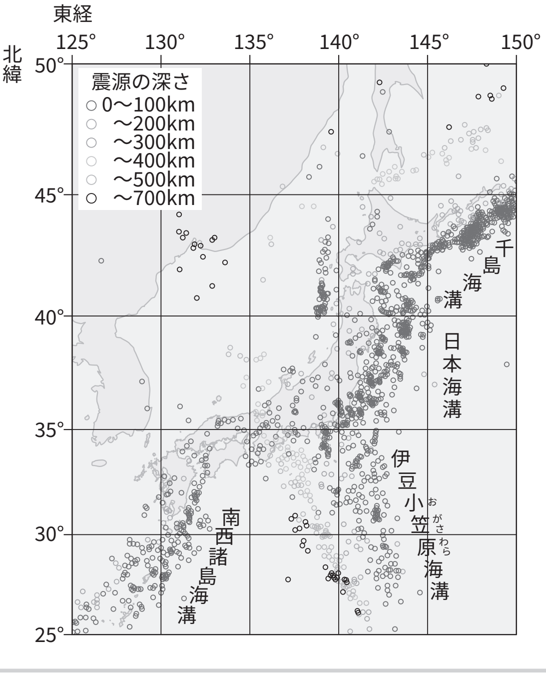
ポイント 2　地震の起こる場所

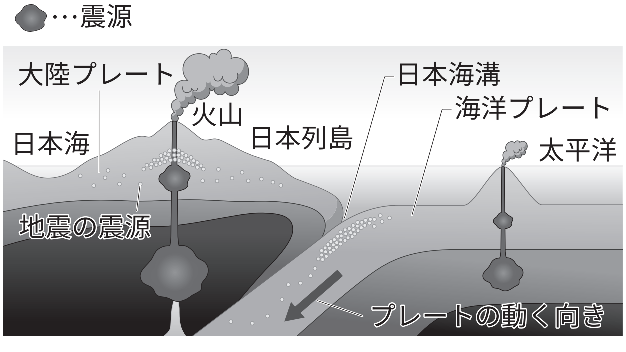
＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

日本列島付近の震源は＿＿＿＿＿付近に集中している。
└ 図3

日本列島付近の地震の震源の深さは，太平洋側から日本海側に向かって＿＿＿＿＿なっている。
└ 図3

図3 日本列島付近の震源分布とその深さ





確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 地球の表面をおおう，板状の厚い岩盤を何というか。

(2) 日本列島付近にあるプレートは何枚か。

(3) 次のうち大陸プレートをすべて選べ。
ア　ユーラシアプレート
イ　フィリピン海プレート
ウ　太平洋プレート
エ　北アメリカプレート

(4) 次のうち海洋プレートをすべて選べ。
ア　ユーラシアプレート
イ　フィリピン海プレート
ウ　太平洋プレート
エ　北アメリカプレート

(5) 次の文は日本列島付近のプレートの動きによって地震が起こるしくみを説明している。AとBにあてはまるものは何か。

(　A　)プレートが(　B　)プレートに引きずりこまれてひずみができる。(　A　)プレートがひずみにたえきれなくなると反発し，地震が起こる。

(6) 日本列島付近の地震の震源はどこに集中しているか。

(7) 日本列島付近の地震の震源の深さは太平洋側から日本海側に向かってどうなっているか。

地震のしくみ

ポイント 1　断層（だんそう）

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

地層に大きな力が加わり，上下または左右にずれた部分のことを＿＿＿＿＿という。
└ 図1

断層が活動することなどで地震が起きる。

上盤（じょうばん）がずり下がった断層を＿＿＿＿＿という。
└ 図2①

上盤がずり上がった断層を＿＿＿＿＿という。
└ 図2②

最近活動し，今後も活動する可能性のある断層を＿＿＿＿＿という。
└ 図3

図1 断層

図2 正断層と逆断層

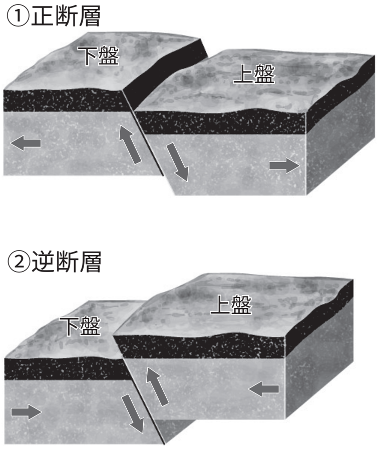


図3 活断層

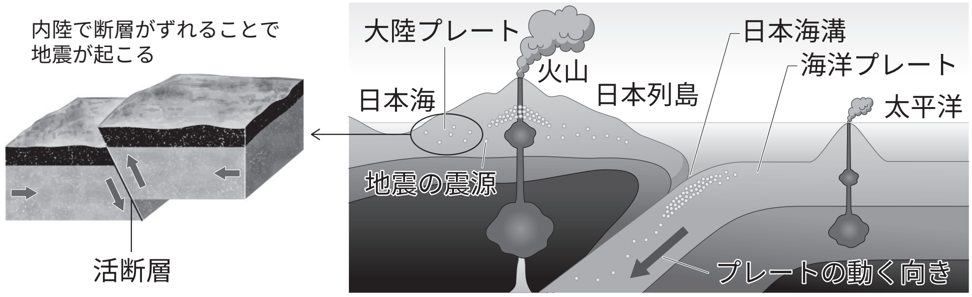
ポイント 2　地震（じしん）の種類

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

■内陸型地震

陸の中の活断層（かつだんそう）の活動で起こる地震を＿＿＿＿＿という。
└ 図4

図4 内陸型地震の起こり方



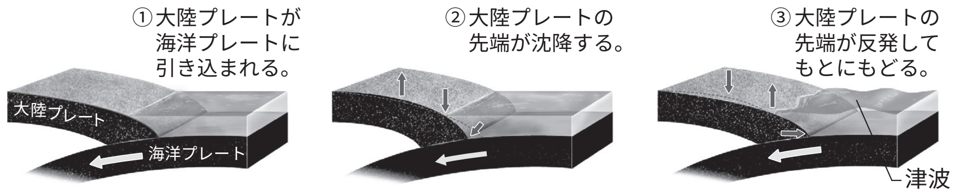
■海溝型地震

海溝（かいこう）付近でプレートがずれて起こる地震を＿＿＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿＿＿＿）という。
└ 図5

海溝型地震によって，海底が動いたりして

海水が大きく動かされると＿＿＿＿＿＿が起こることがある。
└ 図5③

図5 海溝型地震と津波の起こり方

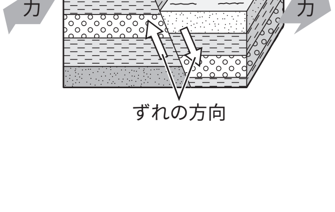


確認テスト

次の問いに答えなさい。

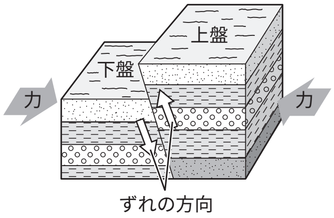
(1) 地層に大きな力が加わり，上下または左右にずれた部分を何というか。　＿＿＿＿＿＿＿＿

(2) 次の図のような断層を何というか。



＿＿＿＿＿＿＿＿

⑶　次の図のような断層を何というか。



⑷　最近活動し，今後も活動する可能性のある断層を何というか。

⑸　日本列島付近で起こる地震のうち，陸の地層がずれることで起こる地震を何というか。

⑹　内陸型地震は，陸の中の何が動くことで起こるか。

⑺　海溝付近でプレートがずれて起こる地震を何というか。

⑻　海溝型地震により，海底が動いたりして海水が大きく動かされると起こるのは何か。

地震による災害

ポイント　地震（じしん）への備え

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

強いゆれがくることがわかると＿＿＿＿＿＿＿＿が発表される。
└ 図1

海底が動いたりして海水が大きく動かされると＿＿＿＿＿が起こることがある。

津波がくることがわかると，＿＿＿＿＿＿＿が発表される。
└ 図2

図1 緊急地震速報のしくみ

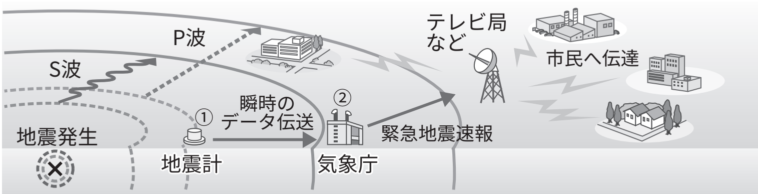
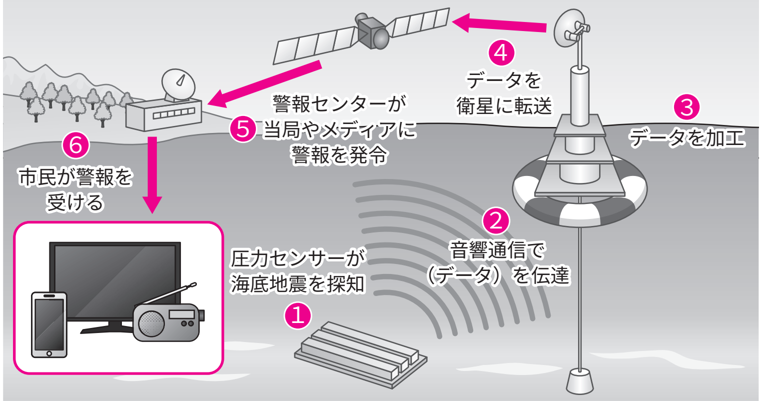


図2 津波警報のしくみ



地震にともなって起こるさまざまな災害を予想した＿＿＿＿＿＿＿＿を確認し，
└ 図3

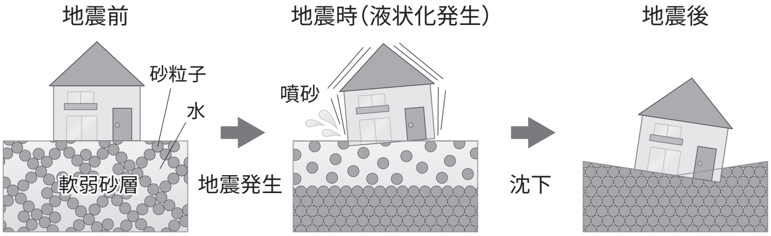
普段から災害に備えることが大切である。

地震によって，地面が液体状になることを＿＿＿＿＿（＿＿＿＿＿＿）という。
└ 図4

図3 ハザードマップ

図4 液状化

①液状化のしくみ



②液状化のようす

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 大きな地震が発生したときに発令される，地震の波の到着を知らせる通知を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(2) 大きな地震にともなって海水が大きく動かされると何が起こるか。　＿＿＿＿＿＿

(3) 大きな地震にともなって津波の発生が予想されるときに発令される，津波の到着を知らせる警報を何警報というか。　＿＿＿＿＿＿

(4) 地震が発生した際に予想される被害の範囲や，避難経路・設備などをまとめた地図を何というか。　＿＿＿＿＿＿

(5) 地震によって，地面が液体状になることを何というか。　＿＿＿＿＿＿

流水のはたらきと地形

ポイント 1　風化と流水のはたらき

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

地表にある岩石(がんせき)が，気温の変化や雨風などによって，もろくなることを＿＿＿＿＿という。

岩石が流水や風などでけずられることを＿＿＿＿＿という。

流水によって，けずられたものが運ばれることを＿＿＿＿＿という。

運ばれてきた土砂(どしゃ)が，水の流れがゆるやかになるところにたまることを＿＿＿＿＿という。

土砂(どしゃ)が海や湖に流れこんだ場合，

粒(つぶ)の＿＿＿＿＿（表1）ものから＿＿＿＿＿（図1①）沈む。

泥(どろ)などの粒の＿＿＿＿＿（表1）ものは，波や潮(しお)の流れにのって河口から＿＿＿＿＿（図1①）まで運ばれやがて堆積(たいせき)する。

運ばれてきた粒が積み重なると＿＿＿＿＿（図1②）ができる。

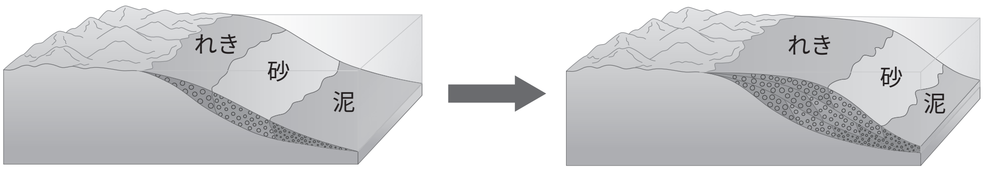
表1 堆積する粒の名称と大きさ

粒の名称	粒の大きさ
れき	粒の直径：2mm以上
砂	粒の直径：$\frac{1}{16}$（約0.06）～2mm
泥	粒の直径：$\frac{1}{16}$（約0.06）mm以下

図1 粒の大きさと堆積のようす

①粒の大きいものは河口近くで，小さいものは遠くで沈む。

②運ばれてきた粒は積み重なっていく。



ポイント 2　流水のはたらきと地形

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

流水による侵食(しんしょく)が長い時間続くと，平らな土地に

＿＿＿＿＿（図2）という深い谷がつくられる。

川の上流でけずりとられた土砂（どしゃ）は，流れがゆるやかになる山のふもとで堆積（たいせき）し，

＿＿＿＿＿＿＿＿という扇形（おうぎがた）の平らな土地がつくられる。

└ 図3

流水が海や湖に流れこむところでは，土砂の堆積によって，河口を中心として，

＿＿＿＿＿＿＿＿という低い土地がつくられる。

└ 図4

図2 V字谷

図3 扇状地

図4 三角州

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 急激な気温の変化や雨風などのはたらきによって，地表に出ている岩石の表面がもろくなってくずれていく現象を何というか。　＿＿＿＿＿＿＿＿

(2) 流水や風によって，岩石がけずられることを何というか。　＿＿＿＿＿＿＿＿

(3) 流水によって，けずられたりしてできたものが運ばれることを何というか。　＿＿＿＿＿＿＿＿

(4) 流水によって運ばれてきた土砂が，流れのゆるやかなところにたまることを何というか。　＿＿＿＿＿＿＿＿

(5) 川の水によって運ばれてきた粒が積み重なると何ができるか。　＿＿＿＿＿＿＿＿

(6) 流水による侵食の作用が長い時間はたらいてできる深い谷を何というか。　＿＿＿＿＿＿＿＿

(7) 川が山地から平野に出るところに土砂が堆積してできる地形を何というか。　＿＿＿＿＿＿＿＿

(8) 川が平野から海に出るところに土砂が堆積してできる地形を何というか。　＿＿＿＿＿＿＿＿

堆積岩

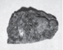
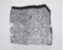
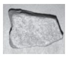
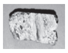
ポイント　堆積岩(たいせきがん)の分類

＿＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

堆積物がおし固められてできた岩石(がんせき)を＿＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 表1

れき岩，砂岩(さがん)，泥岩は流水のはたらきにより，
岩石をつくっている粒(つぶ)が＿＿＿＿＿＿＿をおびている。

表1 いろいろな堆積岩

堆積岩	堆積物	特徴
＿＿＿＿＿＿ 	おもにれき	粒の直径：2 mm以上
＿＿＿＿＿＿ 	おもに砂	粒の直径：$\frac{1}{16}$（約0.06）～2 mm
＿＿＿＿＿＿ 	おもに泥(どろ)	粒の直径：$\frac{1}{16}$（約0.06）mm以下
＿＿＿＿＿＿	サンゴ，フズリナなどの死がい	塩酸をかけると二酸化炭素が発生する。
＿＿＿＿＿＿	ケイソウやホウサンチュウなどの死がい	非常にかたく，火打石などに使われる。
＿＿＿＿＿＿ 	火山灰などの火山噴出物(ふんしゅつぶつ)	岩石をつくっている粒が角ばっている。

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 堆積物が，長い間におし固められてできた岩石を何というか。

(2) れきをふくむ堆積物が，おし固められてできた岩石を何というか。

(3) 砂がおし固められてできた岩石を何というか。

(4) 泥がおし固められてできた岩石を何というか。

(5) れき岩，砂岩，泥岩の粒はどのような形をしているか。

(6) 貝殻やサンゴの死がいがおし固められてできた岩石を何というか。

(7) 海水中の小さな生物の死がいがおし固められてできた硬い岩石を何というか。

(8) 石灰岩にうすい塩酸をかけたときに発生する気体は何か。

(9) 火山灰などの火山噴出物がおし固められてできた岩石を何というか。

第43講・大地の変化

隆起と沈降

ポイント 隆起(りゅうき)と沈降(ちんこう)のしくみ

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

■隆起と地形

大地がもち上がることを＿＿＿＿＿＿という。

隆起と川の水による侵食(しんしょく)を繰り返してできた，

川岸付近にみられる段状の地形を＿＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 図1，2

隆起と海水による侵食を繰り返してできた，

海岸付近にみられる段状の地形を＿＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 図3

図1 河岸段丘のでき方

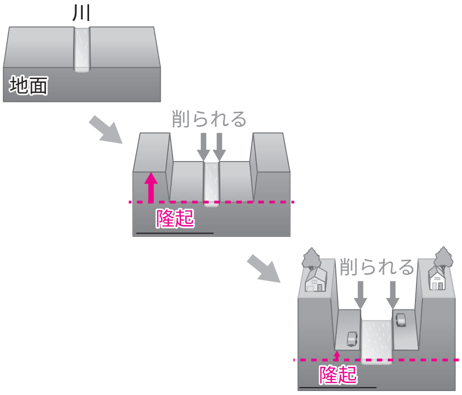


図2 河岸段丘のようす
五ヶ瀬川（宮崎県）

図3 海岸段丘のようす
室戸岬（高知県）

■沈降と地形

大地が沈むことを＿＿＿＿＿＿という。
└ 図4

大地が沈降してできる海岸線が入り組んだ地形を＿＿＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 図5

図4 沈降のようす

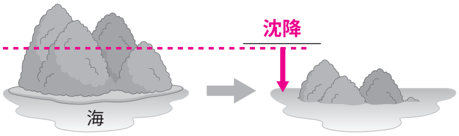


図5 リアス海岸のようす

英虞湾(あごわん)（三重県）

鵜の巣断崖（岩手県）

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 大地がもち上がることを何というか。

(2) 大地が沈むことを何というか。

(3) 土地の隆起や沈降によってできる地形を三つ選べ。
ア　三角州　　イ　海岸段丘
ウ　河岸段丘　　エ　扇状地
オ　V字谷　　カ　リアス海岸

(4) 隆起と海水による侵食を繰り返してできた，海岸付近でみられる段状の地形を何というか。

(5) 隆起と川の水による侵食を繰り返してできた，川岸付近でみられる段状の地形を何というか。

(6) 大地が沈降してできる海岸線が入り組んだ地形を何というか。

第43講・大地の変化

地層の変化

ポイント しゅう曲と断層

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

■しゅう曲

地層が左右からゆっくりとおす力を受けて

曲がったものを＿＿＿＿＿＿＿＿という。

└ 図1

図1 しゅう曲のようす

■断層

地層が左右から急におす力や引く力を受けて

ずれたものを＿＿＿＿＿＿＿という。

└ 図2，3

左右から急に引く力がかかり，上盤がずり下がった断層を＿＿＿＿＿＿＿という。

└ 図2

左右から急におす力がかかり，上盤がずり上がった断層を＿＿＿＿＿＿＿という。

└ 図3

図2 正断層のようす

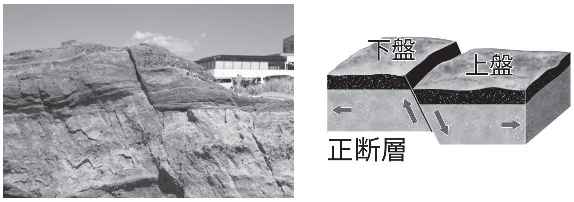
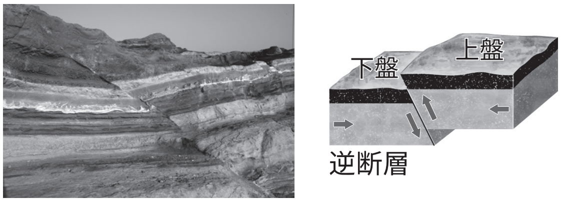


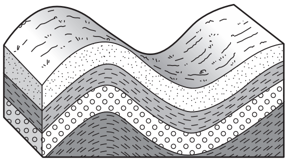
図3 逆断層のようす



確認テスト

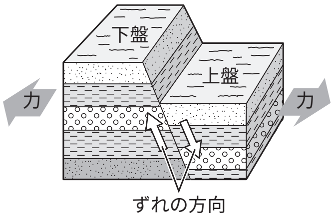
次の問いに答えなさい。

(1) 次の図のような地層の曲がりを何というか。

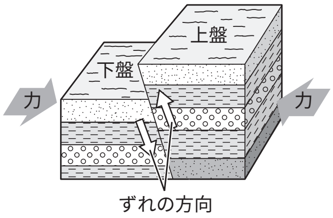


(2) 左右から急におす力や引く力をうけてできた地層のずれを何というか。

(3) 次の図のような断層を何というか。



(4) 次の図のような断層を何というか。



(5) 地層がずれたとき，何が起こることが多いか。

化石

ポイント1　示相化石

______にあてはまる語句を確認しましょう。

地層はふつう，いちばん______のものが最も古い。

生物の死がいや生活のあとなどが地層に残ったものを______という。
└ 図1

地層が堆積した当時の環境を知る手がかりとなる化石を______という。
└ 表1

表1 示相化石と堆積した当時の環境

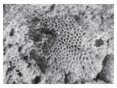
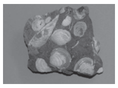
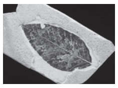
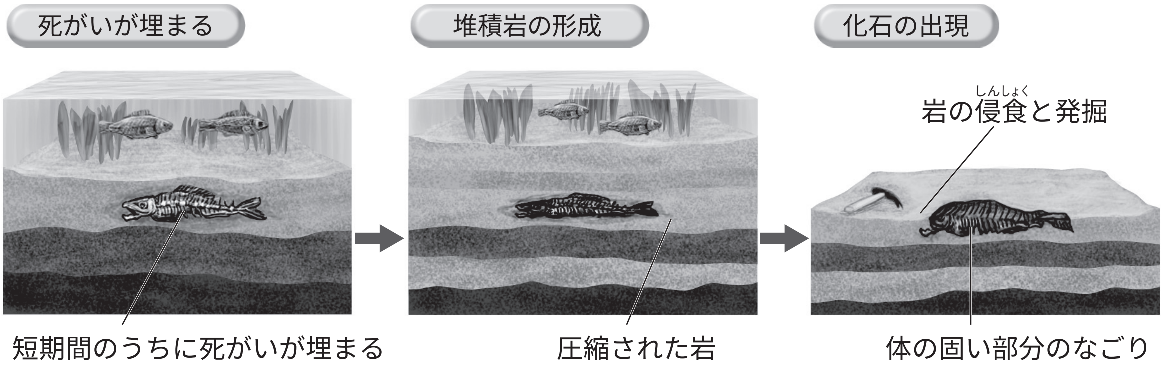
	示相化石	堆積した当時の環境
	______	あたたかくきれいな浅い海
	______	河口または湖(汽水域)
	______	やや寒冷な気候
	______	冷たい海

図1 化石のでき方



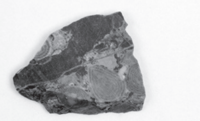
ポイント2　示準化石

______にあてはまる語句を確認しましょう。

地層が堆積した年代を知る手がかりとなる化石を______という。
└ 表2

地層が堆積した年代を______という。
└ 表2

表2 地質年代と示準化石

	5億4000万年前	2億5000万年前	6600万年前　現在
地質年代	＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿
示準化石	＿＿＿＿ ＿＿＿＿ 	＿＿＿＿ ＿＿＿＿ 	＿＿＿＿ ＿＿＿＿ **（下あご）** ＿＿＿＿

確認テスト

次の問いに答えなさい。

⑴　生物の死がいや生活のあとなどが地層の中に残されたものを何というか。　＿＿＿＿

⑵　その地層が堆積した当時の環境を知る手がかりとなる化石を何というか。　＿＿＿＿

⑶　その化石が堆積した年代を知る手がかりとなる化石を何というか。　＿＿＿＿

⑷　示準化石となる生物の条件について，次のA，Bにあてはまる言葉を答えよ。

（　A　）い範囲に，（　B　）い期間生息したこと。　＿＿＿＿

⑸　示相化石となる生物の条件について，次のA，Bにあてはまる言葉を答えよ。

（　A　）環境で，（　B　）い期間生息したこと。　＿＿＿＿

⑹　アンモナイトが栄えた地質年代はどれか。　＿＿＿＿

⑺ サンヨウチュウが栄えた地質時代はどれか。 ＿＿＿＿＿＿

⑻ ビカリアが栄えた地質時代はどれか。 ＿＿＿＿＿＿

⑼ ブナの化石から当時の環境がどのようなものだったことがわかるか。 ＿＿＿＿＿＿

⑽ サンゴの化石から当時の環境がどのようなものだったことがわかるか。 ＿＿＿＿＿＿

⑾ シジミの化石から当時の環境がどのようなものだったことがわかるか。 ＿＿＿＿＿＿

⑿ ホタテの化石から当時の環境がどのようなものだったことがわかるか。 ＿＿＿＿＿＿

地層のつながり

ポイント　地層（ちそう）の調べ方

______にあてはまる語句を確認しましょう。

地層はもともとは__________して広がっている。（図1）

地層の重なりを模式的に表した図を__________という。（図2）

はなれた地層どうしを比べるのに役立つ地層を__________という。（図3）

図1 地層の広がり

図2 柱状図

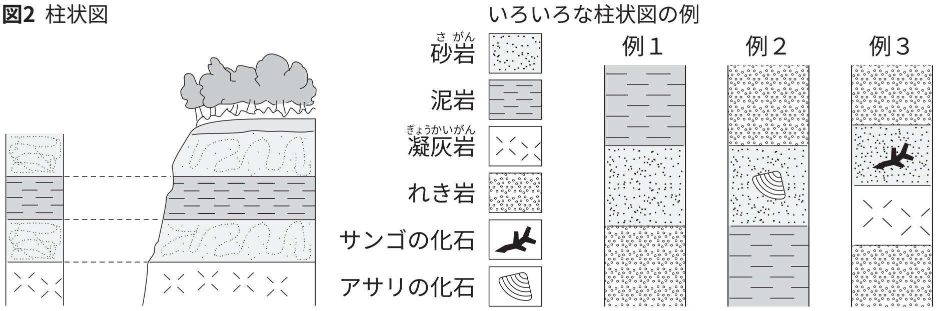
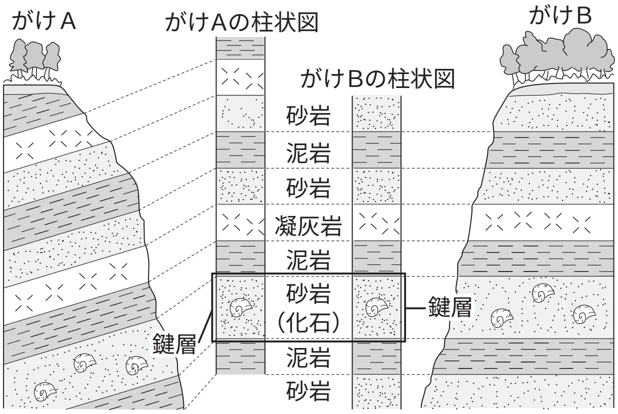


図3 地層のつながりと鍵層の例



地下の地層のようすを調べることを＿＿＿＿＿＿＿＿という。
└ 図4

図4 ボーリング調査のようす

確認テスト

次の問いに答えなさい。

⑴ 地層について，次の（　　）にあてはまる言葉をア，イから選べ。

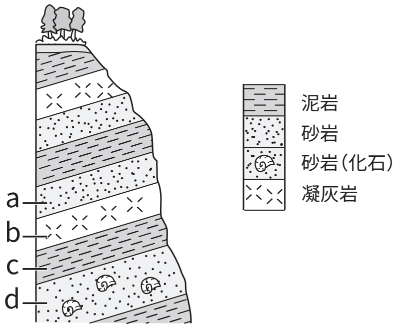
地層はもともとは（　　）広がっている。
ア　連続して　　イ　非連続に　＿＿＿＿＿＿

⑵ 地層の重なりを柱のように表した図を何というか。　＿＿＿＿＿＿

⑶ 火山灰の層のように，他の地層と簡単に区別でき，はなれた場所の地層との比較に役立つ地層を何というか。　＿＿＿＿＿＿

⑷ 地上から筒をさして，地下の地層を調べることを何というか。　＿＿＿＿＿＿

⑸ 次の図のa～dのうち，火山の噴火を示す層はどれか。



＿＿＿＿＿＿

写真・資料

アフロ, AFP/ AFPBB News, (一財) 砂防・地すべり技術センター, 一部の画像に生成AIを使用

教科書対応表

スタディサプリのアプリやウェブでは，教科書の順番に合わせて講義が配信されます。
次ページ以降の教科書対応表で，学習する教科書の章やページ数に対応する講義を確認しましょう。

出版社名・教科書名が記載されています。
自分が使っている教科書の対応表を確認しましょう。

東京書籍　新しい科学

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
第1章 生物の観察と分類のしかた			
第1節 身近な生物の観察	16 - 21	第23講 自然の観察と方法	ルーペの使い方，スケッチのしかた
		第24講 顕微鏡の使い方	双眼実体顕微鏡の使い方
			顕微鏡の使い方
第2節 生物の特徴と分類	22 - 25	第25講 生物の特徴と分類	生物の分類

学習する教科書の章やページ数を探しましょう。

対応する講義を確認しましょう。

対応表は以下の教科書のものをご用意しています。

- **東京書籍　新しい科学**
- **啓林館　未来へひろがるサイエンス**
- **大日本図書　理科の世界**
- **学校図書　中学校 科学**
- **教育出版　自然の探究 中学理科**

東京書籍　新しい科学

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
第1章 生物の観察と分類のしかた			
第1節 生物の観察	16 - 21	第23講 自然の観察と方法	ルーペの使い方，スケッチのしかた
		第24講 顕微鏡の使い方	双眼実体顕微鏡の使い方
			顕微鏡の使い方
第2節 生物の特徴と分類	22 - 26	第25講 生物の特徴と分類	生物の分類
第2章 植物の分類			
第1節 花のつくり	28 - 33	第26講 花のつくり	花のつくり
第2節 果実をつくらない花 第3節 葉や根のつくり	34 - 39	第27講 被子植物と裸子植物	被子植物と裸子植物
			単子葉類と双子葉類
			合弁花類と離弁花類
第4節 種子をつくらない植物	40 - 41	第28講 種子をつくらない植物	種子をつくらない植物
第5節 さまざまな植物の分類	42 - 44	第29講 さまざまな植物の分類	さまざまな植物の分類
第3章 動物の分類			
第1節 身近な動物の分類	46 - 49	第30講 動物の分類	セキツイ動物と無セキツイ動物
第2節 脊椎動物	50 - 53	第31講 セキツイ動物	セキツイ動物の分類
			恒温動物と変温動物
第3節 無脊椎動物	54 - 57	第32講 無セキツイ動物	無セキツイ動物
第4節 動物の分類表の作成	58 - 63	第33講 さまざまな動物の分類	さまざまな動物の分類

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
第1章 身のまわりの物質とその性質			
第1節 物の調べ方	74 - 75	第13講 さまざまな物質の性質	物体と物質
第2節 金属と非金属	76 - 79	第13講 さまざまな物質の性質	金属と非金属
第3節 さまざまな金属の見分け方	80 - 83	第14講 実験器具の使い方	電子てんびんと上皿てんびんの使い方
			メスシリンダーの使い方
		第15講 物質の密度	物質の密度
第4節 白い粉末の見分け方	84 - 90	第14講 実験器具の使い方	ガスバーナーの使い方
		第16講 有機物と無機物	有機物と無機物
第2章 気体の性質			
第1節 身のまわりの気体の性質	92 - 95	第18講 気体の性質	二酸化炭素と酸素
			水素と窒素
第2節 気体の性質と集め方	96 - 100	第17講 気体の性質と集め方	気体の性質と集め方
		第18講 気体の性質	アンモニア
			さまざまな気体
第3章 水溶液の性質			
第1節 物質が水にとけるようす	102 - 107	第19講 水溶液の性質	ろ過のしかた
			水溶液
			純物質と混合物
			溶液の濃度
第2節 溶解度と再結晶	108 - 114	第20講 溶解度と再結晶	溶解度と溶解度曲線
			結晶と再結晶

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
第4章 物質の姿と状態変化			
第1節 物質の状態変化	116 - 117	第21講 物質の状態変化	物質の状態変化
第2節 物質の状態変化と体積・質量の変化	118 - 123	第21講 物質の状態変化	状態変化と体積・質量の変化
			状態変化の粒子モデル
第3節 状態変化が起こるときの温度とその利用	124 - 131	第22講 蒸留	沸点と融点
			蒸留
第1章 光の世界			
第1節 物の見え方	142 - 143	第1講 光の進み方	光の進み方
		第5講 光と色	光と色
第2節 光の反射	144 - 147	第2講 光の反射	光の反射
			鏡にうつる像の位置
第3節 光の屈折	148 - 151	第3講 光の屈折	光の屈折
第4節 レンズのはたらき	152 - 158	第4講 凸レンズ	凸レンズのはたらき
			凸レンズによる実像
			凸レンズによる虚像
第2章 音の世界			
第1節 音の伝わり方	160 - 161	第6講 音の伝わり方	音の伝わり方
第2節 音の大きさや高さ	162 - 166	第7講 音の性質	音の性質
			弦の振動による音のちがい
			音の伝わる速さ

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
第3章 力の世界			
第1節 日常生活のなかの力	168 - 171	第8講 力のはたらき	力のはたらき
		第9講 さまざまな力	いろいろな力①
			いろいろな力②
第2節 力のはかり方	172 - 175	第10講 力の大きさとばねののび	力の大きさとばねののび
第3節 力の表し方	176 - 177	第11講 重力と質量	重力と質量
			力の表し方
第4節 力のつり合い	178 - 181	第12講 2つの力のつり合い	2つの力のつり合い
第1章 火をふく大地			
第1節 火山の姿からわかること	194 - 195	第34講 火山の噴火と形	火山の噴火
			火山の形
第2節 火山の噴火によってふき出される物	196 - 199	第35講 火山噴出物	火山噴出物
			鉱物
第3節 火山の活動と火成岩	200 - 203	第36講 火成岩	火成岩
第4節 火山とともにくらす	204 - 206	第37講 火山と人間の生活	火山と人間の生活
第2章 動き続ける大地			
第1節 地震のゆれの伝わり方	208 - 211	第38講 地震のゆれ	地震
			地震の波
			震度とマグニチュード
第2節 地震が起こるところ	212 - 215	第39講 地震のしくみ	プレートと地震
			地震のしくみ

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
第3節 地震に備えるために	216 - 218	第43講 大地の変化	隆起と沈降
		第40講 地震による災害	地震による災害
第3章 地層から読みとる大地の変化			
第1節 地層のなり立ち	220 - 221	第41講 流水のはたらきと地形	流水のはたらきと地形
第2節 堆積岩	222 - 225	第42講 堆積岩	堆積岩
第3節 地層や化石からわかること	226 - 229	第44講 化石	化石
第4節 大地の変動	230 - 231	第43講 大地の変化	地層の変化
第5節 身近な大地の歴史	232 - 235	第45講 地層のつながり	地層のつながり

啓林館　未来へひろがるサイエンス

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
自然の中にあふれる生命			
1. 身の回りの生物の観察	7 - 13	第23講 自然の観察と方法	ルーペの使い方，スケッチのしかた
		第24講 顕微鏡の使い方	顕微鏡の使い方
			双眼実体顕微鏡の使い方
2. 生物のなかま分けのしかた	14 - 17	第25講 生物の特徴と分類	生物の分類
1章　植物の特徴と分類			
1. 花のつくり	20 - 27	第26講 花のつくり	花のつくり
		第27講 被子植物と裸子植物	被子植物と裸子植物
2. 子葉，葉，根のつくり	28 - 30	第27講 被子植物と裸子植物	単子葉類と双子葉類
3. 種子をつくらない植物	31 - 32	第28講 種子をつくらない植物	種子をつくらない植物
4. 植物の分類	33 - 35	第27講 被子植物と裸子植物	合弁花類と離弁花類
		第29講 さまざまな植物の分類	さまざまな植物の分類
2章　動物の特徴と分類			
1. 動物の体のつくりと生活	36 - 39	第30講 動物の分類	肉食動物と草食動物
2. 背骨のある動物	40 - 47	第30講 動物の分類	セキツイ動物と無セキツイ動物
		第31講 脊椎動物	恒温動物と変温動物
			セキツイ動物の分類
3. 背骨のない動物	48 - 50	第32講 無セキツイ動物	無セキツイ動物
4. 動物の分類	51 - 53	第33講 さまざまな動物の分類	さまざまな動物の分類

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
1章　身近な大地			
活きている地球	64	第39講 地震のしくみ	プレートと地震
1. 身近な大地の変化	66 - 69	第43講 大地の変化	隆起と沈降
			地層の変化
2. 地域の大地の観察	70 - 72	第45講 地層のつながり	地層のつながり
2章　ゆれる大地			
1. 地震の発生とゆれの伝わり方	74 - 77	第38講 地震のゆれ	地震
			地震の波
2. ゆれの大きさ	78 - 80	第38講 地震のゆれ	震度とマグニチュード
3. 日本列島の地震	81 - 83	第39講 地震のしくみ	プレートと地震
			地震のしくみ
		第40講 地震による災害	地震による災害
3章　火をふく大地			
1. 火山の噴火	84 - 87	第35講 火山噴出物	火山噴出物
		第34講 火山の噴火と形	火山の噴火
		第35講 火山噴出物	鉱物
2. マグマの性質と火山	88 - 93	第34講 火山の噴火と形	火山の形
3. マグマからできた岩石	94 - 98	第36講 火成岩	火成岩
4章　語る大地			
1. 地層のでき方と広がり	100 - 105	第41講 流水のはたらきと地形	流水のはたらきと地形
2. 地層の岩石	106 - 108	第42講 堆積岩	堆積岩

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
3. 地層・化石と大地の歴史	109 - 111	第44講 化石	化石
		第45講 地層のつながり	地層のつながり
4. 大地の恵みと災害	112 - 117	第37講 火山と人間の生活	火山と人間の生活
		第43講 大地の変化	隆起と沈降
		第40講 地震による災害	地震による災害
1章　いろいろな物質とその性質			
1. 物質の区別	137 - 143	第13講 さまざまな物質の性質	物体と物質
		第16講 有機物と無機物	有機物と無機物
		第13講 さまざまな物質の性質	金属と非金属
2. 重さ・体積と物質の区別	144 - 149	第14講 実験器具の使い方	電子てんびんと上皿てんびんの使い方
			メスシリンダーの使い方
			ガスバーナーの使い方
		第15講 物質の密度	物質の密度
2章　いろいろな気体とその性質			
1. 気体の区別	151 - 157	第17講 気体の性質と集め方	気体の性質と集め方
		第18講 気体の性質	二酸化炭素と酸素
			アンモニア
			水素と窒素
			さまざまな気体

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
3章　水溶液の性質			
1. 物質のとけ方	161 - 164	第19講 水溶液の性質	水溶液
2. 濃さの表し方	165 - 166	第19講 水溶液の性質	溶液の濃度
3. 溶質のとり出し方	167 - 172	第20講 溶解度と再結晶	溶解度と溶解度曲線
			結晶と再結晶
		第19講 水溶液の性質	ろ過のしかた
			純物質と混合物
4章　物質のすがたとその変化			
1. 物質のすがたの変化	173 - 179	第21講 物質の状態変化	物質の状態変化
			状態変化と体積・質量の変化
			状態変化の粒子モデル
2. 状態変化と温度	180 - 184	第22講 蒸留	沸点と融点
3. 混合物の分け方	185 - 189	第22講 蒸留	蒸留
1章　光による現象			
1. 光の進み方	201 - 206	第1講 光の進み方	光の進み方
		第2講 光の反射	光の反射
			鏡にうつる像の位置
2. 光が通りぬけるときのようす	207 - 213	第3講 光の屈折	光の屈折
		第5講 光と色	光と色
3. レンズのはたらき	214 - 221	第4講 凸レンズ	凸レンズのはたらき
			凸レンズによる実像
			凸レンズによる虚像

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
2章　音による現象			
1. 音の伝わり方	223 - 226	第6講 音の伝わり方	音の伝わり方
		第7講 音の性質	音の伝わる速さ
2. 音の大小と高低	227 - 231	第7講 音の性質	音の性質
			弦の振動による音のちがい
3章　力による現象			
1. 力のはたらき	233 - 234	第8講 力のはたらき	力のはたらき
		第9講 さまざまな力	いろいろな力①
			いろいろな力②
2. 力の大きさのはかり方	235 - 241	第10講 力の大きさとばねののび	力の大きさとばねののび
3. 力の表し方	242 - 243	第11講 重力と質量	力の表し方
4. 1つの物体に2つの力がはたらくとき	244 - 247	第12講 2つの力のつり合い	2つの力のつり合い

※以下の内容は，スタディサプリの講義と対応していないため，掲載しておりません。
ご了承ください。
●2章　いろいろな気体とその性質　　2. 身のまわりのものから発生した気体の区別　　158 - 160

大日本図書　理科の世界

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
1章　身近な生物の観察			
1　校庭や学校周辺の生物	12 - 22	第23講 自然の観察と方法	ルーペの使い方，スケッチのしかた
		第24講 顕微鏡の使い方	顕微鏡の使い方
			双眼実体顕微鏡の使い方
2　生物の分類	23 - 25	第25講 生物の特徴と分類	生物の分類
2章　植物のなかま			
1　種子をつくる植物	26 - 37	第26講 花のつくり	花のつくり
		第27講 被子植物と裸子植物	単子葉類と双子葉類
			被子植物と裸子植物
			合弁花類と離弁花類
2　種子をつくらない植物	38 - 40	第28講 種子をつくらない植物	種子をつくらない植物
3　植物の分類	41 - 43	第29講 さまざまな植物の分類	さまざまな植物の分類
3章　動物のなかま			
1　動物の体のつくり	45 - 46	第30講 動物の分類	セキツイ動物と無セキツイ動物
2　脊椎動物	47 - 55	第31講 セキツイ動物	セキツイ動物の分類
			恒温動物と変温動物
		第30講 動物の分類	肉食動物と草食動物
3　無脊椎動物	56 - 60	第32講 無セキツイ動物	無セキツイ動物
4　動物の分類	61 - 63	第33講 さまざまな動物の分類	さまざまな動物の分類

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
1章　いろいろな物質			
基本操作　化学実験に使う主な器具	76 - 79	第14講 実験器具の使い方	メスシリンダーの使い方
			電子てんびんと上皿てんびんの使い方
			ガスバーナーの使い方
1　身のまわりの物質	80 - 85	第13講 さまざまな物質の性質	物体と物質
		第16講 有機物と無機物	有機物と無機物
2　金属の性質	86 - 87	第13講 さまざまな物質の性質	金属と非金属
3　密度	88 - 91	第15講 物質の密度	物質の密度
2章　気体の発生と性質			
1　身のまわりの気体	92 - 97	第17講 気体の性質と集め方	気体の性質と集め方
		第18講 気体の性質	二酸化炭素と酸素
2　いろいろな気体の性質	98 - 101	第18講 気体の性質	水素と窒素
			アンモニア
			さまざまな気体
3章　物質の状態変化			
1　状態変化と質量・体積	102 - 106	第21講 物質の状態変化	物質の状態変化
			状態変化と体積・質量の変化
2　状態変化と粒子の運動	107 - 109	第21講 物質の状態変化	状態変化の粒子モデル
3　状態変化と温度	110 - 114	第22講 蒸留	沸点と融点
		第19講 水溶液の性質	純物質と混合物
4　蒸留	115 - 117	第22講 蒸留	蒸留

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
4章　水溶液			
1　物質の溶解と粒子	118 - 121	第19講 水溶液の性質	水溶液
2　溶解度と再結晶	122 - 125	第20講 溶解度と再結晶	溶解度と溶解度曲線
			結晶と再結晶
		第19講 水溶液の性質	ろ過のしかた
3　水溶液の濃度	126 - 127	第19講 水溶液の性質	溶液の濃度
1章　光の性質			
1　光の進み方とものの見え方	142 - 143	第1講 光の進み方	光の進み方
2　光の反射	144 - 147	第2講 光の反射	光の反射
			鏡にうつる像の位置
3　光の屈折	148 - 152	第3講 光の屈折	光の屈折
4　凸レンズのはたらき	153 - 159	第4講 凸レンズ	凸レンズのはたらき
			凸レンズによる実像
			凸レンズによる虚像
5　光と色	160 - 161	第5講 光と色	光と色
2章　音の性質			
1　音の発生と伝わり方	162 - 165	第6講 音の伝わり方	音の伝わり方
		第7講 音の性質	音の性質
			音の伝わる速さ
2　音の大きさや高さ	166 - 171	第7講 音の性質	音の性質
			弦の振動による音のちがい

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
3章　力のはたらき			
1　力のはたらきと種類	172 - 175	第8講 力のはたらき	力のはたらき
		第9講 さまざまな力	いろいろな力①
			いろいろな力②
2　力の表し方	176 - 178	第11講 重力と質量	力の表し方
3　力の大きさとばねの伸び	179 - 183	第10講 力の大きさとばねののび	力の大きさとばねののび
		第11講 重力と質量	重力と質量
4　力のつり合い	184 - 185	第12講 2つの力のつり合い	2つの力のつり合い
1章　火山			
1　火山の活動	200 - 208	第34講 火山の噴火と形	火山の噴火
		第35講 火山噴出物	火山噴出物
		第34講 火山の噴火と形	火山の形
2　マグマが固まった岩石	209 - 216	第35講 火山噴出物	鉱物
		第36講 火成岩	火成岩
3　火山の災害	217 - 219	第37講 火山と人間の生活	火山と人間の生活
2章　地震			
1　地震の揺れの大きさ	220 - 224	第38講 地震のゆれ	地震
			震度とマグニチュード
2　地面の揺れの伝わり方	225 - 226	第38講 地震のゆれ	地震の波
3　地面の揺れ方の規則性	227 - 230	第38講 地震のゆれ	地震の波
4　地震の災害	231 - 233	第40講 地震による災害	地震による災害
		第43講 大地の変化	隆起と沈降

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
3章　地層			
1　地層のでき方	235 - 238	第41講 流水のはたらきと地形	流水のはたらきと地形
2　地層の観察	239 - 244	第39講 地震のしくみ	地震のしくみ
		第43講 大地の変化	地層の変化
		第45講 地層のつながり	地層のつながり
3　堆積岩と化石	245 - 249	第42講 堆積岩	堆積岩
		第44講 化石	化石
4章　大地の変動			
1　火山や地震とプレート	251 - 253	第39講 地震のしくみ	プレートと地震
			地震のしくみ
2　地形の変化とプレートの動き	254 - 256	第43講 大地の変化	隆起と沈降
3　自然の恵みと災害	257 - 259	第40講 地震による災害	地震による災害

学校図書　中学校　科学

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
第1章 身近な生物の観察			
1　生物の観察と分類	10 - 19	第23講 自然の観察と方法	ルーペの使い方，スケッチのしかた
		第24講 顕微鏡の使い方	顕微鏡の使い方
			双眼実体顕微鏡の使い方
		第25講 生物の特徴と分類	生物の分類
第2章　植物の分類			
1　ふえ方による分類	22 - 30	第26講 花のつくり	花のつくり
		第27講 被子植物と裸子植物	被子植物と裸子植物
		第28講 種子をつくらない植物	種子をつくらない植物
2　植物の分類	31 - 33	第27講 被子植物と裸子植物	単子葉類と双子葉類
			合弁花類と離弁花類
		第29講 さまざまな植物の分類	さまざまな植物の分類
第3章　動物の分類			
1　脊椎動物	36 - 39	第30講 動物の分類	セキツイ動物と無セキツイ動物
			肉食動物と草食動物
		第31講 セキツイ動物	恒温動物と変温動物
			セキツイ動物の分類
2　無脊椎動物	40 - 41	第32講 無セキツイ動物	無セキツイ動物
3　動物の分類	42	第33講 さまざまな動物	さまざまな動物の分類

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
第1章　物質の分類			
1　物質の分類	48 - 55	第13講 さまざまな物質の性質	物体と物質
			金属と非金属
		第14講 実験器具の使い方	ガスバーナーの使い方
		第16講 有機物と無機物	有機物と無機物
2　物質の体積と質量	56 - 61	第15講 物質の密度	物質の密度
		第14講 実験器具の使い方	メスシリンダーの使い方
			電子てんびんと上皿てんびんの使い方
第2章　粒子のモデルと物質の性質			
1　水溶液	64 - 66	第19講 水溶液の性質	純物質と混合物
			水溶液
			溶液の濃度
			ろ過のしかた
2　溶解度と再結晶	67 - 73	第20講 溶解度と再結晶	溶解度と溶解度曲線
			結晶と再結晶
3　気体の性質	74 - 81	第17講 気体の性質と集め方	気体の性質と集め方
		第18講 気体の性質	二酸化炭素と酸素
			水素と窒素
			アンモニア
			さまざまな気体

<table>
<tr><th colspan="2">教科書</th><th colspan="2">スタディサプリ</th></tr>
<tr><th>タイトル</th><th>ページ</th><th colspan="2">テキストの講義名</th></tr>
<tr><td colspan="4">第3章　粒子のモデルと状態変化</td></tr>
<tr><td rowspan="4">1　物質の状態変化</td><td rowspan="4">84 - 90</td><td rowspan="3">第21講 物質の状態変化</td><td>物質の状態変化</td></tr>
<tr><td>状態変化と体積・質量の変化</td></tr>
<tr><td>状態変化の粒子モデル</td></tr>
<tr><td>第22講 蒸留</td><td>沸点と融点</td></tr>
<tr><td>2　蒸留</td><td>91 - 97</td><td>第22講 蒸留</td><td>蒸留</td></tr>
<tr><td colspan="4">第1章　光の性質</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1　光の進み方</td><td rowspan="3">104 - 112</td><td>第1講 光の進み方</td><td>光の進み方</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第2講 光の反射</td><td>光の反射</td></tr>
<tr><td>鏡にうつる像の位置</td></tr>
<tr><td rowspan="5">2　光の屈折の利用</td><td rowspan="5">113 - 119</td><td>第3講 光の屈折</td><td>光の屈折</td></tr>
<tr><td rowspan="3">第4講 凸レンズ</td><td>凸レンズのはたらき</td></tr>
<tr><td>凸レンズによる実像</td></tr>
<tr><td>凸レンズによる虚像</td></tr>
<tr><td>第5講 光と色</td><td>光と色</td></tr>
<tr><td colspan="4">第2章　音の性質</td></tr>
<tr><td>1　音の伝わり方</td><td>122 - 124</td><td>第6講 音の伝わり方</td><td>音の伝わり方</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2　音の大きさ・高さ</td><td rowspan="3">125 - 127</td><td rowspan="3">第7講 音の性質</td><td>音の性質</td></tr>
<tr><td>弦の振動による音のちがい</td></tr>
<tr><td>音の伝わる速さ</td></tr>
</table>

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
第3章　力のはたらき			
1　力の表し方	130 - 138	第8講 力のはたらき	力のはたらき
		第10講 力の大きさとばねののび	力の大きさとばねののび
		第11講 重力と質量	力の表し方
2　力のつり合い	139 - 141	第12講 2つの力のつり合い	2つの力のつり合い
3　さまざまな力	142 - 143	第9講 さまざまな力	いろいろな力①
			いろいろな力②
4　重さと質量	144	第11講 重力と質量	重力と質量
第1章　火山〜火を噴く大地〜			
1　火山	152 - 153	第34講 火山の噴火と形	火山の噴火
		第35講 火山噴出物	火山噴出物
		第34講 火山の噴火と形	火山の形
2　鉱物と岩石	154 - 161	第35講 火山噴出物	鉱物
		第36講 火成岩	火成岩
第2章　地層〜大地から過去を読みとる〜			
1　地層のできかた	164 - 169	第41講 流水のはたらきと地形	流水のはたらきと地形
		第42講 堆積岩	堆積岩
2　地層から過去を読み取る	170 - 177	第44講 化石	化石
		第45講 地層のつながり	地層のつながり

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
第3章　地震〜ゆれる大地〜			
1　地震の発生	180 - 181	第39講 地震のしくみ	プレートと地震
			地震のしくみ
		第38講 地震のゆれ	震度とマグニチュード
2　地震のゆれ	182 - 189	第38講 地震のゆれ	地震
			地震の波
3　大地の変化	190 - 193	第43講 大地の変化	地層の変化
4　大地の活動による恵みや災害	194 - 196	第37講 火山と人間の生活	火山と人間の生活
		第40講 地震による災害	地震による災害

教育出版　中学　理科

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
1章　生物の観察と分類			
1-1　生物の観察	6 - 15	第23講 自然の観察と方法	ルーペの使い方，スケッチのしかた
		第24講 顕微鏡の使い方	顕微鏡の使い方
			双眼実体顕微鏡の使い方
1-2　生物の特徴と分類の仕方	16 - 21	第25講 生物の特徴と分類	生物の分類
2章　植物の体の共通点と相違点			
2-1　花のつくりに着目すると	22 - 28	第26講 花のつくり	花のつくり
2-2　葉や根のつくりに着目すると	29 - 31	第27講 被子植物と裸子植物	単子葉類と双子葉類
			合弁花類と離弁花類
2-3　マツのなかまの花と種子	32 - 35	第27講 被子植物と裸子植物	被子植物と裸子植物
2-4　シダ植物・コケ植物	36 - 38	第28講 種子をつくらない植物	種子をつくらない植物
2-5　植物の分類	39 - 41	第29講 さまざまな植物の分類	さまざまな植物の分類
3章　動物の体の共通点と相違点			
3-1　骨のつくりに着目すると	42 - 44	第30講 動物の分類	セキツイ動物と無セキツイ動物
3-2　脊椎動物の特徴と分類	45 - 53	第31講 セキツイ動物	恒温動物と変温動物
			セキツイ動物の分類
		第30講 動物の分類	肉食動物と草食動物
3-3　無脊椎動物の分類	54 - 60	第32講 無セキツイ動物	無セキツイ動物

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
3-4　動物の分類	61 - 63	第33講 さまざまな動物の分類	さまざまな動物の分類
1章　さまざまな物質とその見分け方			
1-1　物体と物質	72 - 73	第13講 さまざまな物質の性質	物体と物質
		第19講 水溶液の性質	純物質と混合物
1-2　似ている物質の見分け方	74 - 81	第13講 さまざまな物質の性質	物体と物質
		第14講 実験器具の使い方	ガスバーナーの使い方
		第16講 有機物と無機物	有機物と無機物
1-3　金属の性質	82 - 83	第13講 さまざまな物質の性質	金属と非金属
1-4　質量・体積と物質の見分け方	84 - 89	第15講 物質の密度	物質の密度
		第14講 実験器具の使い方	電子てんびんと上皿てんびんの使い方
			メスシリンダーの使い方
2章　気体の性質			
2-1　身のまわりの気体	90 - 94	第17講 気体の性質と集め方	気体の性質と集め方
		第18講 気体の性質	二酸化炭素と酸素
			水素と窒素
2-2　さまざまな気体	95 - 99	第18講 気体の性質	水素と窒素
			アンモニア
			さまざまな気体

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
3章　水溶液の性質			
3-1　物質がとけるということ	100 - 103	第19講 水溶液の性質	水溶液
3-2　溶液の濃さを表す方法	104 - 106	第19講 水溶液の性質	溶液の濃度
3-3　溶解度と再結晶	107 - 113	第20講 溶解度と再結晶	溶解度と溶解度曲線
			結晶と再結晶
		第19講 水溶液の性質	ろ過のしかた
4章　物質の状態変化			
4-1　物質の状態と温度	114 - 119	第21講 物質の状態変化	物質の状態変化
		第22講 蒸留	沸点と融点
4-2　状態変化に伴う物質の体積や質量	120 - 125	第21講 物質の状態変化	状態変化と体積・質量の変化
			状態変化の粒子モデル
4-3　混合物の分け方	126 - 131	第22講 蒸留	蒸留
序章　身近にある地形・地層・岩石を観察しよう			
序章　身近にある地形・地層・岩石を観察しよう	140 - 147	第41講 流水のはたらきと地形	流水のはたらきと地形
		第45講 地層のつながり	地層のつながり
		第43講 大地の変化	地層の変化
1章　大地の歴史と地層			
1-1　地層をつくる岩石は語る	148 - 155	第42講 堆積岩	堆積岩
1-2　化石は語る	156 - 161	第44講 化石	化石

<table>
<tr><th colspan="2">教科書</th><th colspan="2">スタディサプリ</th></tr>
<tr><th>タイトル</th><th>ページ</th><th colspan="2">テキストの講義名</th></tr>
<tr><td colspan="4">2章　火山活動と火成岩</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2-1　火山の噴火</td><td rowspan="2">162 - 163</td><td>第34講 火山の噴火と形</td><td>火山の噴火</td></tr>
<tr><td>第35講 火山噴出物</td><td>火山噴出物</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2-2　マグマの性質と火山</td><td rowspan="2">164 - 168</td><td>第34講 火山の噴火と形</td><td>火山の形</td></tr>
<tr><td>第35講 火山噴出物</td><td>鉱物</td></tr>
<tr><td>2-3　マグマからできる岩石</td><td>169 - 173</td><td>第36講 火成岩</td><td>火成岩</td></tr>
<tr><td colspan="4">3章　地震と大地の変化</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3-1　地震とは</td><td rowspan="2">174 - 175</td><td>第38講 地震のゆれ</td><td>地震</td></tr>
<tr><td>第43講 大地の変化</td><td>隆起と沈降</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3-2　地震の揺れの伝わり方</td><td rowspan="3">176 - 184</td><td rowspan="3">第38講 地震のゆれ</td><td>地震</td></tr>
<tr><td>地震の波</td></tr>
<tr><td>震度とマグニチュード</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3-3　地震が起こる仕組み</td><td rowspan="2">185 - 187</td><td rowspan="2">第39講 地震のしくみ</td><td>プレートと地震</td></tr>
<tr><td>地震のしくみ</td></tr>
<tr><td>3-4　ダイナミックな大地の変化</td><td>188 - 189</td><td>第39講 地震のしくみ</td><td>プレートと地震</td></tr>
<tr><td colspan="4">4章　大地の躍動と恵み</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4-1　火山が噴火すると？大地震が発生すると？
4-2　大地の変化と人間の豊かな生活</td><td rowspan="2">190 - 197</td><td>第40講 地震による災害</td><td>地震による災害</td></tr>
<tr><td>第37講 火山と人間の生活</td><td>火山と人間の生活</td></tr>
</table>

教科書		スタディサプリ	
タイトル	ページ	テキストの講義名	
1章　光の性質			
1-1　光の直進	206 - 207	第1講 光の進み方	光の進み方
1-2　光の反射	208 - 213	第2講 光の反射	光の反射
			鏡にうつる像の位置
1-3　光の屈折	214 - 219	第3講 光の屈折	光の屈折
1-4　凸レンズのはたらき	220 - 229	第4講 凸レンズ	凸レンズのはたらき
			凸レンズによる実像
			凸レンズによる虚像
1-5　光と色	230 - 231	第5講 光と色	光と色
2章　音の性質			
2-1　音の伝わり方	232 - 237	第6講 音の伝わり方	音の伝わり方
		第7講 音の性質	音の伝わる速さ
2-2　音の大きさと高さ	238 - 241	第7講 音の性質	音の性質
			弦の振動による音のちがい
3章　力のはたらき			
3-1　力のはたらきによる現象	242 - 250	第8講 力のはたらき	力のはたらき
		第11講 重力と質量	力の表し方
		第12講 2つの力のつり合い	2つの力のつり合い
		第9講 さまざまな力	いろいろな力①
			いろいろな力②
3-2　力の大きさとばねの伸び	251 - 255	第10講 力の大きさとばねののび	力の大きさとばねののび
		第11講 重力と質量	重力と質量